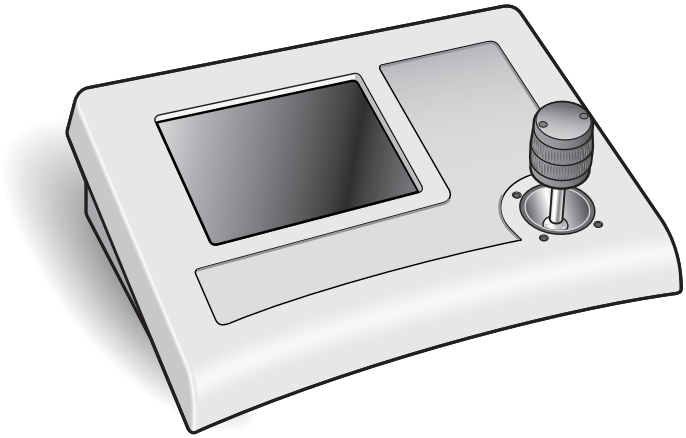
取扱説明書

SANYO

システムコントローラー
品番 VSP-9000

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に
保管してください。



- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。

もくじ

はじめに

安全のため必ずお守りください..... 2
正しくご使用いただくために必ずお守りください.... 7
主な特長 8
付属品 8

準備

各部のなまえ..... 9
メニュー表示部..... 11
システム情報..... 12
システム接続例..... 13
接続と通信設定1 (VIDEO)..... 15
接続と通信設定2 (VIDEO)..... 18
接続と通信設定3 (VIDEO/TELEMETRY A) 21
接続と通信設定4 (VIDEO/TELEMETRY B) 24
接続と通信設定5 (VIDEO/TELEMETRY A/B)..... 27
通信回線と接続台数 30

操作

ハードディスクデジタルレコーダー (DVR) の操作 32
フレームスイッチャー (MUX) の操作..... 36
ドームカメラ・ズームカメラの操作..... 38

システム設定

システム設定の概要 41
言語の選択..... 42
通信設定..... 43
■ 通信項目を選択 (COMMUNICATIONS)..... 43
■ 本機アドレス設定..... 44
制御設定..... 47
■ 制御項目を選択 (ACCEPTED VALUES)..... 47
パスワード設定 (PASSWORD) 50
■ AT SWITCHING ON (電源投入時のパスワード).. 51
セットアップ (CONFIGURATION)..... 52
■ 初期化 (RESTORE BASIS VALUES) 53
■ ブザーとメニュー表示部の設定 (BUZZER/DISPLAY) 53
■ ジョイステックの設定 (JOYSTICK) 54
■ タッチスクリーンの調整 (TOUCH SCREEN SETTING)..... 55
■ タッチスクリーンの初期化と再設定..... 56
■ タッチスクリーンのテスト (TOUCH TEST) 57

ソフトウェア編

ソフトウェアの構成 59
■ 動作環境 59
接続とソフトウェアのインストール 60
■ ソフトウェアをインストールする..... 60
■ 接続を行なう 60
システム設定 (Setup) 61
A General (全般設定)..... 62
B Cameras (カメラの通信設定) 64
C Monitor/Local Mux (フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーの有効／無効の設定)..... 66
D Enabling (設定内容の停止または起動) 67
言語設定 (Language) 68
■ 英語の異なるタブを2種類作る..... 69
グラフィック環境設定 (Maps)..... 71
■ オープニング画面で “電話番号” などを表示させる 72
■ マップ画面の説明..... 73
■ 機器の割当て例..... 76
■ プロトコル一覧表 (Autopan) 79
■ プロトコル一覧表 (Patrol) 80
■ オープニング画面を “SANYO” に変更する 81
■ オープニング画面に描画ツールを使って地図などを作成し、表示させる 82
■ 基本的な描画 84

その他

仕様 85
■ 外形寸法図 85
付録 86
■ 通信一覧表 86
■ メッセージ一覧表..... 88
■ 特殊コード一覧表..... 89

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この**「安全上のご注意」**は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

本体について

⚠警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■ 分解したり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ ぬらさない

- 本機は防水防塵構造になっていませんので、雨の当たる場所や湿気の多い場所、ほこりやちりの多い場所に設置しないでください。火災、感電の原因となります。
  風呂場、シャワー室には設置しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。
特にACアダプターや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■ 不安定な場所に設置しない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

⚠警告

メニュー表示部内の液晶を口に入れない

メニュー表示部が破損して、内部の液晶が漏れ出した場合は、口に入れたりしないようにご注意ください。中毒を起こす恐れがあります。万一口に入ったり、目に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。また、手や衣服に付着した場合は、アルコールなどで拭き取り、水で洗い流してください。

付属のACアダプターについて

⚠注意

■ 持ち運びの注意

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認のうえ、落としたり、大きな衝撃を与えないようにご注意ください。

■ お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。ACアダプターを接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次のような場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 温度および湿度変化の激しい場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 振動のある場所

⚠危険

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

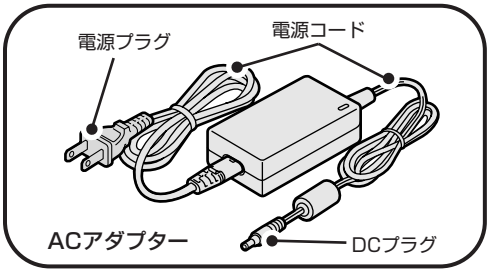
使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場やシャワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



付属のACアダプターについて

⚠警告

■ 付属のACアダプター以外は使用しない

付属のACアダプターをご使用ください。他のACアダプターを使用すると、電源コードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。

■ ぬれた手でACアダプターをさわらない

感電の原因となります。

■ 電源プラグについて

異常状態のまま使用しないでください。次のような場合は火災、感電の原因になります。

- 電源プラグとコンセントの差し込み部分にほこりなどを付着させないでください。双方の接触部分がほこりや汚れている場合は、ショートや発熱を起こしますので、乾いた布で取り除いてください。
- 湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使用している場合は、定期的に電源プラグを抜いて、プラグ間に付着したほこり・汚れを取り除いてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだまま、本機の電源入力端子からDCプラグを抜いた状態にしないでください。ぬれた手で触れたり、お子様が口に入れたりすると感電の原因となります。
- 電源プラグをコンセントの根元まで接続しても、ゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいるときは使用しないでください。接触不良があった場合は、お買い上げ販売店または、工事店にご連絡ください。

■ 電源コードについて

電源コードは束ねて使用しないでください。発熱や火災、感電の原因になります。

■ コンセント付き延長コードをご使用の場合

接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力を超えないように注意してください。
定格電力を超えると火災の原因となります。

⚠注意

■ 他の機器に接続しない

付属のACアダプターは本機専用です。他の機器に接続すると、火災、感電の原因になります。

■ 電源コードについて

次のように電源コードを傷めたりすると、火災、感電の原因になります。電源コードが傷んだ場合は、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具、発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで使用しないでください。
- ACアダプター本体の重さで電源コードに負担がかからないようにしてください。
- 電源コードは束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを折り曲げたり、加工したり、ステープルなどで固定しないでください。

■ 電源コードの接続について

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して配線してください。電源コードなどに足を引っ掛けると機器の落下や転倒により、けがの原因になることがあります。

■ 電源プラグはコンセントに確実に接続する

不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。

■ 不安定な場所に置かない

安定した場所に設置してください。不安定な場所に置くと、落下や倒れたりしてけがや故障の原因になります。

■ メニュー表示部について

- 寒いところで使うと、はじめは画面が通常より少し暗くなります。本体内部の温度が上がってくると、通常の明るさになります。
- 表示部は消耗部品です。画面が暗くなったり、チラチラしたり、画像が映らなくなったときは、内部照明装置として使用しているLEDの寿命ですので、新しいものとお取り替えください。
  （寿命の目安：表示部がオンの状態で約50,000時間）
  表示部のお取り替えについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機の周囲30cm以内で携帯電話を使用すると、画像が乱れることがあります。
- 表示内容によっては、画面表示の明るさにムラが生じることがあります。

メニュー表示部の安全上の注意

- 表示部を洗剤やアンモニア入り液体などで拭かないでください。
- 指紋などが付着してよごれたときは、柔らかい布で軽くふいてください。柔らかい布でも強くこすると、キズや表示異常の原因になります。
  また、画面保護のため、乾いた布や化学雑巾でふきとらないでください。
- 面の粗い手袋などは使用しないでください。
- 表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、叩いたり、強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 傷つきやすい表示部の表面に研磨用スポンジや先端の尖ったものを使わないでください。
- 表面に重い物を乗せたり、圧力を加えたまま放置しないでください。
- コップに入った水や化学物質、その他小さいものを表示部の表面を傷つけるような場所に置かないでください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 商標について

本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。
本機に露つきが起きた状態で使用すると、故障する場合があります。
電源を切っている状態で、部屋を急激に暖房するなど、急に周りの温度が変わるときは露つきにご注意ください。
通電時は露つきは起こりません。

露つきが起こりそうなときは・・・

本機の電源を切って、設置場所に1～2時間放置してからご使用ください。

■ 本機のお手入れ

本体

1 電源プラグをコンセントから抜く
2 柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

3 水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

主な特長

- **ジョイスティックでパン／チルト／ズーム操作が可能**
- **言語選択が可能**
- **高速ドーム・受信機の広範囲制御**
- **通信チャンネルの自動テスト**
- **RS485通信回線**

■ セキュリティ

- 通信エラーと警報ブザー
- 3段階パスワード、キーボート単位の設定可能

スタート時のパスワード：
電源投入時にパスワード画面が表示します。

アラーム再設定パスワード：
メニュー表示部から警告が発生する状況を再設定するときにパスワード入力画面を表示

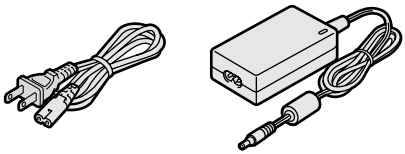
設定パスワード：
各機器の設定時にパスワード入力画面を表示

Licensed Under U.S. Patent No. 4974088

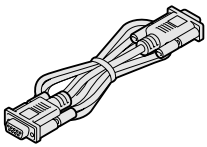
付属品

付属品が揃っていることをお確かめください。

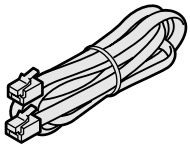
ACアダプター／電源コード



パソコン（RS232）接続ケーブル×1

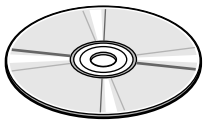


モジュラーケーブル×6
（クロスタイプ：150cm）



ソフトウェア（CD-ROM）

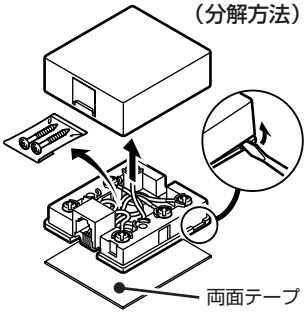
- システム設定
- 言語設定
- グラフィック環境設定



通信変換コネクター×6

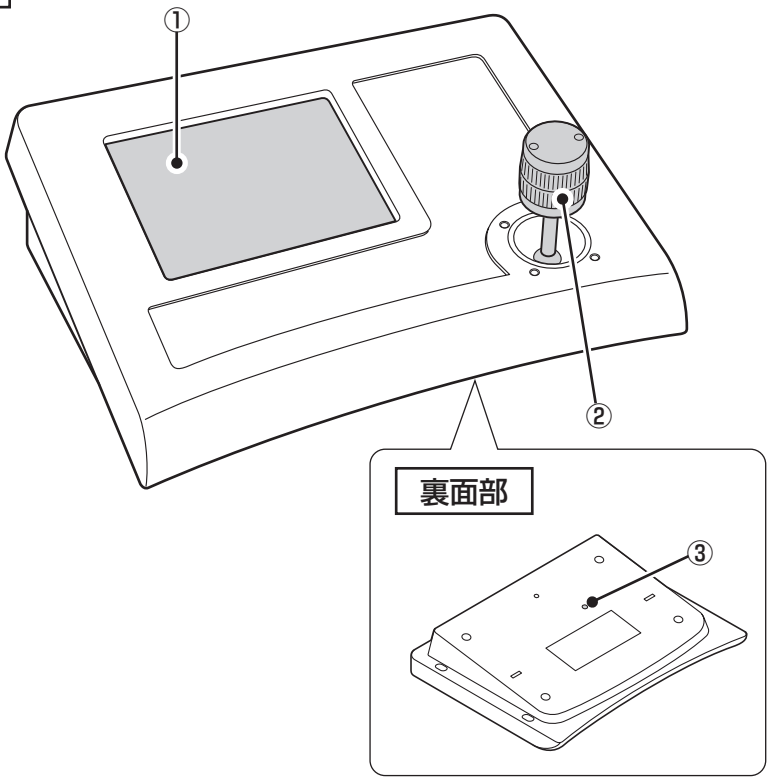
- ネジ×2
- 両面テープ×1

（分解方法）



各部のなまえ

前面部



① メニュー表示部（P11）

本機の電源を入れると、メインメニューが表示します。

メニューの各ボタンを押すと、各種設定画面など表示しますので本機の操作や設定を行なってください。

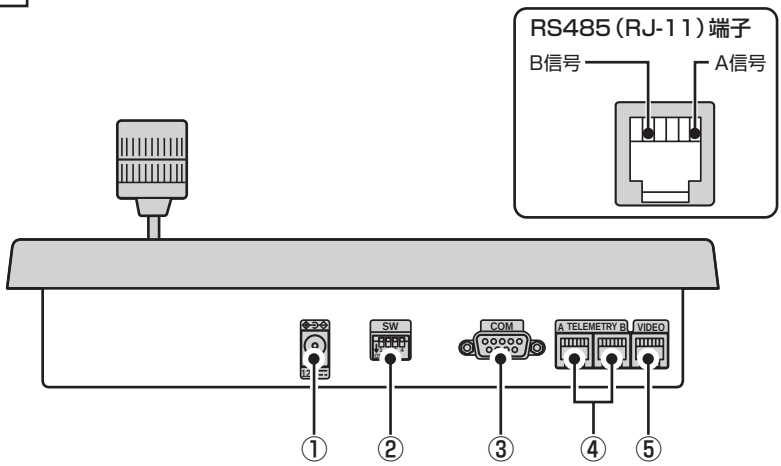
② ジョイスティック

カメラのパン・チルトズーム操作を行ないます。また、タッチスクリーンの初期化やグラフィック設定の終了にも使用します。

③ コントラスト調整ボリューム

メニュー表示部が暗くて見にくいときは明るさを微調整できます。

後面部

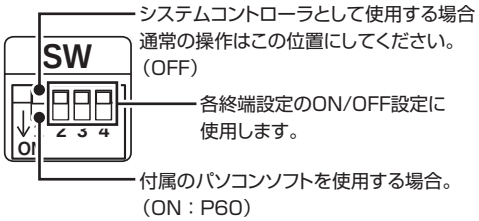


① 電源端子

付属のACアダプターのDC端子側を接続します。

② ディップスイッチ（SW）

本機でパソコンまたは通信設定や終端設定に使用します。



③ パソコン接続端子（COM：RS-232C）

パソコンとの接続に使用します。
接続したパソコンに付属のソフトウェアをインストールして他言語などを追加できます。システム設定の言語選択で追加した言語を選択すると、メニュー表示部の言語を変更できます。

④ カメラ通信端子（TELEMETRY A/B）

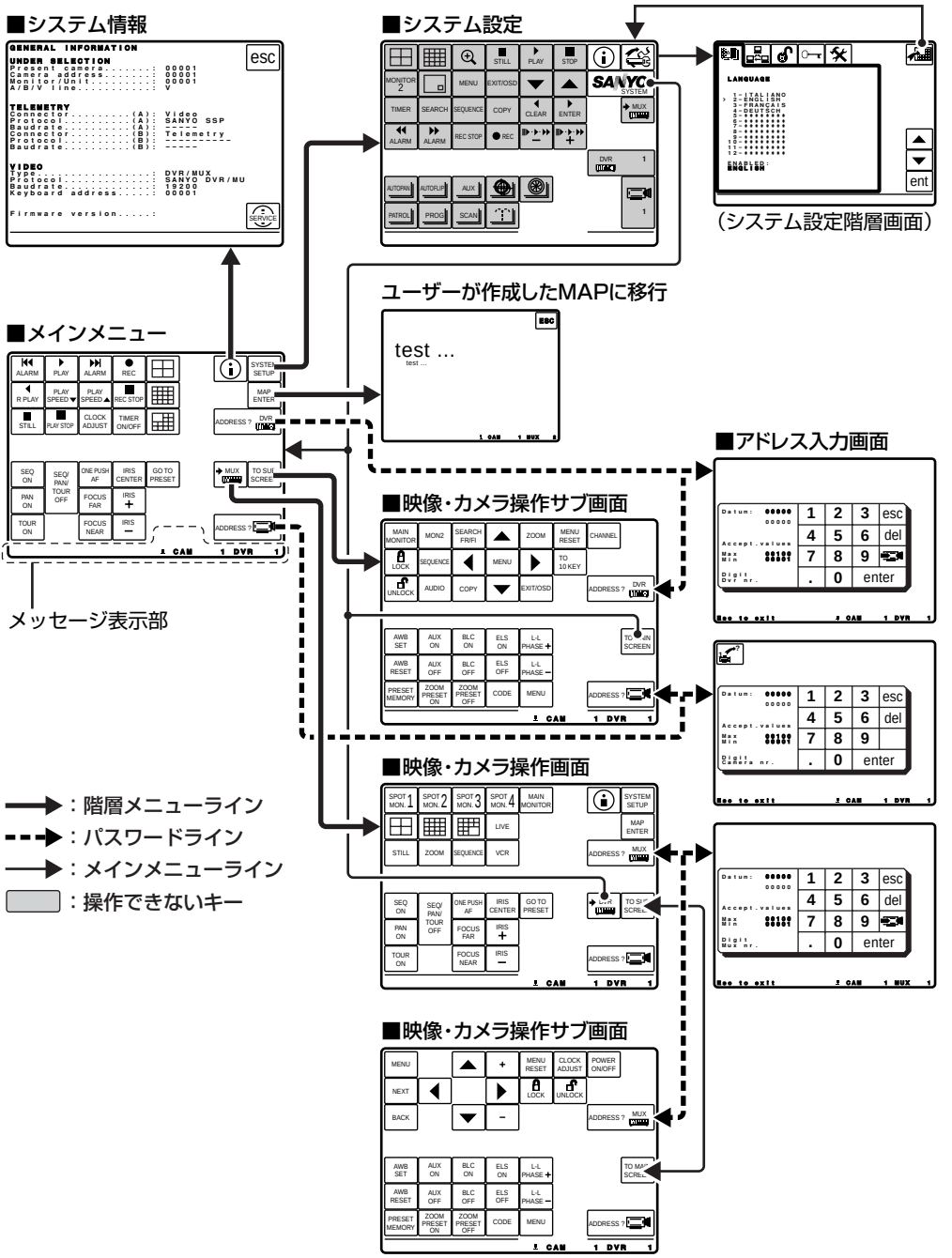
本端子には付属または別売のモジュラーケーブルを接続してください。

- **A端子**：カメラを接続します。
- **B端子**：カメラを接続します。

⑤ 映像通信端子（VIDEO）

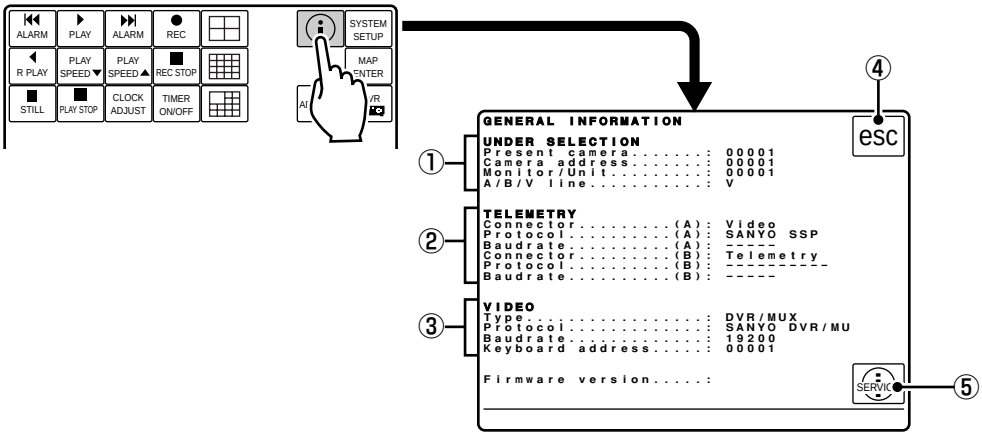
接続する機器は、映像機器（フレームスイッチャーやハードディスクデジタルレコーダーなど）です。
本機と映像機器を接続するときは、必ず付属のモジュラーケーブルと通信変換コネクターを使用して接続してください。

メニュー表示部


■システム情報
■システム設定
■メインメニュー
ユーザーが作成したMAPに移行
■アドレス入力画面
■映像・カメラ操作サブ画面
■映像・カメラ操作画面
■映像・カメラ操作サブ画面
メッセージ表示部
：階層メニューライン
：パスワードライン
：メインメニューライン
：操作できないキー
（システム設定階層画面）

システム情報

ⓘボタンを押してください。現在、本機に設定されている初期設定情報を見ることができます。システム設定で通信回線設定などを変更すると、設定内容が変更されます。



① 選択機器状況（UNDER SELECTION）

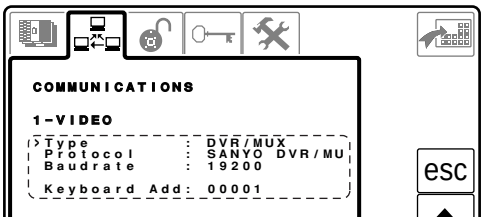
- Present camera (00001)
  現在選択されているカメラチャンネル
- Camera address (00001)
  現在選択されているカメラアドレス
- Monitor/Unit (00001)
  現在選択されているビデオ機器（DVR/MUX）のアドレス
- A/B/V line (V)
  現在選択されているライン（表示されているラインからカメラへコマンドができます。）

② 映像機器またはカメラの通信状況（TELEMETRY）

通信項目の **“2−TELEMETRY”** で設定した内容を表示します。(P45)

③ 映像機器の通信状況（VIDEO）

通信項目の **“1−VIDEO”** で設定した内容と本機のアドレスを表示します。(P44)



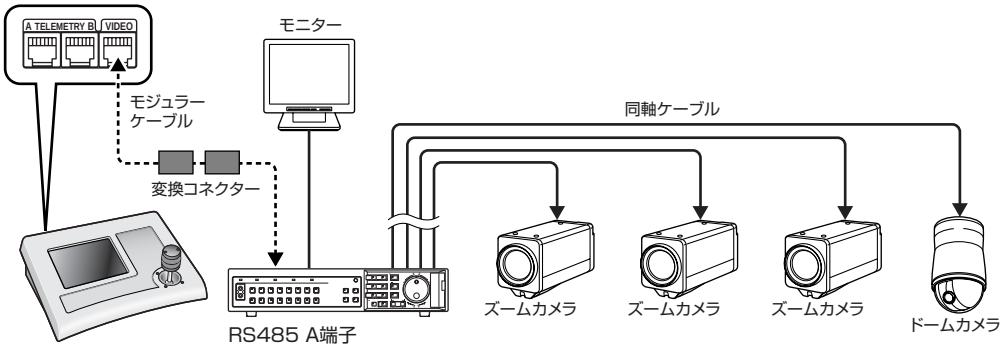
- 本機のアドレス（Keyboard Add）：00001 (P44)

④ メインメニューに戻ります。

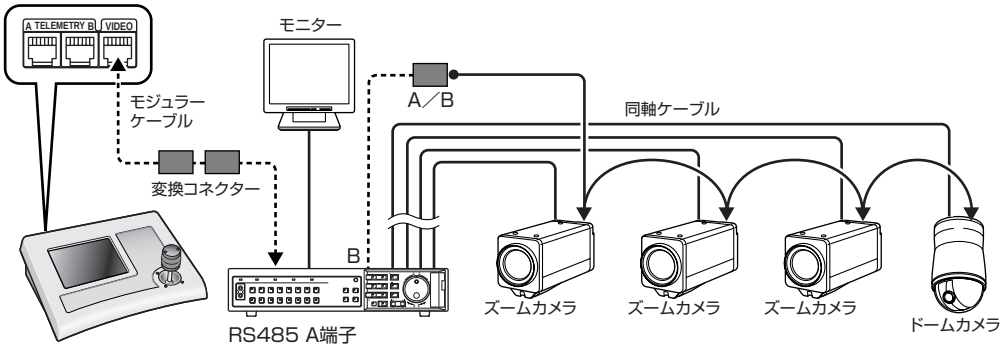
⑤ システム・インストーラーの情報が表示されます。

システム接続例

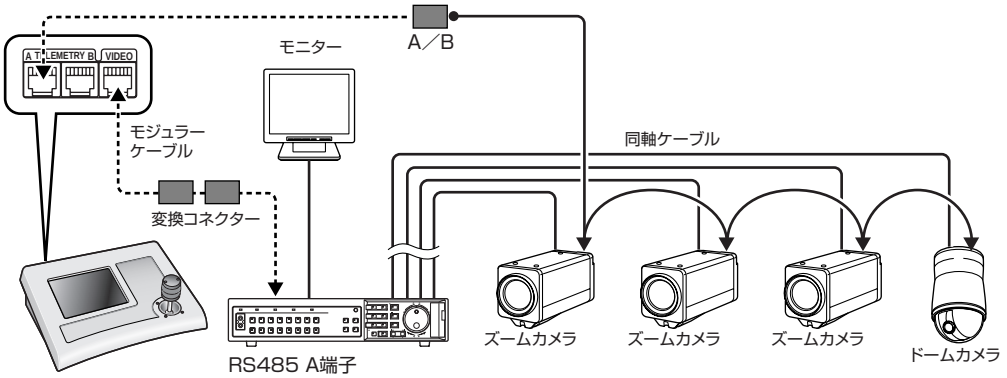
A 映像通信端子（VIDEO）に接続した場合 P15



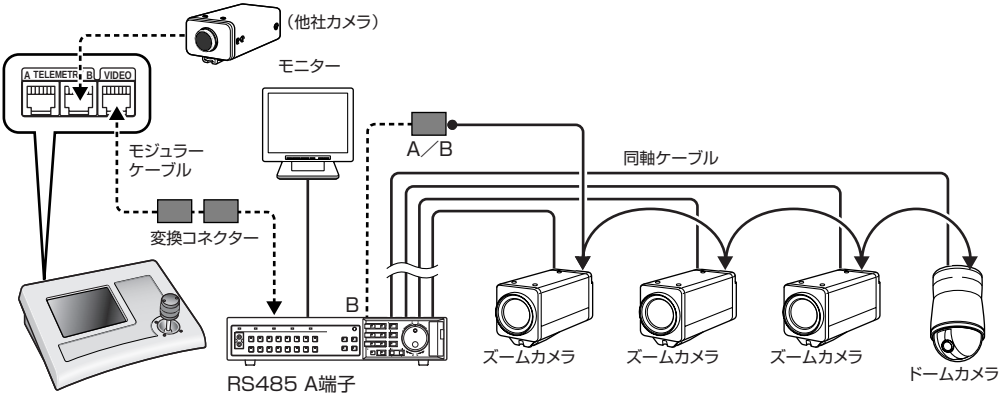
B 映像通信端子（VIDEO）に接続した場合 P18



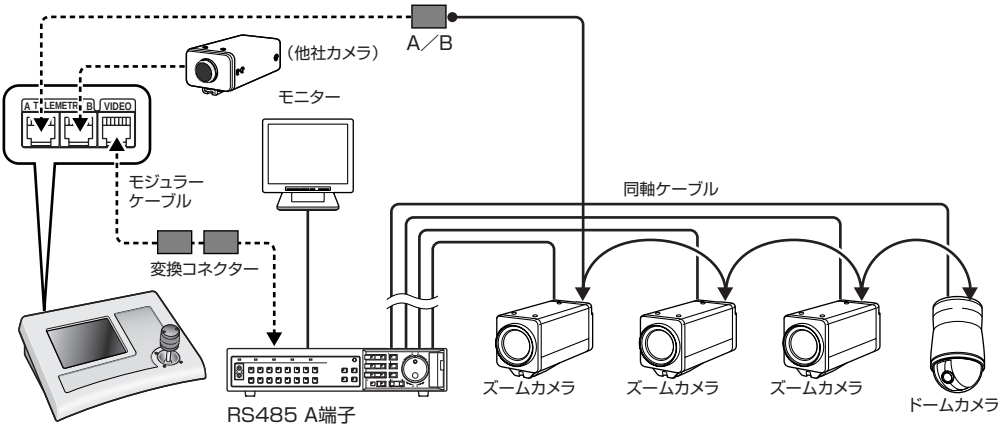
C 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY A）に接続した場合 P21



D 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY B）に接続した場合　P24

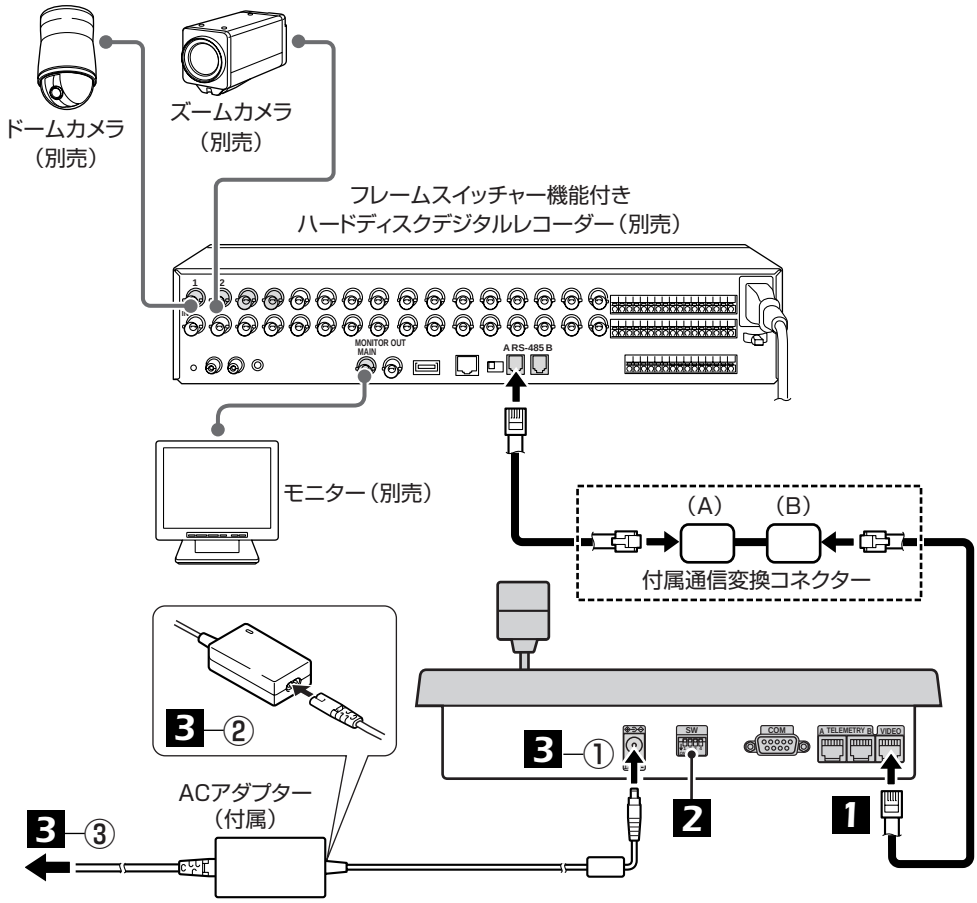


E 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY A/B）に接続した場合 P27

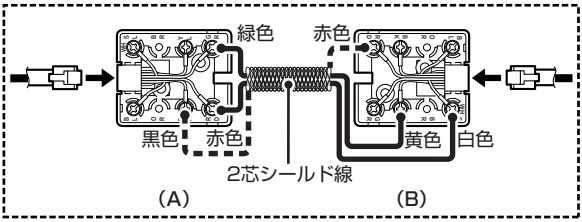


接続と通信設定1

A 映像通信端子（VIDEO）に接続した場合



■ 通信変換コネクターの接続



■ 接続を行なう

1 本機と通信操作する機器を接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

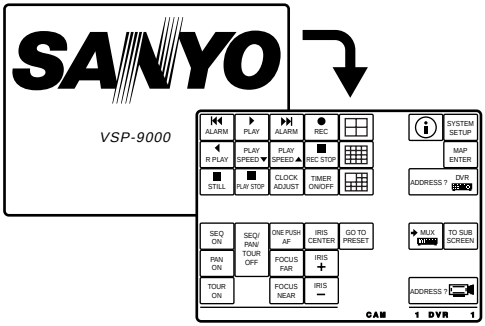
2 終端を設定する

SW1：OFF（固定）
SW2：OFF（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

3 本機の電源を接続する

① 電源端子にACアダプターのDCプラグを接続する
② 電源プラグをACアダプターに差し込む
③ 電源プラグをACコンセントに差し込む

本機に電源が入り、メニュー表示部にメインメニューを表示します。

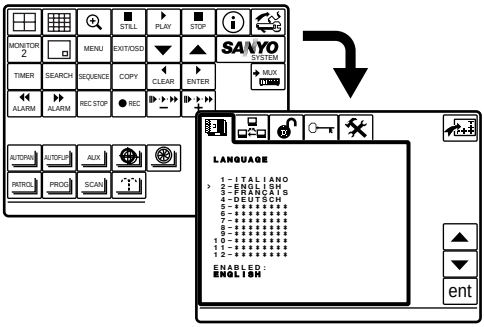


- 本機には電源スイッチはありません。電源の入切は、ACアダプターのDCプラブの抜き差しで行ないます。
- 起動時にパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面を表示します。（P51）

■ 本機の通信設定

1 SYSTEM SETUP ボタンを押し、MENU ボタンを押す

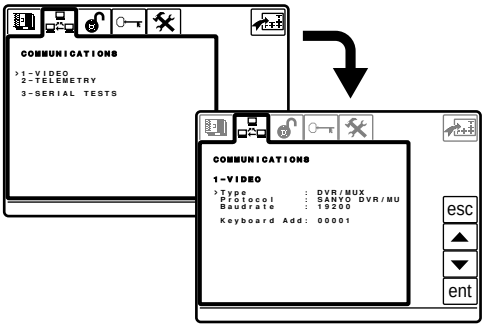
言語選択画面(LANGUAGE)を表示しますので、英語以外で操作を行なう場合は言語を選択してください。（P42）



2 MENU ボタンを押し、ent ボタンを押す

通信設定(COMMUNICATIONS)の“1-VIDEO”画面を表示します。

本機の裏面の映像通信端子(VIDEO)のみで通信操作を行なう場合は、図1の画面になっていることを確認してください。



（図1）

注意：本機のアドレス(Keyboard Add)を変更する場合はP44を参照してください。

設定確認：

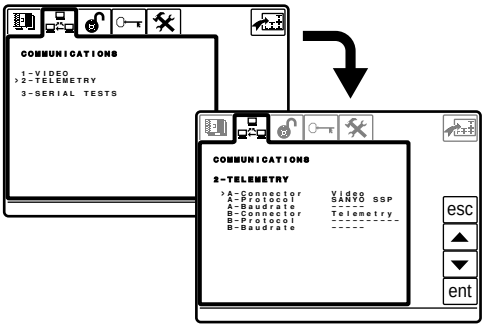
- Type：
  フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどを操作する場合に“DVR/MUX”と表示させます。
- Protocol：
  Typeで“DVR/MUX”選択すると、自動的に“SANYO DVR/MU”と表示します。
- Baudrate：
  自動的に“19200”と表示されます。
  接続する機器の設定値と合わせてください。

3 esc **ボタンを押す**

通信設定選択画面に戻ります。

4 ▼ **ボタンを押し、“2-TELEMETRY”を選択して、** ent **ボタンを押す**

“2-TELEMETRY”の画面を表示しますので、下記の設定になっていることを確認してください。

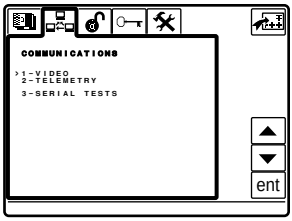


設定確認：

- A-Connector：
  映像機器経由でカメラ操作する場合は“Video”と表示させます。
- A-Protocol：
  A-Connectorで“Video”を選択した場合は自動的に“SANYO SSP”を表示します。
- A-Baudrate：
  1-VIDEOの“Baudrate（19200）”となるため強制的に“------”と表示されます。

5 esc **ボタンを押す**

通信設定(COMMUNICATIONS)に戻ります。

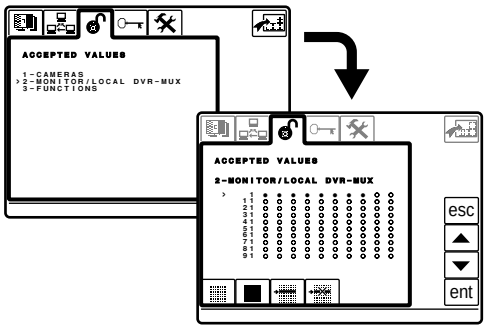


6 🔓 **ボタンを押す**

制御設定(ACCEPTED VALUES)画面を表示します。
“1-CAMERAS”の設定を行なう場合はP47を参照ください。

7 ▼ **ボタンを押し、“2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX”を選択して、** ent **ボタンを押す**

接続されているDVR-MUXを設定します。

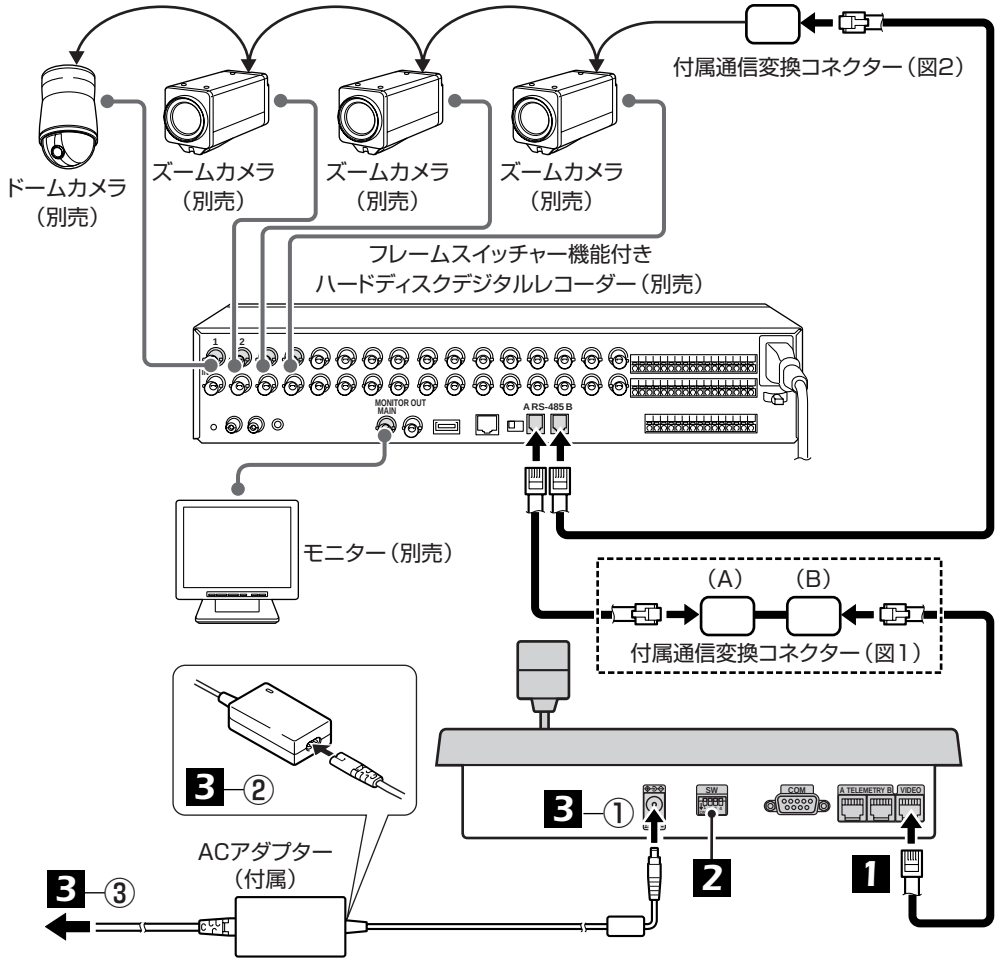


(図2)

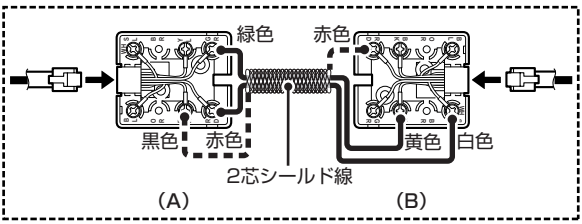
8 設定は終了しましたので、ハードディスクデジタルレコーダー（P32）またはカメラ（P38）の操作を行なう

接続と通信設定2

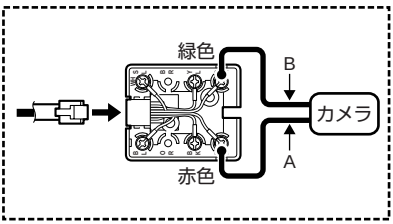
B 映像通信端子（VIDEO）に接続した場合



■ 通信変換コネクターの接続（図1）



■ 通信変換コネクターの接続（図2）



■ 接続を行なう

1 本機と通信操作する機器を接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

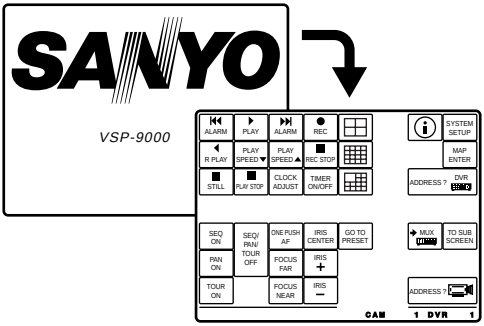
2 終端を設定する

SW1：OFF（固定）
SW2：OFF（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

3 本機の電源を接続する

① 電源端子にACアダプターのDCプラグを接続する
② 電源プラグをACアダプターに差し込む
③ 電源プラグをACコンセントに差し込む

本機に電源が入り、メニュー表示部にメインメニューを表示します。

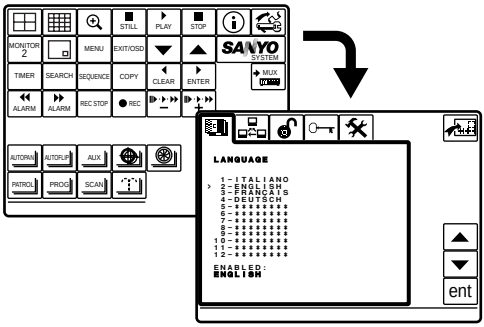


- 本機には電源スイッチはありません。電源の入切は、ACアダプターのDCプラブの抜き差しで行ないます。
- 起動時にパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面を表示します。(P51)

■ 本機の通信設定

1 SYSTEM SETUP ボタンを押し、MUX ボタンを押す

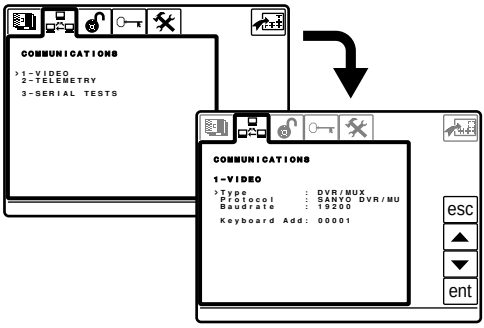
言語選択画面(LANGUAGE)を表示しますので、英語以外で操作を行なう場合は言語を選択してください。(P42)



2 ent ボタンを押す

通信設定(COMMUNICATIONS)の“1-VIDEO”画面を表示します。

本機の裏面の映像通信端子(VIDEO)のみで通信操作を行なう場合は、図1の画面になっていることを確認してください。



（図1）

注意：本機のアドレス(Keyboard Add)を変更する場合はP44を参照してください。

設定確認：

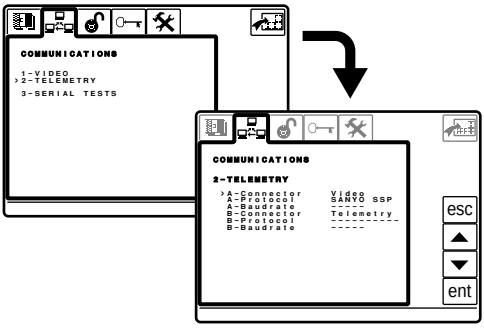
- Type：
  フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどを操作する場合に“DVR/MUX”と表示させます。
- Protocol：
  Typeで“DVR/MUX”選択すると、自動的に“SANYO DVR/MU”と表示します。
- Baudrate：
  自動的に“19200”と表示されます。
  接続する機器の設定値と合わせてください。

3 esc **ボタンを押す**

通信設定選択画面に戻ります。

4 ▼ **ボタンを押し、“2-TELEMETRY”を選択して、** ent **ボタンを押す**

“2-TELEMETRY”の画面を表示しますので、下記の設定になっていることを確認してください。

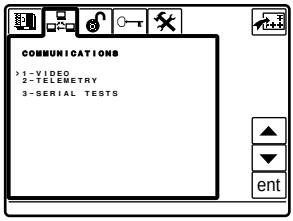


設定確認：

- A-Connector：
  映像機器経由でカメラ操作する場合は“Video”と表示させます。
- A-Protocol：
  A-Connectorで“Video”を選択した場合は自動的に“SANYO SSP”を表示します。
- A-Baudrate：
  1-VIDEOの“Baudrate（19200）”となるため強制的に“------”と表示されます。

5 esc **ボタンを押す**

通信設定(COMMUNICATIONS)に戻ります。



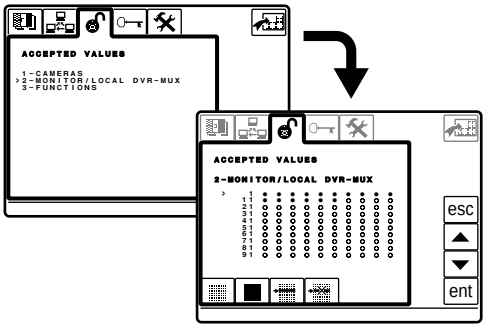
6 🔓 **ボタンを押す**

制御設定(ACCEPTED VALUES)画面を表示します。

“1-CAMERAS”の設定を行なう場合はP47を参照ください。

7 ▼ **ボタンを押し、“2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX”を選択して、** ent **ボタンを押す**

接続されているDVR-MUXを設定します。

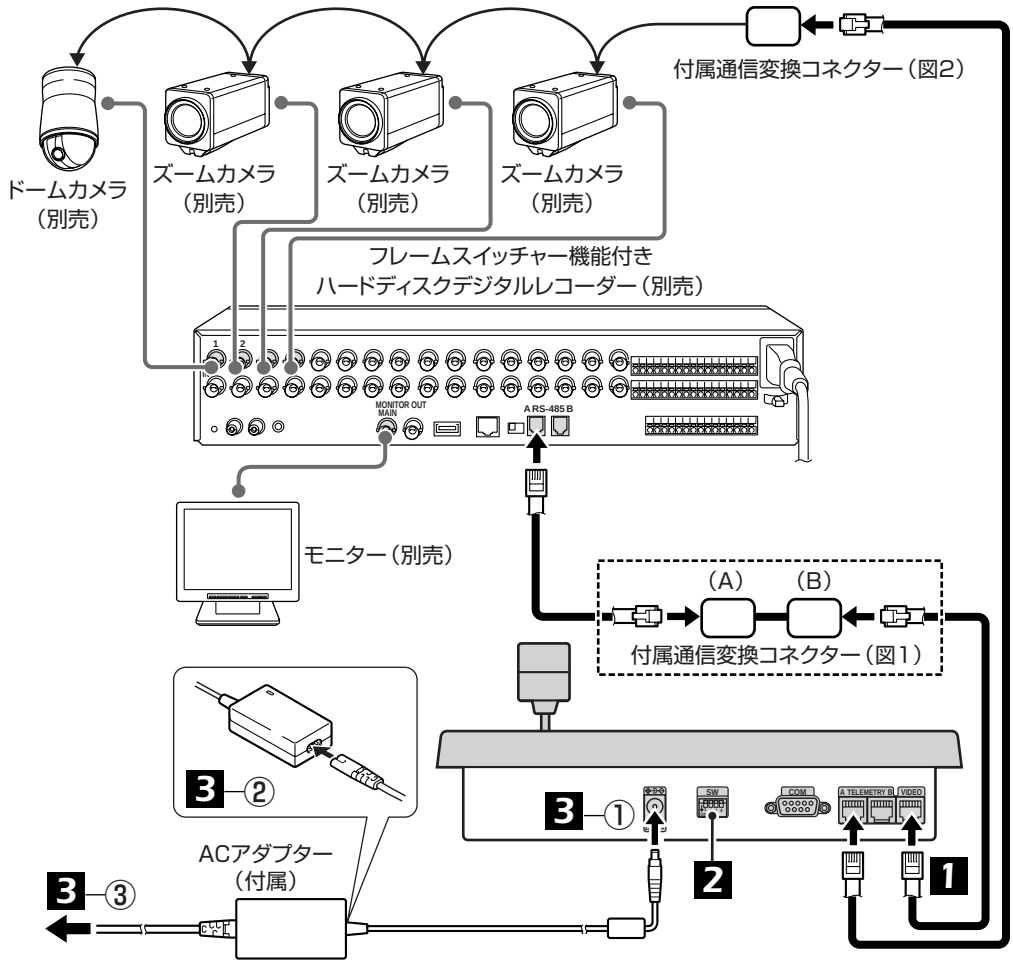


（図2）

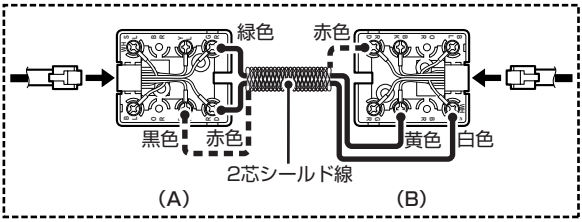
8 設定は終了しましたので、ハードディスクデジタルレコーダー（P32）またはカメラ（P38）の操作を行なう

接続と通信設定3

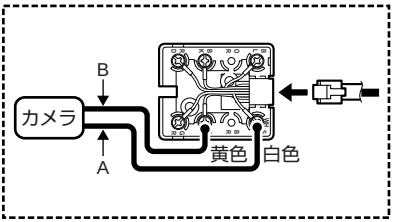
C 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY A）に接続した場合



■ 通信変換コネクターの接続（図1）



■ 通信変換コネクターの接続（図2）



■ 接続を行なう

1 本機と通信操作する機器を接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

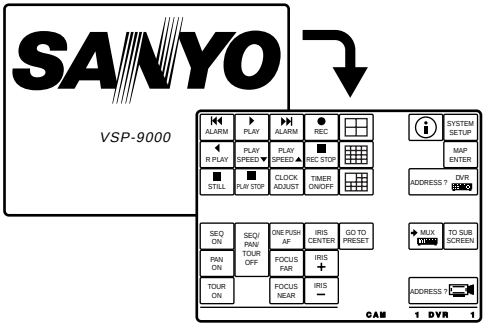
2 終端を設定する

SW1：OFF（固定）
SW2：ON（カメラA用）
SW3：OFF（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

3 本機の電源を接続する

① 電源端子にACアダプターのDCプラグを接続する
② 電源プラグをACアダプターに差し込む
③ 電源プラグをACコンセントに差し込む

本機に電源が入り、メニュー表示部にメインメニューを表示します。

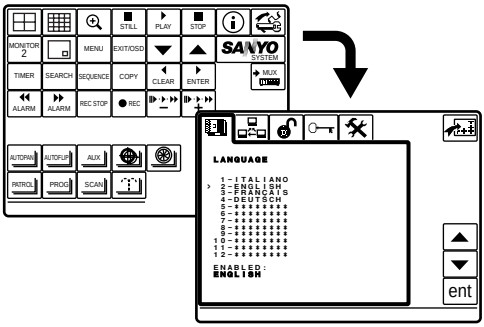


- 本機には電源スイッチはありません。電源の入切は、ACアダプターのDCプラブの抜き差しで行ないます。
- 起動時にパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面を表示します。（P51）

■ 本機の通信設定

1 SYSTEM SETUP ボタンを押し、MENU ボタンを押す

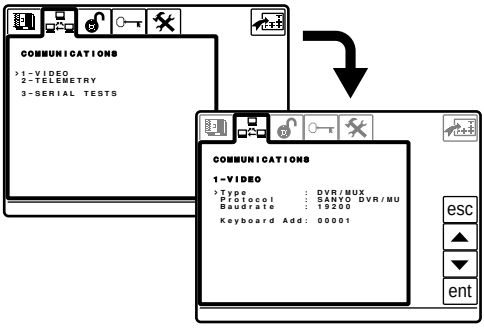
言語選択画面(LANGUAGE)を表示しますので、英語以外で操作を行なう場合は言語を選択してください。（P42）



2 COMMUNICATIONS ボタンを押し、ent ボタンを押す

通信設定(COMMUNICATIONS)の“1-VIDEO”画面を表示します。

本機の裏面の映像通信端子(VIDEO)のみで通信操作を行なう場合は、図1の画面になっていることを確認してください。



（図1）

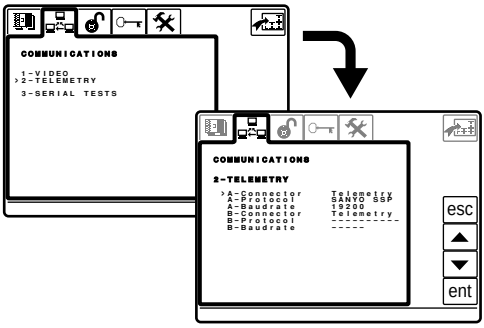
注意：本機のアドレス(Keyboard Add)を変更する場合はP44を参照してください。

設定確認：

- Type：
  フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどを操作する場合に“DVR/MUX”と表示させます。
- Protocol：
  Typeで“DVR/MUX”選択すると、自動的に“SANYO DVR/MU”と表示します。
- Baudrate：
  自動的に“19200”と表示されます。接続する機器（DVR等）の設定値と合わせてください。

3 esc ボタンを押す
通信設定選択画面に戻ります。

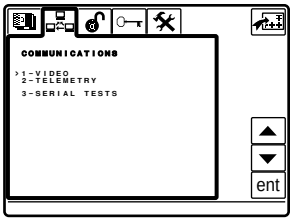
4 ▼ ボタンを押し、“2-TELEMETRY”を選択して、ent ボタンを押す
“2-TELEMETRY”の画面を表示しますので、下記の設定になっていることを確認してください。



設定確認：

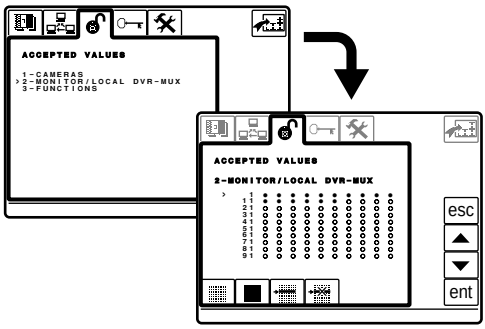
- A-Connector：
  映像機器経由でカメラ操作する場合は“Telemetry”と表示させます。
- A-Protocol：
  接続するカメラと合わせてください。
- A-Baudrate：
  接続するカメラと合わせてください。

5 esc ボタンを押す
通信設定(COMMUNICATIONS)に戻ります。



6 🔓 ボタンを押す
制御設定(ACCEPTED VALUES)画面を表示します。
“1-CAMERAS”の設定を行なう場合はP47を参照ください。

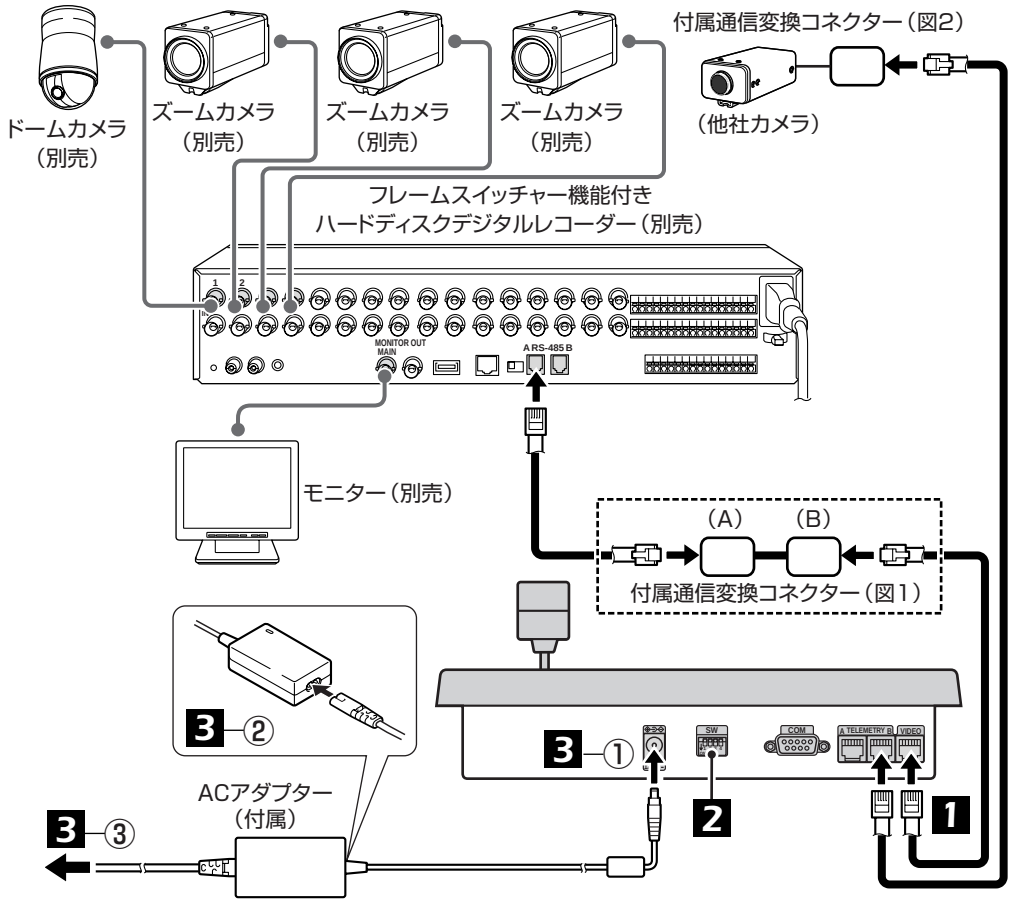
7 ▼ ボタンを押し、“2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX”を選択して、ent ボタンを押す
接続されているDVR-MUXを設定します。



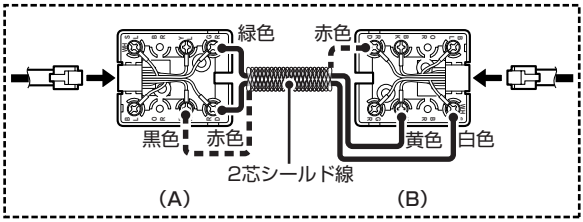
(図2)

8 設定は終了しましたので、ハードディスクデジタルレコーダー（P32）またはカメラ（P38）の操作を行なう

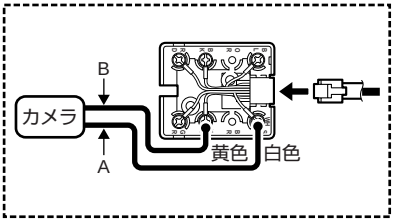
D 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY B）に接続した場合



■ 通信変換コネクターの接続（図1）



■ 通信変換コネクターの接続（図2）



■ 接続を行なう

1 本機と通信操作する機器を接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

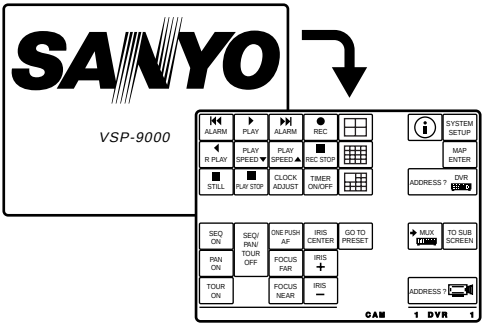
2 終端を設定する

SW1：OFF（固定）
SW2：OFF（カメラA用）
SW3：ON（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

3 本機の電源を接続する

① 電源端子にACアダプターのDCプラグを接続する
② 電源プラグをACアダプターに差し込む
③ 電源プラグをACコンセントに差し込む

本機に電源が入り、メニュー表示部にメインメニューを表示します。

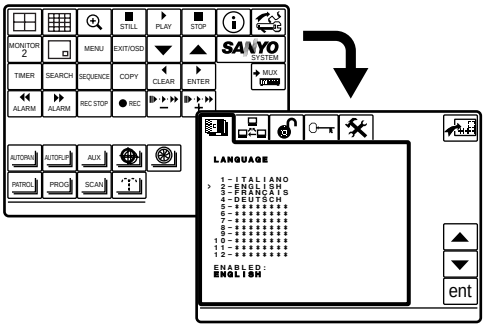


- 本機には電源スイッチはありません。電源の入切は、ACアダプターのDCプラブの抜き差しで行ないます。
- 起動時にパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面を表示します。(P51)

■ 本機の通信設定

1 SYSTEM SETUP ボタンを押し、MUX ボタンを押す

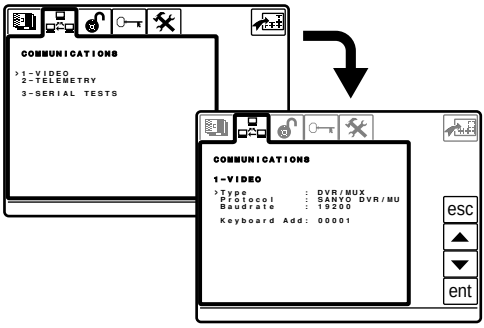
言語選択画面(LANGUAGE)を表示しますので、英語以外で操作を行なう場合は言語を選択してください。(P42)



2 MUX ボタンを押し、ent ボタンを押す

通信設定(COMMUNICATIONS)の“1-VIDEO”画面を表示します。

本機の裏面の映像通信端子(VIDEO)のみで通信操作を行なう場合は、図1の画面になっていることを確認してください。



（図1）

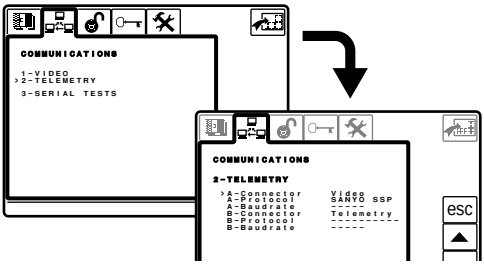
注意：本機のアドレス(Keyboard Add)を変更する場合はP44を参照してください。

設定確認：

- Type：
  フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどを操作する場合に“DVR/MUX”と表示させます。
- Protocol：
  Typeで“DVR/MUX”選択すると、自動的に“SANYO DVR/MU”と表示します。
- Baudrate：
  自動的に“19200”と表示されます。
  接続する機器の設定値と合わせてください。

3 esc ボタンを押す
通信設定選択画面に戻ります。

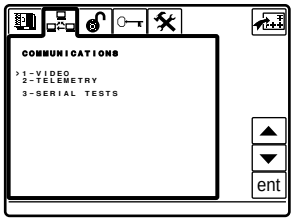
4 ▼ ボタンを押し、“2-TELEMETRY”を選択して、ent ボタンを押す
“2-TELEMETRY”の画面を表示しますので、下記の設定になっていることを確認してください。



設定確認：

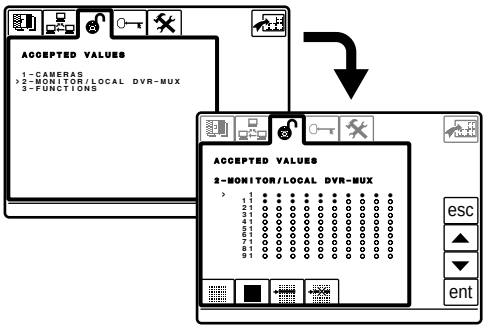
- A-Connector：
  “Video”と表示させます。
- A-Protocol：
  “SANYO SSP”と表示させます。
- A-Baudrate：
  1-VIDEOの“Baudrate（19200）”となるため強制的に“------”と表示されます。
- B-Connector：
  “Telemetry”と表示させます。
- B-Protocol：
  接続するカメラと合わせてください。
- B-Baudrate：
  接続するカメラと合わせてください。

5 esc ボタンを押す
通信設定(COMMUNICATIONS)に戻ります。



6 🔓 ボタンを押す
制御設定(ACCEPTED VALUES)画面を表示します。
“1-CAMERAS”の設定を行なう場合はP47を参照ください。

7 ▼ ボタンを押し、“2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX”を選択して、ent ボタンを押す
接続されているDVR-MUXを設定します。

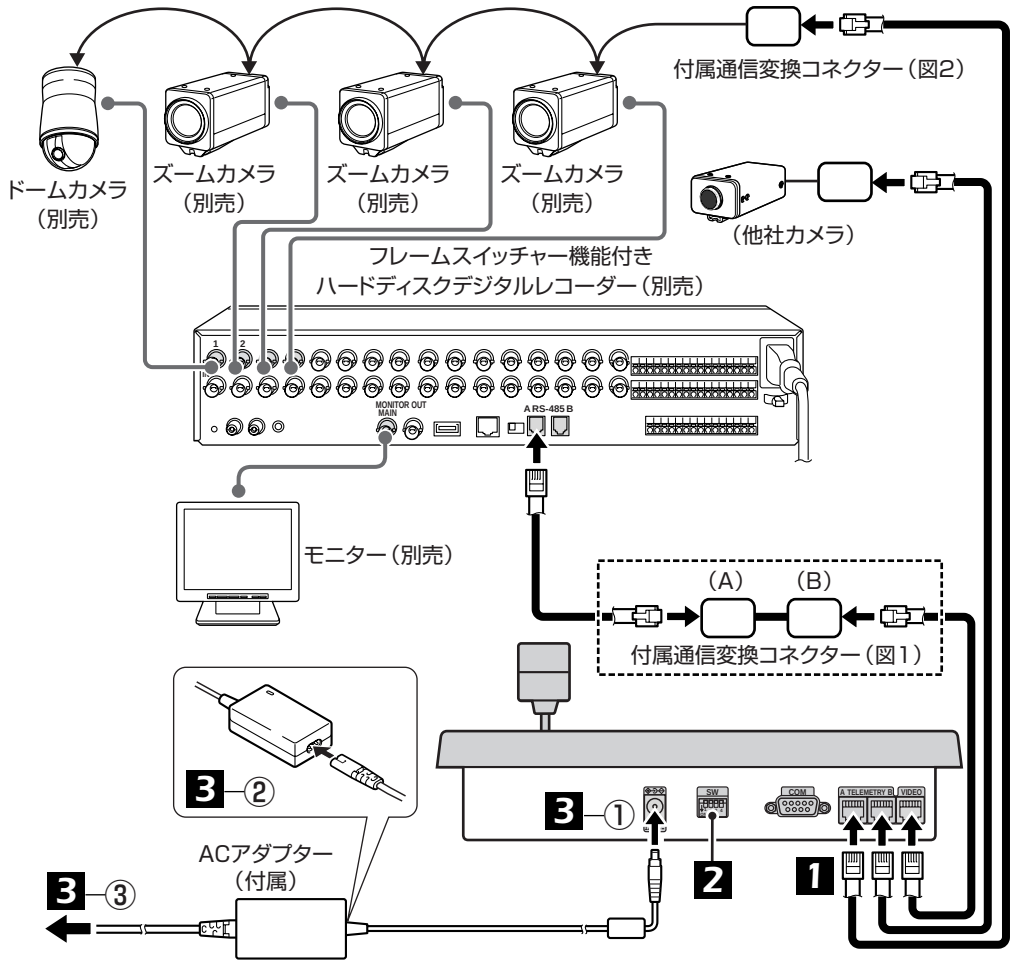


（図2）

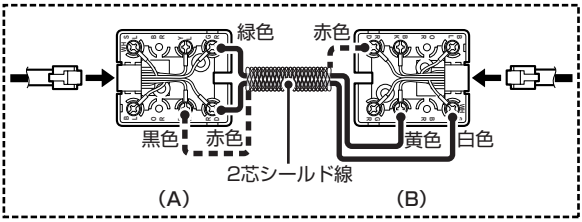
8 設定は終了しましたので、ハードディスクデジタルレコーダー（P32）またはカメラ（P38）の操作を行なう

接続と通信設定5

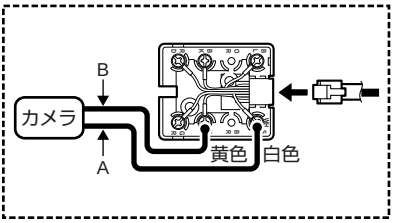
E 映像通信端子（VIDEO）とカメラ通信端子（TELEMETRY A/B）に接続した場合



■ 通信変換コネクターの接続（図1）



■ 通信変換コネクターの接続（図2）

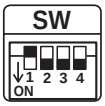


■ 接続を行なう

1 本機と通信操作する機器を接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切ってください。

2 終端を設定する

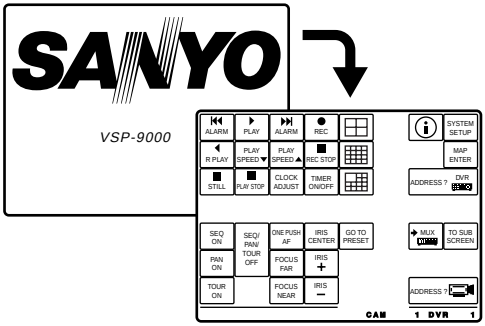


SW1：OFF（固定）
SW2：ON（カメラA用）
SW3：ON（カメラB用）
SW4：ON（映像用）

3 本機の電源を接続する

① 電源端子にACアダプターのDCプラグを接続する
② 電源プラグをACアダプターに差し込む
③ 電源プラグをACコンセントに差し込む

本機に電源が入り、メニュー表示部にメインメニューを表示します。

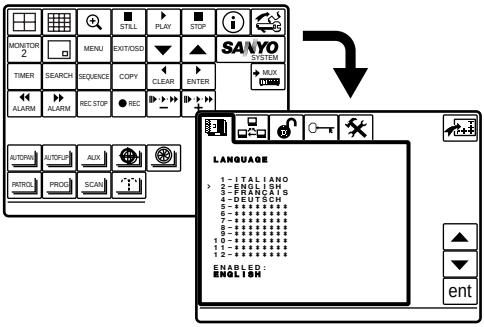


- 本機には電源スイッチはありません。電源の入切は、ACアダプターのDCプラブの抜き差しで行ないます。
- 起動時にパスワードを設定している場合は、パスワード入力画面を表示します。（P51）

■ 本機の通信設定

1 SYSTEM SETUP ボタンを押し、MENU ボタンを押す

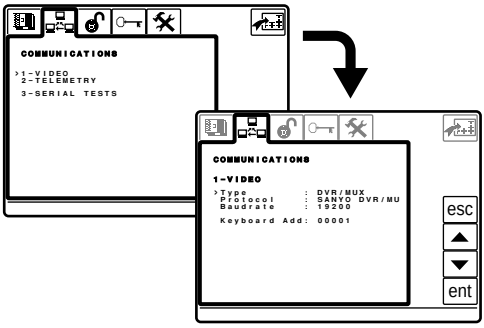
言語選択画面(LANGUAGE)を表示しますので、英語以外で操作を行なう場合は言語を選択してください。（P42）



2 COMMUNICATIONS ボタンを押し、ent ボタンを押す

通信設定(COMMUNICATIONS)の“1-VIDEO”画面を表示します。

本機の裏面の映像通信端子(VIDEO)のみで通信操作を行なう場合は、図1の画面になっていることを確認してください。



（図1）

注意：本機のアドレス(Keyboard Add)を変更する場合はP44を参照してください。

設定確認：

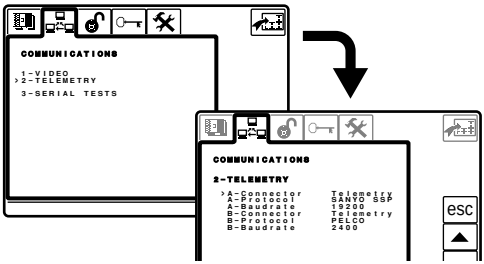
- Type：
  フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどを操作する場合に“DVR/MUX”と表示させます。
- Protocol：
  Typeで“DVR/MUX”選択すると、自動的に“SANYO DVR/MU”と表示します。
- Baudrate：
  自動的に“19200”と表示されます。
  接続する機器の設定値と合わせてください。

3 esc **ボタンを押す**

通信設定選択画面に戻ります。

4 ▼ **ボタンを押し、“2-TELEMETRY”を選択して、** ent **ボタンを押す**

“2-TELEMETRY”の画面を表示しますので、下記の設定になっていることを確認してください。

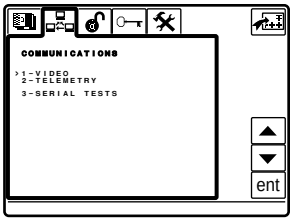


設定確認：

- A-Connector：
  “Telemetry”と表示させます。
- A-Protocol：
  接続するカメラと合わせてください。
- A-Baudrate：
  接続するカメラと合わせてください。
- B-Connector：
  “Telemetry”と表示させます。
- B-Protocol：
  接続するカメラと合わせてください。
- B-Baudrate：
  接続するカメラと合わせてください。

5 esc **ボタンを押す**

通信設定(COMMUNICATIONS)に戻ります。

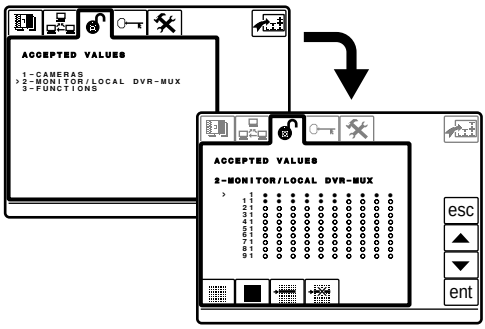


6 🔓 **ボタンを押す**

制御設定(ACCEPTED VALUES)画面を表示します。
“1-CAMERAS”の設定を行なう場合はP47を参照ください。

7 ▼ **ボタンを押し、“2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX”を選択して、** ent **ボタンを押す**

接続されているDVR-MUXを設定します。



(図2)

8 設定は終了しましたので、ハードディスクデジタルレコーダー（P32）またはカメラ（P38）の操作を行なう

通信回線と接続台数

本機は後面の映像端子(VIDEO)にフレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーなどや、カメラ端子(TELEMETLY A/B)にはドームまたはズームカメラを複数接続して操作することができます。
各機器間を接続後はアドレスと終端設定が必要です。接続機器の設定はお手持ちの取扱説明書を参照ください。

■ 接続台数

- 本機の接続台数は最大5台（アドレス0～4）
- 本機と映像端子（ハードディスクデジタルレコーダー、フレームスイッチャー）間の接続は最大100台（アドレス1～100）
- 本機とカメラ端子（ドームカメラ、ズームカメラ）間の接続は最大127台（アドレス1～127）
- システム内の総接続数は最大256台

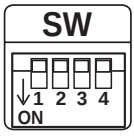
注意：通信回線を行なう前に、通信変換コネクター間の接続を確認できます。
システム設定の **“通信設定”**、**“3－SERIAL TESTS”** を参照ください。(P46)

■ 終端設定

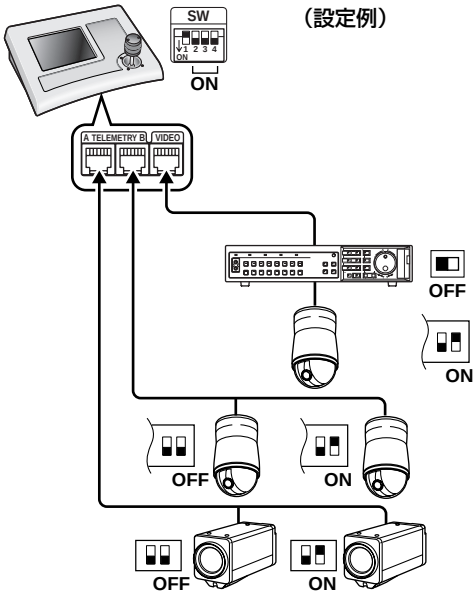
本機には、カメラA/B通信端子と映像通信端子を装備しています。通信操作を行なう場合、各通信端子からループで複数台の機種を接続すると、データが両端で反射して他のデータに影響を与え各機器に正しいデータが伝わらなくなります。
終端設定とは、正しく通信ができるように複数台接続した機器の両端に装備されている終端スイッチをオン（ON）、両端内の終端スイッチをオフ（OFF）に設定することです。

後面部のディップスイッチ（SW）2から4までが終端設定スイッチです。

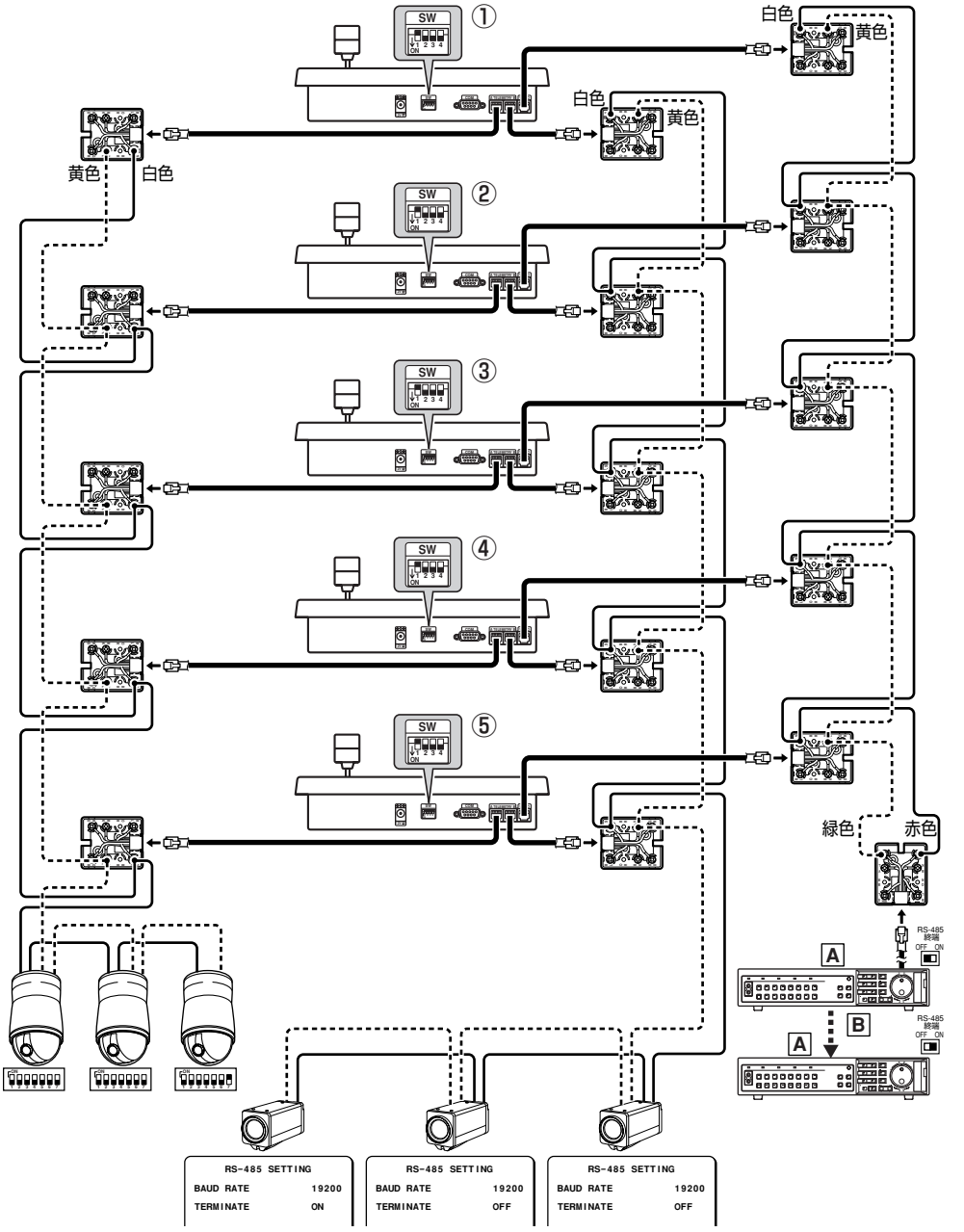
- SW1：パソコンソフト操作と通常操作選択用
- **SW2：カメラ通信端子Aの終端設定用**
- **SW3：カメラ通信端子Bの終端設定用**
- **SW4：映像通信端子の終端設定用**



（設定例）



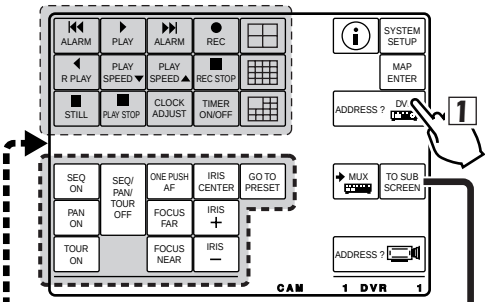
通信回線と接続台数（つづき）



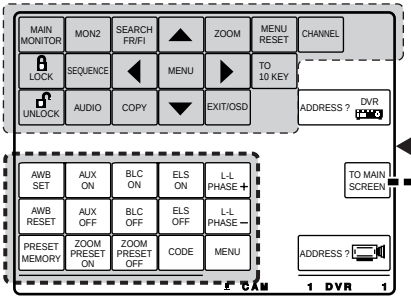
ハードディスクデジタルレコーダー（DVR）の操作

本機とハードディスクデジタルレコーダー、ズームカメラなどを接続した場合

<メインメニュー画面>



<サブ画面>



元の画面へ

ハードディスクデジタルレコーダーの操作ボタン

ドームカメラまたはズームカメラの操作ボタン

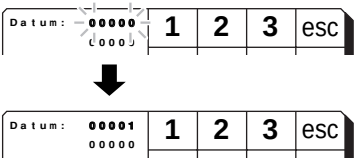
注意：本機と接続する機器により、操作できない操作ボタンがあります。

1 ADDRESS ? DVR **ボタンを押す**

アドレスの入力画面を表示し、Datumの“00000”が点滅します。

2 **テンキーボタンでレコーダーのアドレス（例：1）を入力する**

Datumが“00001”になります。

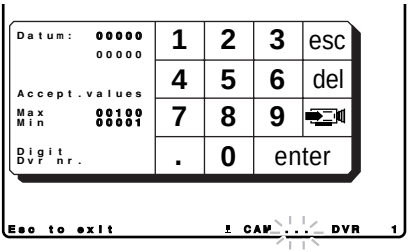


注意：レコーダーのアドレスが“001”であることを確認しておいてください。

3 enter **ボタンを押す**

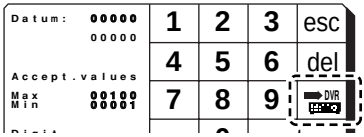
Datumが“00000”となり、メッセージ表示部のDVRのアドレスが“1”になります。

カメラ入力チャンネルはまだ設定されていませんので“...”が点滅しています。



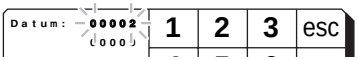
4 を押す

が に変わります。



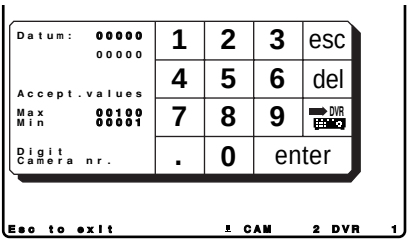
5 テンキーでカメラのアドレス（例：2）を入力する

Datumの“00002”が点滅します。



6 enter ボタンを押す

Datumが“00000”となり、メッセージ表示部のカメラ入力チャンネルが“2”になります。



esc ボタンを押してください。メインメニュー画面に戻ります。

7 サブ画面（TO SUB SCREEN ボタン）とメインメニュー画面（TO MAIN SCREEN ボタン）を切り換えて、レコーダまたはカメラの操作を行なってください。

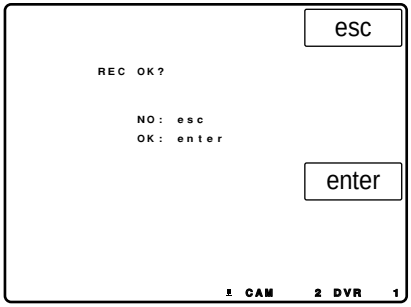
■ メインメニュー画面の操作

ALARM **アラームボタン**
再生中、または一時再生中に押してください。ひとつ前のアラームを再生します。

PLAY **再生ボタン**
通常記録領域またはアラーム記録領域の映像を再生します。

ALARM **アラームボタン**
再生中、または一時再生中に押してください。ひとつ後のアラームを再生します。

REC **録画ボタン**
メニュー表示部に録画確認画面を表示します。録画しない場合は esc を押し、録画する場合は enter を押してください。



4画面表示ボタン
メインモニターを4分割画面で表示します。

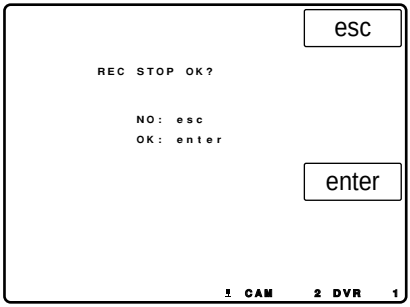
R PLAY **逆再生ボタン**

PLAY SPEED▼ **再生スピード（▼）ボタン**
再生中に押してください。静止画の逆コマ送り（ ）になります。繰り返し押すと送り速度が遅くなります。

PLAY SPEED▲ **再生スピード（▲）ボタン**
再生中に押してください。静止画の正コマ送り（ ）になります。繰り返し押すと送り速度が早くなります。

REC STOP

録画停止ボタン
メニュー表示部に録画停止画面を表示します。録画を続ける場合は esc を押し、録画停止する場合は enter を押してください。



マルチ表示ボタン
メインモニターを9分割または16分割画面で表示します。ハードディスクデジタルレコーダーのカメラ入力端子数により分割表示は異なります。

STILL

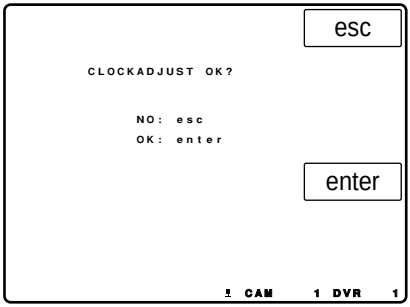
一時停止ボタン
再生中に押してください。静止画になります。もう一度押すと再生に戻ります。

PLAY STOP

再生停止ボタン
再生中に押すと、再生を停止します。

CLOCK ADJUST

時刻設定ボタン
分、秒を“00”に合わせるときに押してください。



TIMER ON/OFF

タイマー録画ボタン
録画中に押すとタイマー録画待機になり、設定した時間になるとタイマー録画になります。もう一度押すと解除されます。

プラス表示ボタン
メインモニターでマルチ表示画面を監視中に1台のカメラ映像だけを拡大表示します。カメラ入力端子数により分割表示は異なります。もう一度押すと解除されます。

■ サブ画面の操作

MAIN MONITOR

メインモニターボタン(※)
メインモニターを操作するときに押してください。

MON2

モニタ2ボタン(※)
モニタ2を操作するときに押してください。

SEARCH FR/FI

サーチボタン
各サーチ操作のメニュー表示中、録画または停止中に押してください。

カーソルボタン
メニューを選択するときなどにジョグシャトルの代わりに使用します。カーソルが移動します。

ZOOM

ズームボタン
一画面で再生中、またはライブ映像を監視中にズームボタンを押してください。
画面中央にズーム枠を表示します。
もう一度押すとズームを解除します。

MENU RESET

メニューリセットボタン
メニュー設定内容を初期化します。

CHANNEL

チャンネルボタン
一時停止中にカメラチャンネルを選択できます。

（※）：サブメニュー画面が表示されます。

LOCK

セキュリティロックボタン
ハードディスクデジタルレコーダーの操作をセキュリティロックするときに押してください。

SEQUENCE

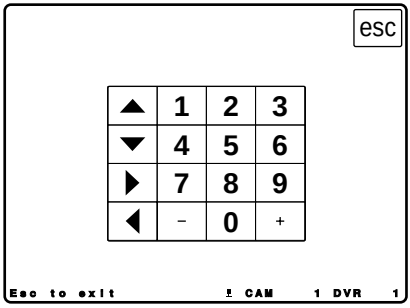
カメラ自動切換ボタン
監視中のライブ映像を自動で切り換えます。もう一度押すと解除されます。

MENU

メニューボタン
ハードディスクデジタルレコーダーのメニューを表示させるときに押してください。

TO 10 KEY

テンキー画面切換ボタン
esc ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。



UNLOCK

セキュリティ解除ボタン
ハードディスクデジタルレコーダーのセキュリティを解除するときに押してください。操作ボタンを押すと、モニターに **“セキュリティロック中”** と表示され、パスワードを要求してきますので、パスワードを入力してください。

AUDIO

音声ボタン
音声出力チャンネルを切り換えることができます。

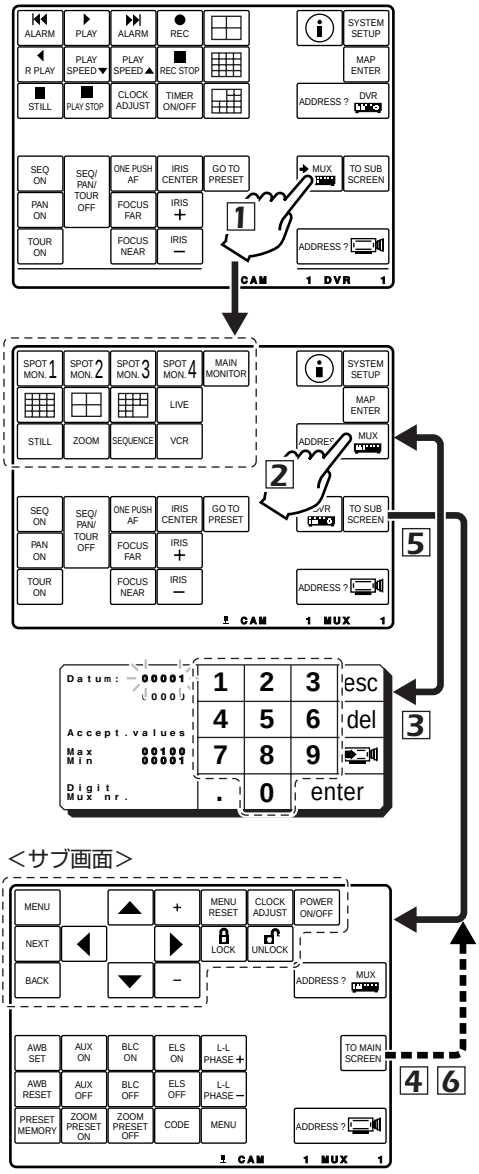
COPY

コピーボタン
通常記録領域やアラーム記録領域に記録された映像をバックアップ領域やコンパクトフラッシュにコピーできます。
コピーしたい記録領域を再生し、一時停止にしてください。
メインメニューに戻るときは、COPY ボタンを押してください。

EXIT/OSD

画面表示ボタン
- メインメニューまたはサブメニューを終了するときに押してください。
- 録画、再生、停止中に押すと、モニター上の表示位置が上表示、下表示、非表示の順に切り換えます。

フレームスイッチャー（MUX）の操作



1 MUX **ボタンを押す**

ADDRESS ? DVR ボタンが ADDRESS ? MUX に変わります。

2 ADDRESS ? MUX **ボタンを押す**

アドレスの入力画面が表示し、Datumの“00000”が点滅します。

3 **テンキーボタンでスイッチャーのアドレス（例：1）を入力して** enter **ボタンを押す**

Datumが“00000”となり、メッセージ表示部のMUXのアドレスが“1”になります。

esc ボタンを押してください。メインメニュー画面に戻ります。

アドレスの入力画面が消え、メニュー画面になります。

4 **フレームスイッチャーの基本操作**

メニュー画面上の［　］内のボタンを押す

フレームスイッチャーの基本操作ができます。

5 **フレームスイッチャーの詳細操作**

TO SUB SCREEN **ボタンを押す**

サブ画面を表示しますので［　］内のボタンを押してください。

6 TO MAIN SCREEN **ボタンを押す**

メニュー画面に戻ります。

注意：本機と接続する機器により、操作できない操作ボタンがあります。

■ メインメニュー画面の操作

SPOT MON. 1 SPOT MON. 2 SPOT MON. 3 SPOT MON. 4 **スポットモニターボタン(※)**
スポットモニターに出力する映像を選択するときに押してください。

MAIN MONITOR **メインモニターボタン(※)**
メインモニターを操作するときに押してください。

マルチ表示ボタン
メインモニターを9分割または16分割画面で表示します。カメラ入力端子数により分割表示は異なります。繰り返し押すと9分割、16分割に切り換わります。

4画面表示ボタン
メインモニターを4分割画面で表示します。繰り返し押すと4分割単位で画面が切り換わります。

プラス表示ボタン
メインモニターでマルチ表示画面を監視中に1台のカメラ映像だけを拡大表示します。カメラ入力端子数により分割表示は異なります。もう一度押すと解除します。

LIVE **ライブ映像ボタン**
カメラ（ライブ）の映像を見るときに押してください。

STILL **静止画ボタン**
1画面で監視中に押してください。静止画になります。もう一度押すと解除します。

ZOOM **電子ズームボタン**
1画面で監視中に押すと、2倍のズーム画面になります。もう一度押すと解除します。

SEQUENCE **カメラ自動切換ボタン**
監視中のライブ映像を自動で切り換えます。もう一度押すと解除します。

VCR **ビデオ再生ボタン**
ビデオ再生モードにするときに押してください。モニターにビデオ再生映像が表示されます。

■ サブ画面の操作

MENU **メニュー選択ボタン**
フレームスイッチャーのメニューがモニターに表示されます。

NEXT **次設定ボタン**
メインメニューでメニューを設定してから押してください。サブメニュー画面を表示します。

BACK **前設定ボタン**
サブメニュー画面のときに押すと、メニュー画面に戻ります。

◀ ▲ ▶ ▼ **カーソルボタン**
メニューを選択するときなどに押してください。カーソルが移動します。

＋ － **＋－ボタン**
数値や項目などを選択するときに押してください。

MENU RESET **メニューリセットボタン**
メニュー設定内容を初期化するときに押してください。

CLOCK ADJUST **時刻設定ボタン**
分、秒を“00”に合わせるときに押してください。

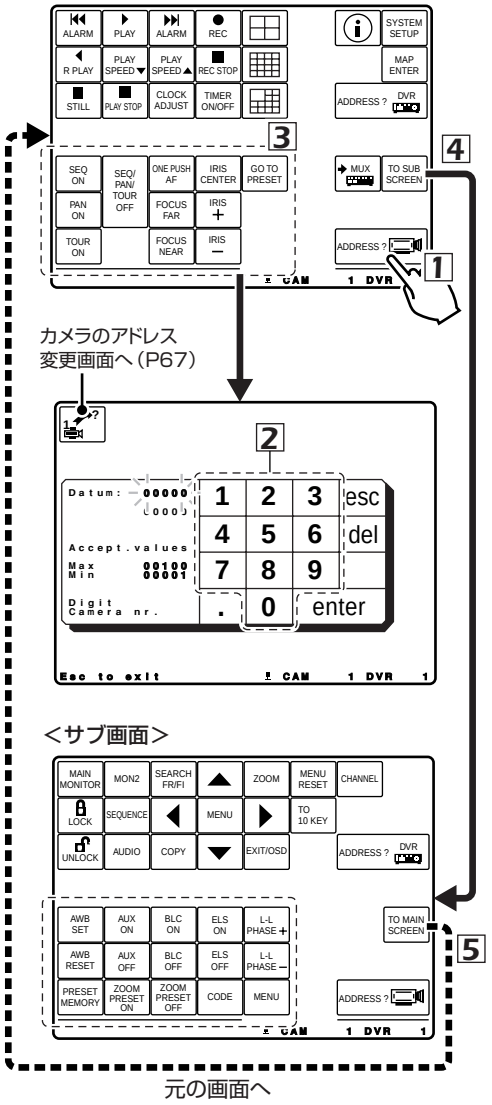
POWER ON/OFF **電源スイッチ**
電源を入切できます。

LOCK **セキュリティロックボタン**
フレームスイッチャー操作のセキュリティロックをするときに押してください。

UNLOCK **セキュリティ解除ボタン**
フレームスイッチャー操作のセキュリティを解除するときに押してください。

（※）：サブメニュー画面が表示されます。

ドームカメラ・ズームカメラの操作



注意：本機と接続する機器により、操作できない操作ボタンがあります。

1 ADDRESS ? **ボタンを押す**

アドレスの入力画面が表示し、Datumの“00000”が点滅します。

2 **テンキーボタンでカメラ入力チャンネル（例：1）を入力して、**enter**ボタンを押す**

Datumが“00000”となり、メッセージ表示部のカメラ入力チャンネルが“1”になります。

esc ボタンを押してください。メインメニュー画面に戻ります。

アドレスの入力画面が消え、メニュー画面になります。

3 **カメラの基本操作**

メニュー画面上の［ ］内のボタンを押す

カメラの基本操作ができます。

4 **カメラの詳細操作** TO SUB SCREEN **ボタンを押す**

サブ画面を表示しますので［ ］内のボタンを押してください。

5 TO MAIN SCREEN **ボタンを押す**

メニュー画面に戻ります。

■ メインメニュー画面の操作

SEQ ON　シーケンシャルパンを行なう

PAN ON　オートパンを行なう

TOUR ON　ツアーモードを行なう

SEQ/ PAN/ TOUR OFF　シーケンシャルパン/オートパン/ツアーモードを解除する

ONE PUSH AF　ワンプッシュオートフォーカスを行なう

FOCUS FAR　マニュアルフォーカスにより遠点へフォーカスを調整する

FOCUS NEAR　マニュアルフォーカスにより近点へフォーカスを調整する

IRIS CENTER　アイリスレベルを初期値に戻す

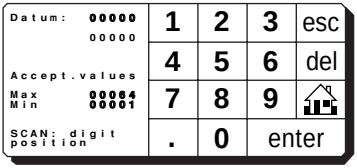
IRIS ＋　アイリスレベルを開放側にする

IRIS －　アイリスレベルを絞る方向にする

GO TO PRESET　プリセットポジションで記憶させた位置にカメラを移動させる

本機のメニュー表示部にテンキー画面が表示されますので、プリセット番号を選んで enter ボタンを押してください。

元の画面に戻るには esc ボタンを押してください。



■ サブ画面の操作

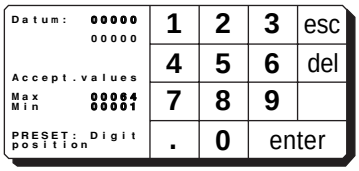
AWB SET　ワンタッチで自動ホワイトバランスを行なう

AWB RESET　ホワイトバランスのロックモードを解除する

PRESET MEMORY　指定したプリセットポジション番号にその時点の撮影位置、ズーム、フォーカスを記憶させる

本機のメニュー表示部にテンキー画面が表示されますので、プリセット番号を選んで enter ボタンを押してください。

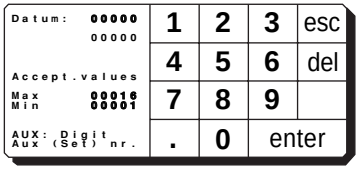
元の画面に戻るには esc ボタンを押してください。



AUX ON　そのほかの機能をオンにする

本機のメニュー表示部にテンキー画面が表示されますので、機能番号を選んで enter ボタンを押してください。

元の画面に戻るには esc ボタンを押してください。

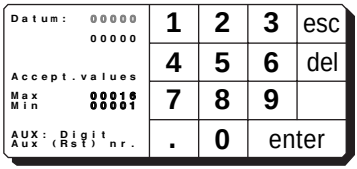


AUX OFF

そのほかの機能をオフにする

本機のメニュー表示部にテンキー画面が表示されますので、機能番号を選んで enter ボタンを押してください。

元の画面に戻るには esc ボタンを押してください。



ZOOM PRESET ON

ズームをテレ最大にする

ZOOM PRESET OFF

ズームをワイド最大にする

BLC ON

逆光補正をオンにする

BLC OFF

逆光補正をオフにする

ELS ON

電子シャッターをオンにする

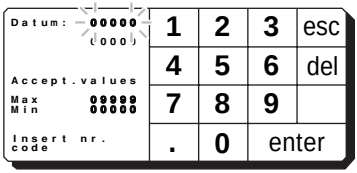
ELS OFF

電子シャッターをオフにする

CODE

特殊コードを設定する

本機のメニュー表示部にテンキー画面が表示されますので特殊コードを入力してください。特殊コード一覧表を参照ください。(P89)



L-L PHASE +

垂直同期を＋側に調整する

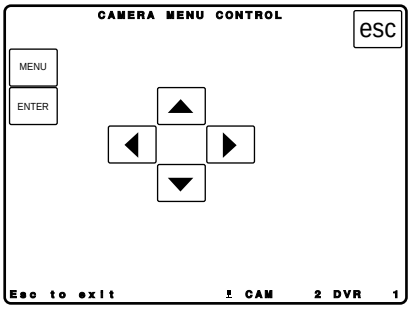
L-L PHASE −

垂直同期を−側に調整する

MENU

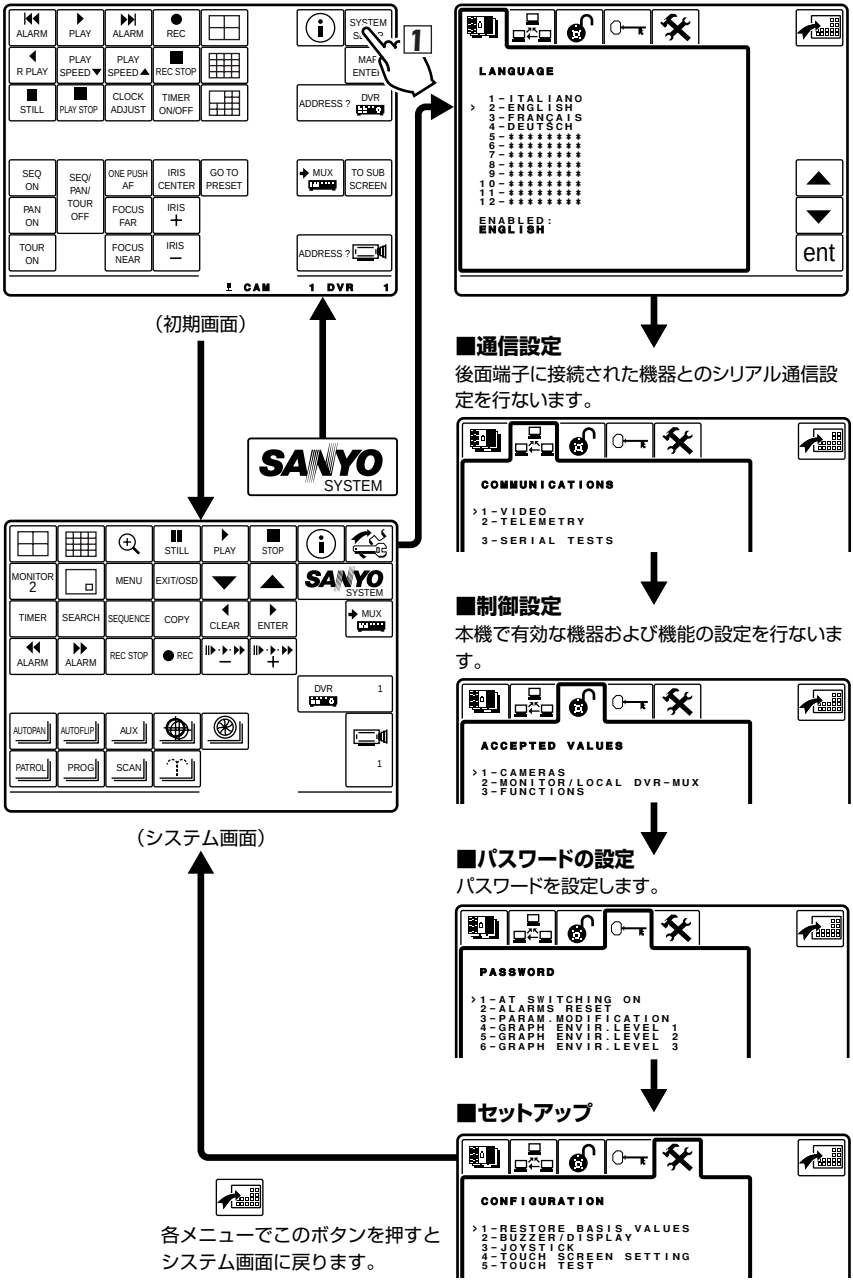
メニュー設定に入る

本機のメニュー表示部にメニュー設定ボタンが表示されますので、設定操作を行なってください。



注意：ドームカメラ（VCC-9000）を操作中は ▲ または ▼ ボタンを使用すると、カーソルのコントロールが効かなくなります。本メニュー画面でのカーソル操作（▲/▼）はジョグダイヤルを使用してください。

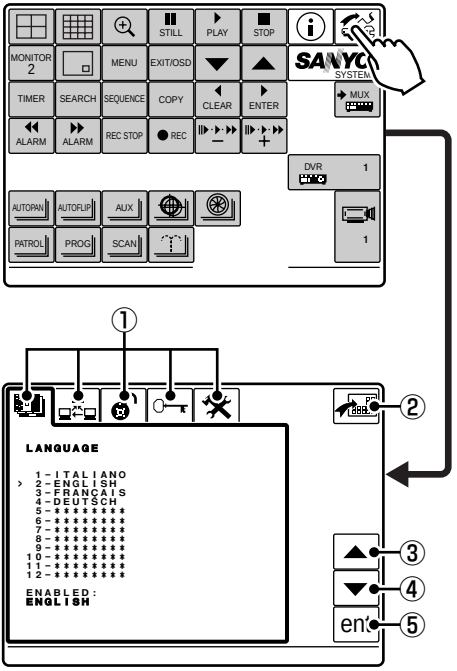
システム設定の概要


■言語選択
メニュー表示部に表示される言語を選択します。
LANGUAGE
1-ITALIANO
2-ENGLISH
3-FRANCAIS
4-DEUTSCH
ENABLED:
ENGLISH
ent
1
（初期画面）
■通信設定
後面端子に接続された機器とのシリアル通信設定を行ないます。
COMMUNICATIONS
1-VIDEO
2-TELEMETRY
3-SERIAL TESTS
■制御設定
本機で有効な機器および機能の設定を行ないます。
ACCEPTED VALUES
1-CAMERAS
2-MONITOR/LOCAL DVR-MUX
3-FUNCTIONS
■パスワードの設定
パスワードを設定します。
PASSWORD
1-AT SWITCHING ON
2-ALARMS RESET
3-PARAM.MODIFICATION
4-GRAPH ENVIR.LEVEL 1
5-GRAPH ENVIR.LEVEL 2
6-GRAPH ENVIR.LEVEL 3
■セットアップ
CONFIGURATION
1-RESTORE BASIS VALUES
2-BUZZER/DISPLAY
3-JOYSTICK
4-TOUCH SCREEN SETTING
5-TOUCH TEST
SANYO SYSTEM
（システム画面）
各メニューでこのボタンを押すとシステム画面に戻ります。

言語の選択

本機を操作するためのパスワードやメニュー表示部などの設定ができます。ここでは言語（LANGUAGE）の変更を例に説明します。システム画面上では他の設定方法は同じです。

＜サブ画面＞



：本機では操作できないボタンです。

①システムメニューの選択ボタン
　各ボタンを押すと他のメニュー画面を表示します。
②メニューに戻るときに押す
③カーソルを上に動かすときに押す
④カーソルを下に動かすときに押す
⑤項目を確定するときに押す
　次のメニューなどを表示します。

1 SYSTEM SETUP **ボタンを押す**
メインメニューが表示します。

2 **ボタンを押す**
システム画面の言語選択画面 が表示します。

3 ▲ **または** ▼ **ボタンを押して言語を選択して** ent **ボタンを押す**
システム画面上の言語が選択した言語に変わります。

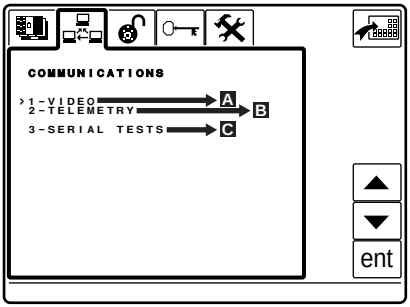
4 **ボタンを押す**
サブ画面に戻ります。

日本語の表示はできません。

通信設定

本機後面の映像通信端子(VIDEO)またはカメラ通信端子(TELEMETRY A/B)に接続する機器との通信設定を行ないます。さらに接続した機器間のシリアル通信テストも行なうことができます。

■ 通信項目を選択(COMMUNICATIONS)

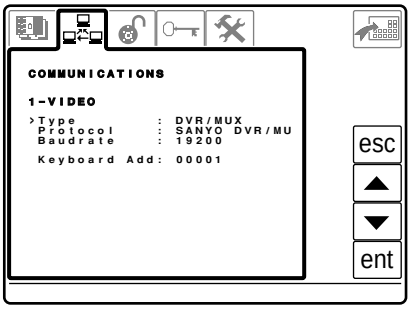


▲または▼ボタンで設定項目を選び、ent ボタンを押す

選択した画面が表示されます。選択項目(**A** **B** **C**)を参照ください。

選択項目

A 1－VIDEO（映像機器の通信設定）



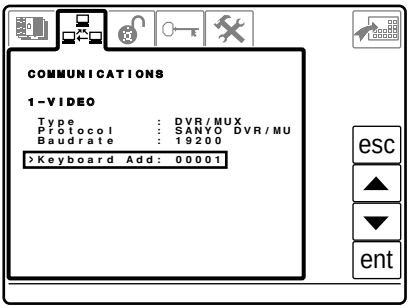
ご購入時は当社の映像機器(DVR/MUX)と接続する通信設定となっており、設定を変更する必要はありません。

他社の映像機器で通信設定する場合は“通信一覧表”を参照ください。(P86)

- Type：
  映像通信端子と接続する機器(**DVR/MUX**)を表示しています。Typeを変更すると、Protocol、Baudrateの変更が必要となります。
- Protocol：
  本機で使用する通信“プロトコル(**SANYO DVR/MU**)”です。
- Baudrate：
  接続する映像機器のデータ転送速度(**19200**)を選択します。
- Keyboard Add：
  本機のアドレスです。

■ 本機アドレス設定

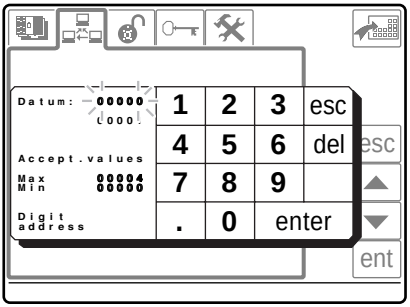
ご購入時は本機のアドレスは“1”に設定されています。複数台のコントローラーを使用する場合はアドレスを変更してください。
アドレスは0から4の範囲で割り当ててください。
＊アドレスの確認は [i] ボタンでも確認できます。



本機のアドレスを変更する

1 [▼] ボタンで“Keyboard Add”を選択して、[enter] ボタンを押す

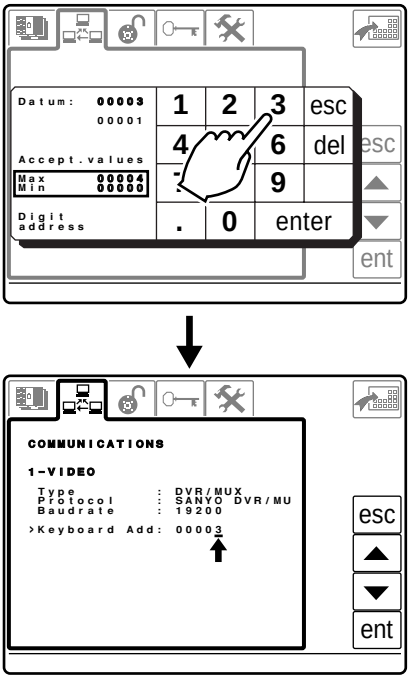
アドレス設定画面を表示し、Datumの“00000”が点滅します。



2 数字ボタンで3（例）を押して、[enter] ボタンを押す

通信設定画面になり、アドレスは3と表示されます。

入力範囲：0、1、2、3、4

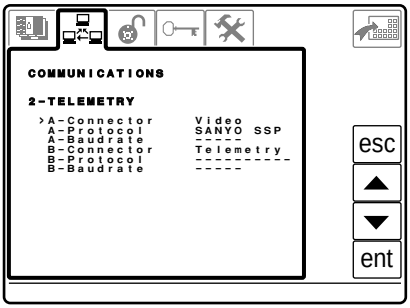


注意：“5”以上を入力すると、警告音を発し“Digit address”が“Datum not enabled”と表示します。再度、入力範囲内の数字を入力してください。

[esc]：通信設定画面に戻ります。

[del]：入力した数字を“0”に戻します。

B 2−TELEMETRY
（ドームカメラやズームカメラの通信設定）



ご購入時は当社の映像機器とカメラ間を同軸ケーブルで接続して操作できる設定になっています。通信には映像通信端子(VIDEO)を使用します。詳しくは“A−Connector”を参照ください。

■ 当社の映像機器やカメラを通信設定するときの設定

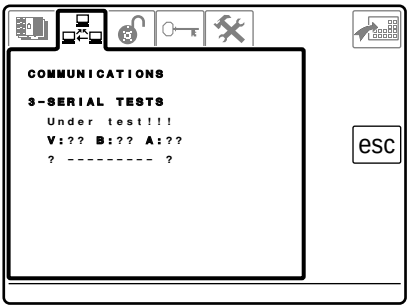
- **A−Connector：**
  Video：映像機器を経由してカメラを接続する場合
  Telemetry：本機とカメラ間をモジュラーケーブルで接続して操作する場合
- **A−Protocol：**
  本機で使用する通信“プロトコル(**SANYO SSP**)”です。各通信プロトコルを変更するたびに、“A−Baudrate”は初期値になります。
- **A−Baudrate：**
  カメラ通信端子Aに接続するカメラのデータ転送速度を選択します。

注意：A−Connectorで“Video”を選択している場合は、Videoのデータ転送速度に固定されているため“A−Baudrate”の設定はできません。

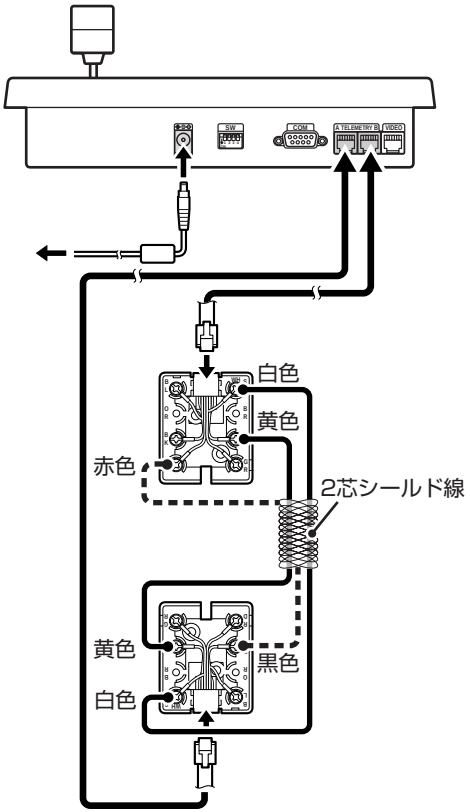
■ 他社のカメラを通信設定するときの設定

- **B−Connector：Telemetry**
  本機とカメラ間をモジュラーケーブルで接続して操作する場合
- **B−Protocol：**
  本機で使用する通信プロトコルです。
  各通信プロトコルを変更するたびに、“B−Baudrate”は初期値になります。
- **B−Baudrate：**
  カメラ通信端子Bに接続するカメラのデータ転送速度を選択します。

C 3−SERIAL TESTS
(映像通信端子とカメラ通信端子の通信出力テスト)



本機に接続した回線をすべて外し、2本のモジュラーケーブルと2個の通信変換コネクターを使って、以下のように接続してください。



1 テストケーブルを本機後面のカメラ端子[TELEMETRY]AとBにそれぞれ接続する

2 メニュー表示部に表示される結果を確認する

B< ------ >A：正常

B< ------ ?A：回線Bは正常に受信しているが回線Aに受信トラブルあり

B? ------ >A：回線Aは正常に受信しているが回線Bに受信トラブルあり

トラブルありと表示された場合、遠隔制御端子[TELEMETRY]Aと映像端子[VIDEO]、遠隔制御端子[TELEMETRY]Bと映像端子[VIDEO]をケーブルで接続してテストをくり返してください。テストの結果が以下のように表示されます。

B? ------ ?A：回線が機能しておらず送受信できない

B? ------ >A：送信はできるが受信できない

B< ------ ?A：受信はできるが送信できない

B< ------ >A：回線は正しく送受信している

- VとAまたはVとBを接続した場合は以下のように表示されます。

V< ------ >A

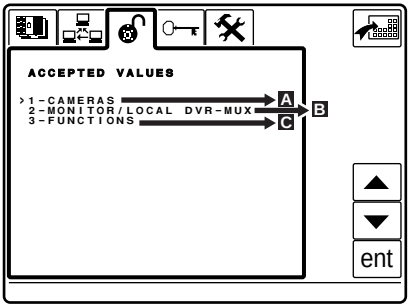
V< ------ >B

3 テストが終われば esc ボタンを押してメニュー画面に戻る

制御設定

本機で有効な機器および機能の設定を行ないます。

■ 制御項目を選択(ACCEPTED VALUES)

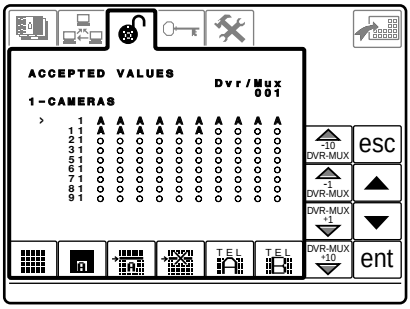


▲ または ▼ ボタンで設定項目を選び、
ent ボタンを押す

選択した画面が表示されます。選択項目（**A** **B** **C**）を参照ください。

選択項目

A 1－CAMERAS（カメラの通信設定）



ご購入時はカメラ通信端子(TELEMETRY)の設定はA出力になっています。

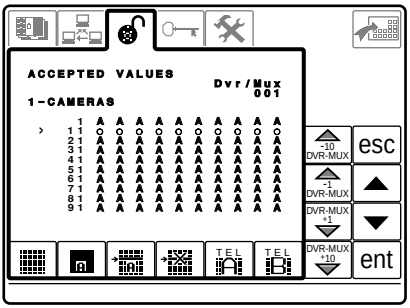
ハードディスクデジタルレコーダーまたはフレームスイッチャー（Dvr/Mux）の各チャンネルに接続されているカメラの接続端子（A connector、B connectorまたは未接続）を設定します。

クリアボタン
全てのカメラを未接続にする。

A/B回線切換ボタン
TEL A または TEL B ボタンを押すとボタン名が切り換わります。このボタンを押すと、全てのカメラの接続端子が切り換わる。

一行切換ボタン
TEL A または TEL B ボタンを押すとボタン名が切り換わります。このボタンを押すと、行単位で接続端子が切り換わる。

一行クリアボタン
行単位でクリアする。



ent **カメラ個別設定ボタン**
カーソルラインの10台のカメラを個別に設定（A/B/○）できます。

TEL A **A回線選択ボタン**
押すとA/B回線切換ボタンが A ボタンに切り換わる。

TEL B **B回線選択ボタン**
押すとA/B回線切換ボタンが B ボタンに切り換わる。

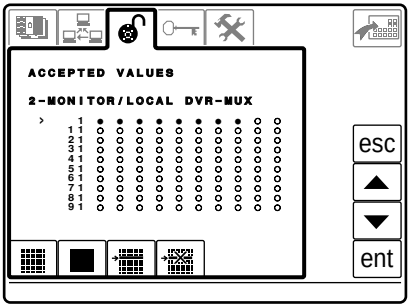
-10 DVR-MUX **アドレス−10ボタン**
接続している映像機器(Dvr/Mux)のアドレスを下方向に10単位で移動する。

-1 DVR-MUX **アドレス−1ボタン**
接続している映像機器(Dvr/Mux)のアドレスを下方向に1単位で移動する。

DVR-MUX +1 **アドレス+1ボタン**
接続している映像機器(Dvr/Mux)のアドレスを上方向に1単位で移動する。

DVR-MUX +10 **アドレス+10ボタン**
接続している映像機器(Dvr/Mux)のアドレスを上方向に10単位で移動する。

B 2−MONITOR/LOCAL DVR-MUX（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーの有効／無効の設定）



接続されている映像機器のアドレスを設定します。

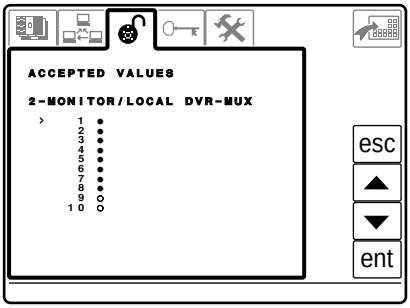
クリアボタン
全ての映像機器を無効にする。

全有効ボタン
全ての映像機器を有効にする。

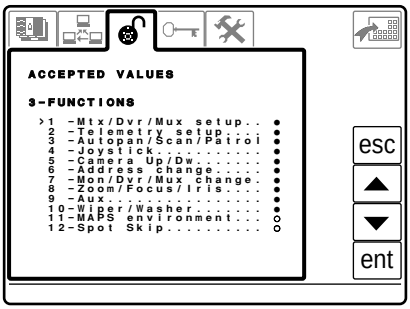
一行有効ボタン
行単位で有効に設定する。

一行無効ボタン
行単位で無効に設定します。

ent **個別設定ボタン**
カーソルラインの10台の映像機器を個別に設定（●/○）できます。



C 3−FUNCTIONS（機能）



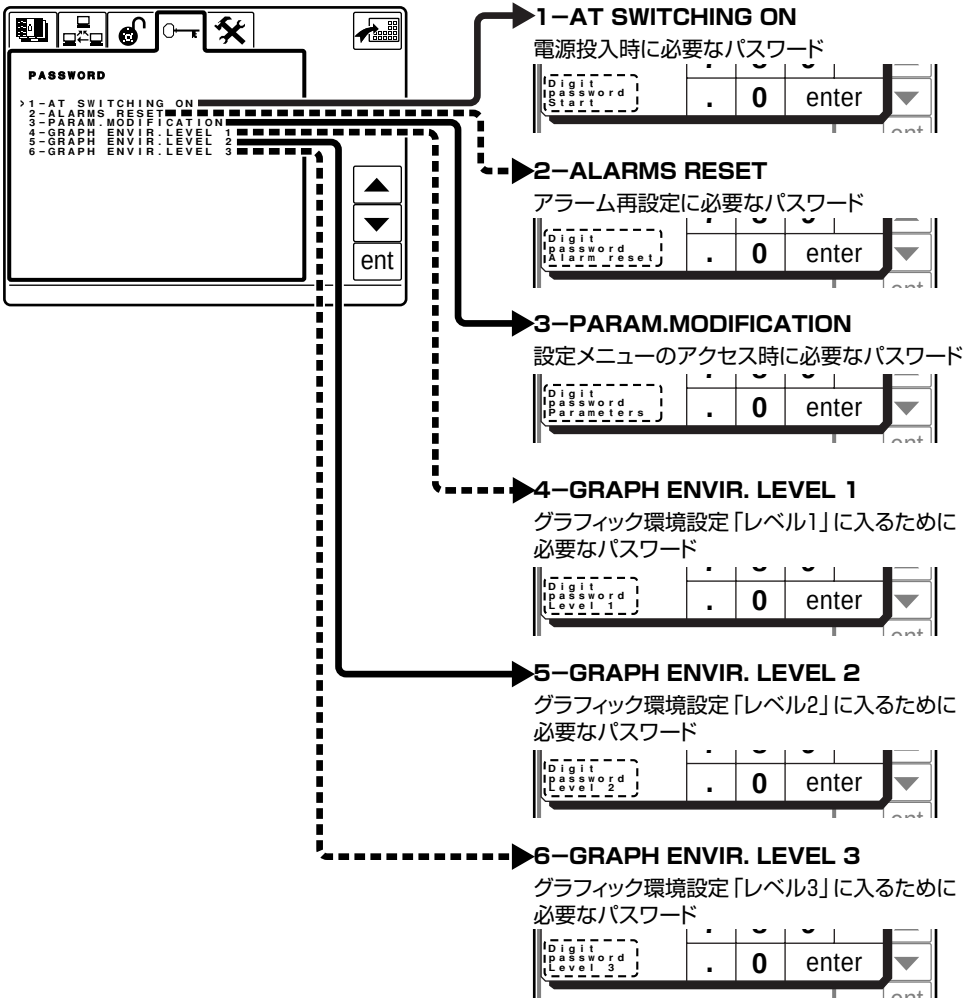
その他の機能を起動または停止することができます。

- **Mtx/Dvr/Mux setup**
  映像機器のメニュー表示を可能にする。
- **Telemetry setup**
  カメラのメニュー表示を可能にする。
- **Autopan/Scan/Patrol**
  ドームカメラの自動操作を可能にする。
- **Joystick**
  ジョイステック操作を可能にする。
- **Camera Up/Dw**
  カメラ入力チャンネルをアップダウンする。（マトリックススイッチャー接続時のみの機能です）
- **Address change**
  ハードディスクデジタルレコーダーのチャンネルに対するカメラアドレスの変更を可能にする。ONの場合はカメラアドレス画面の左上にカメラアイコンが表示します。

- **Mon/Dvr/Mux change**
  DVR-MUXのアドレスの変更を可能にする。
- **Zoom/Focus/Iris**
  接続したカメラのズーム、フォーカス、アイリス値の変更を可能にする。
- **Aux**
  接続したカメラのAux操作を可能にする。
- **Wiper/Washer**
  接続したカメラの特殊機能としてワイパーやウォッシャーを可能にする。
- **MAPS environment**
  電源投入時にユーザーが作成したマップを表示する。
- **Spot Skip**
  ハードディスクデジタルレコーダーの“MON2”映像出力が“カメラ自動切換”モードのとき、操作中のカメラの映像を“MON2”映像出力端子から出力しない。

パスワード設定（PASSWORD）

本機の電源投入の操作や設定メニューのアクセスなどの変更にパスワードの設定ができます。

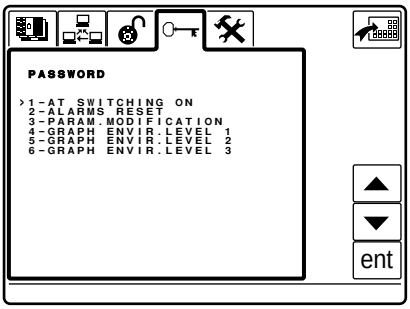


- 各パスワードは忘れないようにメモしてください。また、安全のため都度パスワードの変更をお勧めします。
- ご購入時のパスワードは “00000” に設定されています。パスワードが必要ない場合は “00000” に設定してください。
- 初期化を行なうと、すべてのパスワードは “00000” になります。
- パスワードを設定すると、例えば電源投入時にパスワードの問い合わせの入力画面が表示しますので、設定したパスワードを入力してください。
- 間違ったパスワードを入力すると “Password not enabled” と表示しますので、正しいパスワードを入力してください。

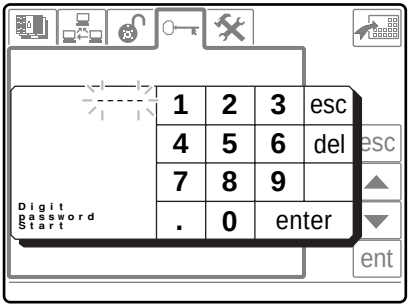
パスワード設定は各項目とも同じ手順です。ここでは、電源入力のパスワード入力について説明します。

■ **AT SWITCHING ON**
（電源投入時のパスワード）

1 ▲または▼ボタンで“AT SWITCHING ON”を選び ent ボタンを押す

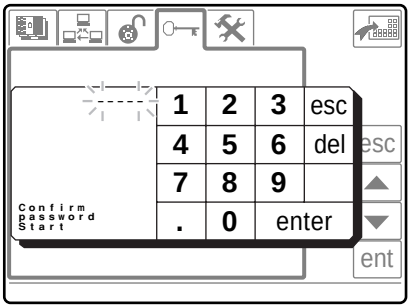


パスワード入力画面を表示し、“------”が点滅します。



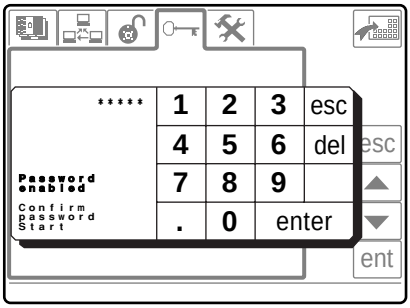
2 数字ボタンでパスワード（例：1 2 3 4 5）を入力し、enter ボタンを押す

“Digit”が“Confirm”に変わり、“*****”が“------（点滅）”になります。



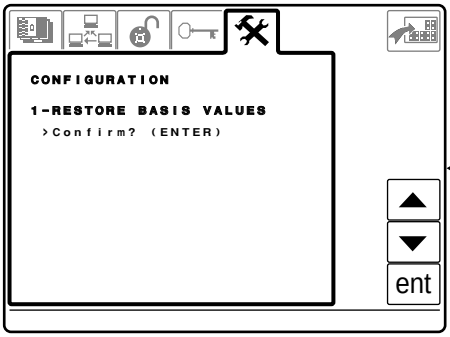
3 再度、確認用のパスワード（1 2 3 4 5）を数字ボタンで入力して、enter ボタンを押す

“Password enabled”と表示されたら完了です。“PASSWORD”画面に戻ります。

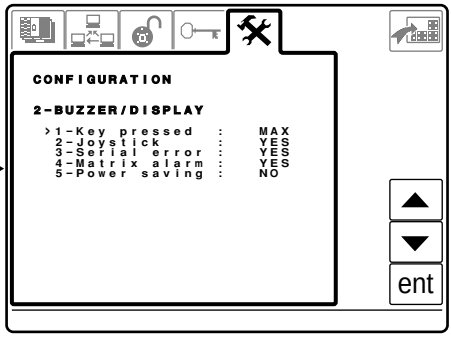


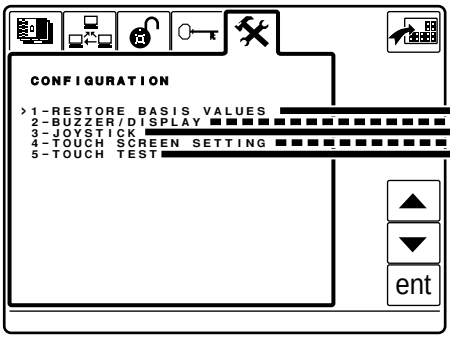
セットアップ (CONFIGURATION)

■ 初期化

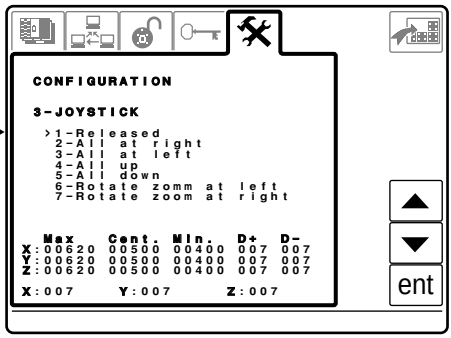


■ ブザーとメニュー表示部の設定

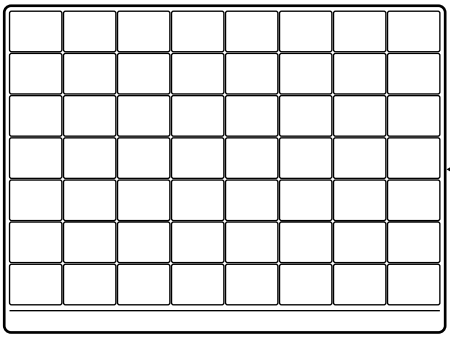




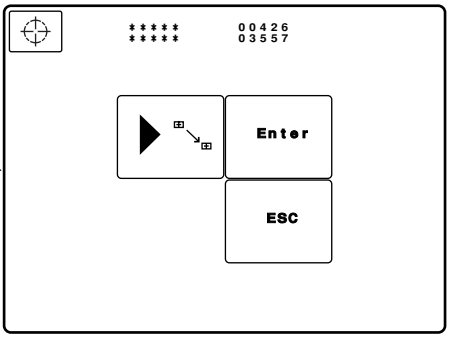
■ ジョイスティックの設定



■ タッチスクリーンのテスト



■ タッチスクリーンの調整

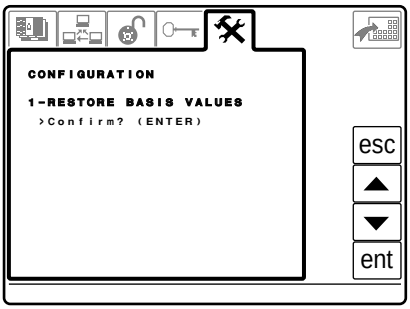


■ 初期化 (RESTORE BASIS VALUES)

この設定を行なうと各メニュー画面で設定した内容がご購入時の設定に戻ります。

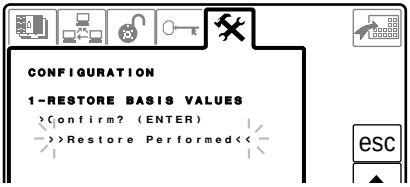
1 ▲または▼ボタンで“RESTORE BASIS VALUES”を選びentボタンを押す

“1－RESTORE BASIS VALUES”画面を表示します。



2 entボタンを押す

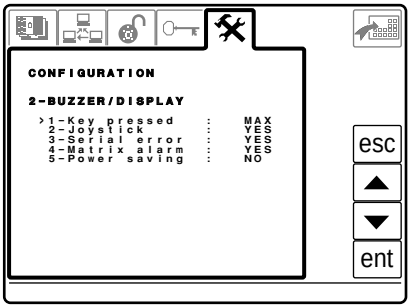
“>>...Restore <<”と表示後、“>>Restore performed<<”が点滅し初期化を行ないます。初期化を終わると、メニューを再設定してください。



■ ブザーとメニュー表示部の設定 (BUZZER/DISPLAY)

1 ▲または▼ボタンで“BUZZER/DISPLAY”を選びentボタンを押す

“2－BUZZER/DISPLAY”画面を表示します。



2 ▲または▼ボタンで設定項目を選び、entボタンを押す

選択中の設定値が点滅します。

▲または▼ボタンで選択項目を切り換えてください。

設定項目：

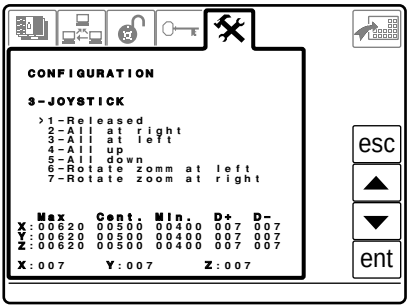
- **1－Key pressed：ボタン操作**
  画面上のボタンを押したときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：MAX（大きい）, MIN（小さい）
- **2－Joystick：ジョイステック操作**
  ジョイステックを動かしたときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：YES（有効）, NO（無効）
- **3－Serial error：シリアルエラー検知**
  シリアル通信エラーのときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：YES（有効）, NO（無効）

- 4−Matrix alarm：マトリクス アラーム検知
  アラームを検知したときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：YES（有効）, NO（無効）
- 5−Power saving：パワーセーブ機能
  ボタン操作を約 1 分間行なわない場合は、自動的に画面の明るさ（暗く）を切り換えます。
  再度ボタン操作を行なうと通常の明るさに戻ります。
  選択：YES（有効）, NO（無効）

3 ent ボタンを押す
選択項目の点滅が終了し、設定が完了します。

■ ジョイステックの設定 (JOYSTICK)

1 ▲ または ▼ ボタンで “JOYSTICK” を選び ent ボタンを押す
“3−JOYSTICK” 画面を表示します。



2 ▲ または ▼ ボタンでジョイスティック設定位置を選ぶ

設定位置： 1 から順番に設定してください。
それぞれのジョイステックの位置が記憶されます。

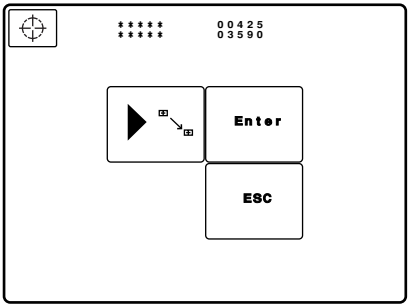
- 1−Released（中央位置の設定）
  ジョイステックから手を放した状態で ent ボタンを押す
- 2−All at right（右側位置の設定）
  ジョイステックを右側いっぱい倒した状態で ent ボタンを押す
- 3−All at left（左側位置の設定）
  ジョイステックを左側いっぱい倒した状態で ent ボタンを押す
- 4−All up（上側位置の設定）
  ジョイステックを上側いっぱい倒した状態で ent ボタンを押す
- 5−All down（下側位置の設定）
  ジョイステックを下側いっぱい倒した状態で ent ボタンを押す
- 6−Rotate zoom at left（左ズーム位置の設定）
  ジョイステックを左いっぱい回した状態で ent ボタンを押す
- 7−Rotate zoom at right（右ズーム位置の設定）
  ジョイステックを右いっぱい回した状態で ent ボタンを押す

設定位置を間違えて設定した場合は、間違えた位置までカーソルを移動させて、再設定をしてください。

■ タッチスクリーンの調整 (TOUCH SCREEN SETTING)

1 ▲または▼ボタンで “TOUCH SCREEN SETTING” を選び Enter ボタンを押す

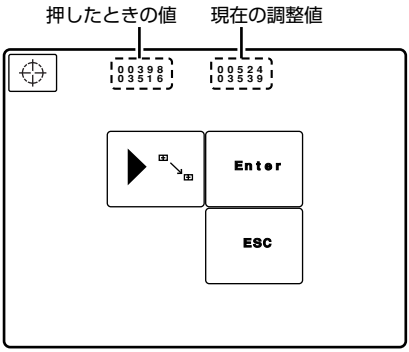
調整用の画面を表示します。



2 左上の ⊕ ボタンの中心を押すと、押した座標が表示される

“*****” が座標（数値）に変わります。

座標が固定されます。

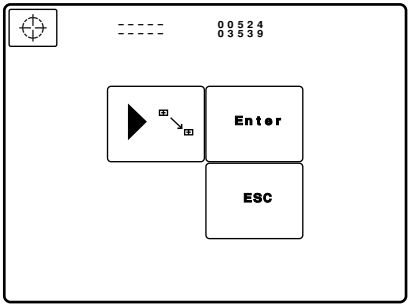


設定値の目安：

- 上段の座標範囲値：300～600
- 下段の座標範囲値：3400～3600

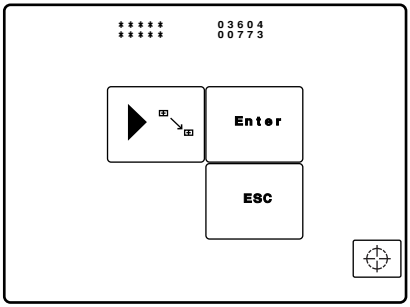
3 Enter ボタンを押す

左上の座標が記憶され “=====” に変わります。



4 ↘ ボタンを押す

左上の ⊕ ボタンが右下に移動します。



5 ⊕ ボタンの中心を押すと、押した座標が表示される

“*****” が座標（数値）に変わります。

座標が固定されます。

設定値の目安：

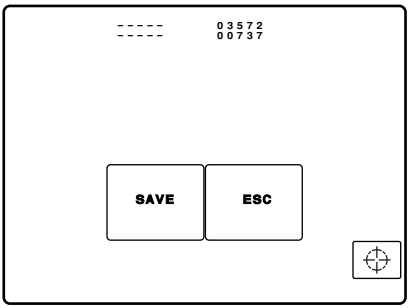
- 上段の座標範囲値：3400～3600
- 下段の座標範囲値：500～1000

6 Enter ボタンを押す

右下の座標が記憶され“=====”に変わります。

7 SAVE ボタンを押す

左上、右下の座標が記憶されました。



座標が極端にずれた位置で記憶しますと、本機は動作しなくなります。次の「タッチスクリーンの初期化」の設定を行なってください。

■ タッチスクリーンの初期化と再設定

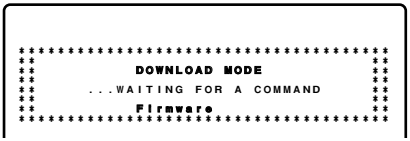
設定した座標を初期化して、再度、座標の設定を行ないます。

1 本機に接続しているすべての機器の配線と電源ケーブルをはずす

2 ディップスイッチ（SW1）をONにする

3 本機の電源ケーブルを接続する

“DOWNLOAD MODE”画面を表示します。

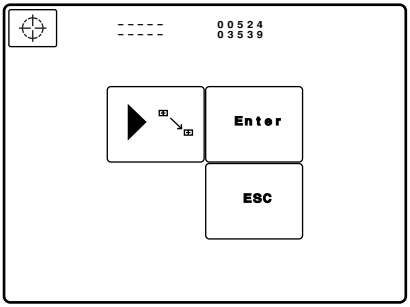


4 ジョイスティックを図のように操作する

“...reset touch”のメッセージを表示後、タッチスクリーンを初期化します。

5 初期化後、“タッチスクリーン調整” を行なう場合は、ジョイスティックを図のように操作する

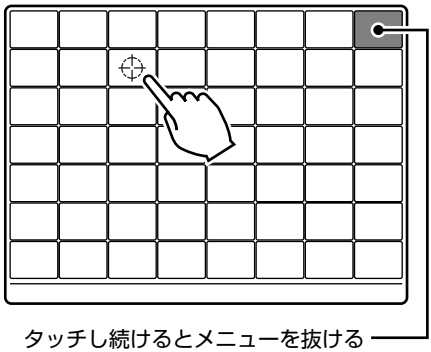
タッチスクリーン調整用の画面を表示しますのでP55と同じ手順で設定してください。



設定を終了すると、“DOWNLOAD MODE” 画面を表示しますので、ディップスイッチ（SW1）をOFFにしてください。

■ タッチスクリーンのテスト (TOUCH TEST)

1 ▲または▼ボタンで “TOUCH TEST” を選び ent ボタンを押す
テスト用の画面を表示します。



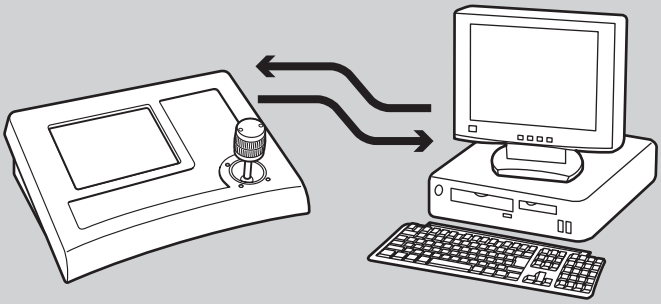
2 テスト画面のマス目を押す
押したマス目に ⊕ が表示されます。
すべてのマス目を押して確認してください。

3 右上のマス目を押し続けると、“CONFIGURATION” の画面戻ります。

ソフトウェア編

目　次

- ソフトウェアの構成.....59
- 接続とソフトウェアのインストール.....60
- システム設定（Setup）.....61
- 言語設定（Language）.....68
- グラフィック環境設定（Maps）.....71



ソフトウェアの構成

付属のCD-ROMに収められたソフトウェアを使って、パソコン上で本機のさまざまな設定を行なうことができます。

システム設定（Setup） P61

本機のシステム設定をパソコン上で行ないます。設定内容をパソコンに保存できますので、異なる設定を管理したり、1つの設定を複数台のシステムコントローラーに設定し、すべてを同設定にすることなどが効率的に行なえます。

言語設定（Language） P68

本機の表示言語を新たに作成したり、個々の単語を好みに変更することができます。

グラフィック環境設定（Maps） P71

オープニング画面や操作画面のボタン配置など、画面のグラフィック環境を好みに作成することにより、使用環境によって操作画面をわかりやすく簡略化したり操作に制限を加えることなどができます。

■動作環境

- シリアルポートを装備したパソコン
- OS: Windows 9x/2000/XP

ソフトウェアの文字が所定の場所に表示されない、あるいはアイコンのサイズが大きすぎるまたは小さすぎるなどの問題が生じた場合は、パソコン（Windows）が以下の設定であることを確認してください。

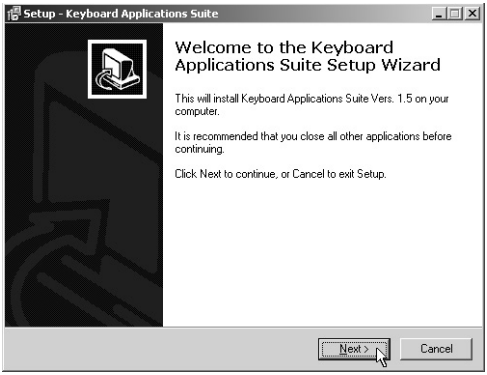
- 表示色数：256色以上
- フォントサイズ：ノーマル100%

接続とソフトウェアのインストール

■ソフトウェアをインストールする

1 CD-ROM（付属）をパソコンのCD-ROMドライブに挿入して読み込み、SETUP.EXEをクリックする

次の画面が表示されます。



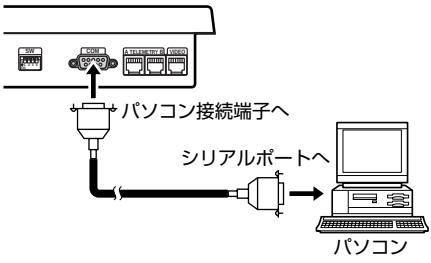
2 画面の誘導にしたがってインストールを行なう

Keyboard Setup、Keyboard Language、Keyboard Mapsの3つのソフトウェアがインストールされます。

■接続を行なう

1 本機後面のパソコン接続端子(COM)とパソコンのシリアルポートをパソコン接続ケーブル（付属）で接続する

接続するときは、必ず各機器の電源を切り、カメラ通信、映像通信ケーブルをはずしてください。



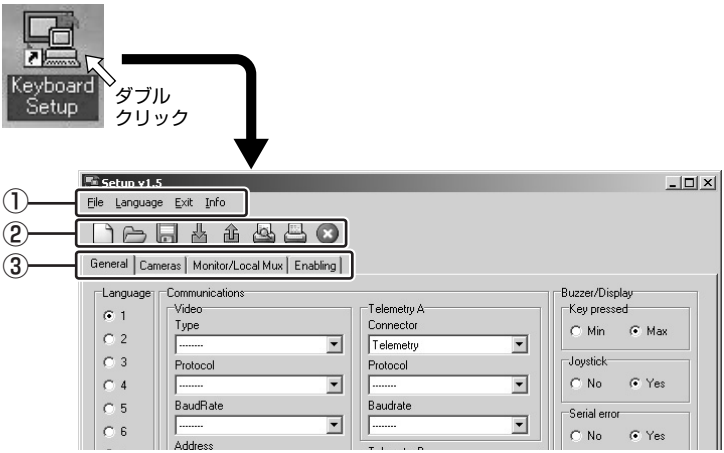
2 ディップスイッチ（SW1）をONにする

パソコンでの設定が終われば、SW1は必ずONの反対側（OFF）に戻してください。

3 本機の電源を接続し、パソコンの電源を入れる

本機のメニュー表示部に“DOWNLOAD MODE”と表示されます。

システム設定（Setup）



① メニュー

[File]

New：新たにシステム設定する

Open：既存の設定を呼び出す

Save：設定を保存する

Save as：設定を別名で保存する

Receive from keyboard：
本機側の設定をこのソフトウェアにダウンロードする

Send to keyboard：
このソフトウェアでの設定を本機にアップロードする

COM Port：パソコンのポート番号を選ぶ(1～9)

[Language]

このソフトウェアのメニュー表示言語を選ぶ

[Exit]

ソフトウェアを終了する

[Info]

ソフトウェアのバージョンを表示する

② ツールバー

それぞれのアイコンをクリックすることにより各操作をショートカットで実行できます。

：新たにシステム設定する

：既存の設定を呼び出す

：設定を保存する

：本機側の設定をこのソフトウェアにダウンロードする

：このソフトウェアでの設定を本機にアップロードする

：設定一覧の印刷プレビューを表示する

：設定一覧を印刷する

：ソフトウェアを終了する

③ タブ

タブをクリックして4枚の操作画面を切り換えます。

[General] (P62)

言語選択、通信設定、ブザー設定、パスワード設定などを行ないます。

[Cameras] (P64)

ハードディスクデジタルレコーダーまたはフレームスイッチャー（Dvr/Mux）の各チャンネルに接続されているカメラの接続端子（A connector、B connectorまたは未接続）を設定します。

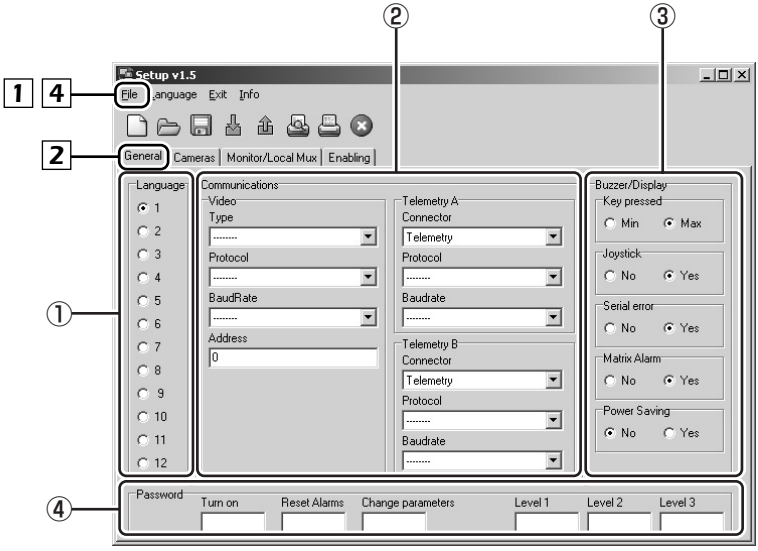
[Monitor/Local Mux] (P66)

接続されている映像機器の数を設定します。

[Enabling] (P67)

その他の機能を起動または停止することができます。

A General（全般設定）



1 “File” メニューの “New” を選ぶ

- 保存した設定内容を呼び出す場合は “Open”。
- 本機の現在の設定をダウンロードして変更したい場合は “Receive from keyboard” を選んでください。

2 [General]タブをクリックする

3 それぞれを設定する（P63）

① Language（言語選択）
② Communications（通信設定）
③ Buzzer/Display
（ブザーとメニュー表示部の設定）
④ Password（パスワード設定）

4 それぞれを選択する

- 他の設定を行なう場合は、タブで切り換えて操作を続けてください。
- 設定をパソコンに保存する場合は、“File” メニューの “Save” を選んで保存操作をしてください。
- “File” メニューの “Send to keyboard” を選んだ場合は、本機にシステム設定した内容がアップロードされます。

① Language（言語選択）：

それぞれの番号は本機のシステム設定（ ）のLANGUAGEに表示されている番号の言語を意味します。表示言語を確認して番号を選択してください。

② Communications（通信設定）：

■ 当社の映像機器に接続したカメラを制御する場合

ご購入時は当社の映像機器(DVR/MUX)と接続する通信設定となっており、設定を変更する必要はありません。

他社の映像機器で通信設定する場合は“通信一覧表”を参照ください。（P86）

- **Type：**
  映像通信端子と接続する機器(**DVR/MUX**)を表示しています。Typeを変更すると、Protocol、Baudrateの変更が必要となります。
- **Protocol：**
  本機で使用する通信“プロトコル(**SANYO DVR/MU**)”です。
- **BaudRate：**
  接続する映像機器のデータ転送速度(**19200**)を選択します。
- **Address：**
  本機のアドレスです。

■ 当社の映像機器やカメラを通信設定するときの設定

ご購入時は当社の映像機器とカメラ間を同軸ケーブルで接続して操作できる設定になっています。通信には映像通信端子(VIDEO)を使用します。

- **Connector：**
  Video：映像機器を経由してカメラを接続する場合
  Telemetry：本機とカメラ間をモジュラーケーブルで接続して操作する場合
- **Protocol：**
  本機で使用する通信“プロトコル(**SANYO SSP**)”です。各通信プロトコルを変更するたびに、“Baudrate”は初期値になります。
- **Baudrate：**
  カメラ通信端子Aに接続するカメラのデータ転送速度を選択します。

注意：Connectorで“Video”を選択している場合は、Videoのデータ転送速度に固定されているため“Baudrate”の設定はできません。

■ 他社のカメラを通信設定するときの設定

- **Connector：Telemetry**
  本機とカメラ間をモジュラーケーブルで接続して操作する場合
- **Protocol：**
  本機で使用する通信プロトコルです。
  各通信プロトコルを変更するたびに、“Baudrate”は初期値になります。
- **Baudrate：**
  カメラ通信端子Bに接続するカメラのデータ転送速度を選択します。

③ Buzzer/Display（ブザーとメニュー表示部の設定）：

各項目について設定を選択してチェックしてください。

- **Key pressed：ボタン操作**
  画面上のボタンを押したときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：Min（小さい）, **Max**（大きい）
- **Joystick：ジョイステック操作**
  ジョイステックを動かしたときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：No（無効）, **Yes**（有効）
- **Serial error：シリアルエラー検知**
  シリアル通信エラーのときにブザーを鳴らす設定をします。
  選択：No（無効）, **Yes**（有効）
- **Matrix Alarm：**
  選択：No（無効）, **Yes**（有効）
- **Power Saving：**
  選択：**No**（無効）, Yes（有効）

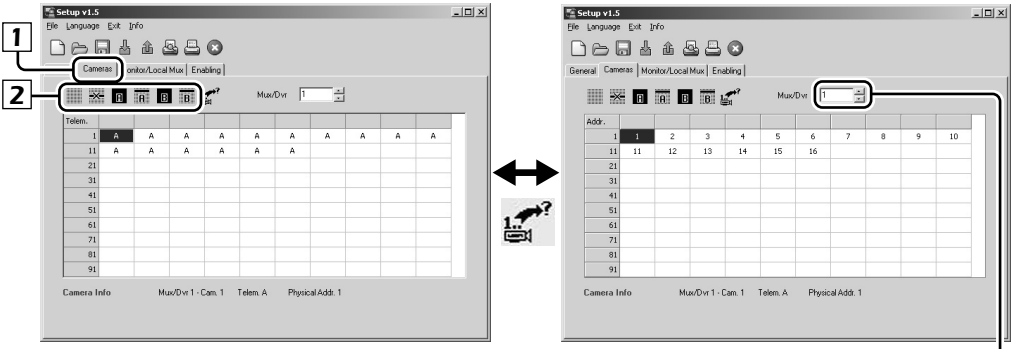
④ Password（パスワード設定）：

以下の各項目にパスワードを設定する場合、入力してください。

- Turn on：電源投入時
- Reset Alarms：アラーム再設定時
- Change parameters：設定メニューへのアクセス時
- Level 1：「レベル1」機能呼出時
- Level 2：「レベル2」機能呼出時
- Level 3：「レベル3」機能呼出時

レベルの設定はP75の“Jump page”を参照ください。

B Cameras（カメラの通信設定）



他のDvr/Muxに接続されているカメラのアドレスを変更したい場合は、Dvr/Muxのアドレスを変更してください。

1 [Cameras]タブをクリックする

2 各ボタンでカメラの回線を設定する

：**クリアボタン**
全てのカメラを未接続にする。

：**一行クリアボタン**
行単位でクリアする。

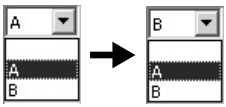
：**A/B回線切換ボタン**
ボタンを押すと、全てのカメラの接続端子がAに切り換わる。

：**一行切換ボタン**
ボタンを押すと、行単位で接続端子がAに切り換わる。

：**A/B回線切換ボタン**
ボタンを押すと、全てのカメラの接続端子がBに切り換わる。

：**一行切換ボタン**
ボタンを押すと、行単位で接続端子がBに切り換わる。

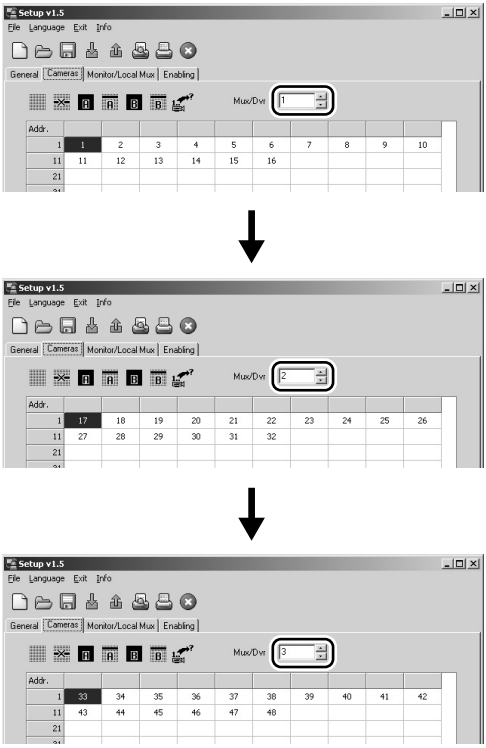
3 通信設定したいカメラを選んでダブルクリックし、▼ボタンをクリックすると表示されるメニューから状態を選ぶ



空欄：停止
A：A回線から出力する
B：B回線から出力する
画面下の“Camera info”行に設定内容が表示されます。空欄に設定した場合は“Disabled”と表示されます。

[カメラのアドレス番号を変更したい場合]

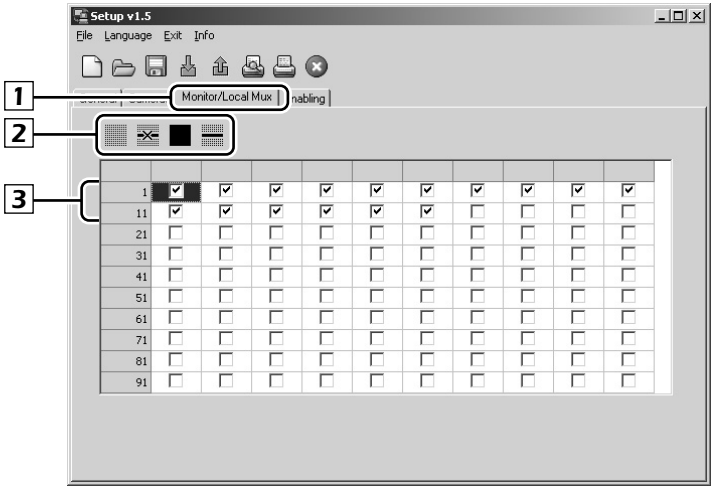
- をクリックして入出力設定モード（左上グリッドが“Addr.”表示）にする。
  アドレスを設定したいカメラをダブルクリックして番号を入力する。
- 他のハードディスクデジタルレコーダーまたはフレームスイッチャー（Dvr/Mux）に接続されているカメラのアドレスを変更したい場合は、スピンボタンでDvr/Muxのアドレスを変更してください。



4 それぞれを選択する

- 他の設定を行なう場合は、タブで切り換えて操作を続けてください。
- 設定をパソコンに保存する場合は、“File”メニューの“Save”を選んで保存操作をしてください。
- “File”メニューの“Send to keyboard”を選んだ場合は、本機にシステム設定した内容がアップロードされます。

C Monitor/Local Mux（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダーの有効／無効の設定）



1 [Monitor/Local Mux]タブをクリックする

2 各ボタンで映像機器の出力を設定する

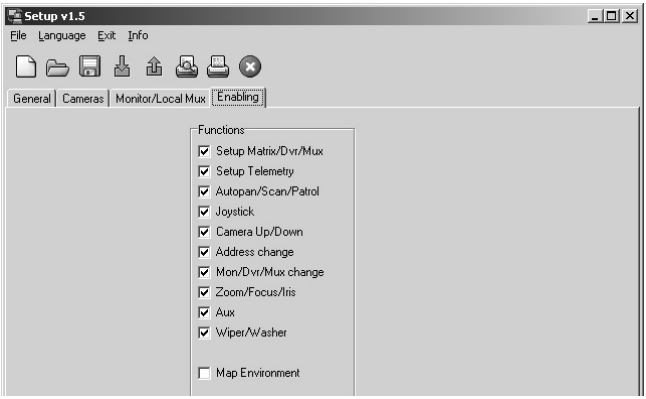
- **クリアボタン**
  全ての映像機器を無効にする。
- **一行無効ボタン**
  行単位で無効に設定します。
- **全有効ボタン**
  全ての映像機器を有効にする。
- **一行有効ボタン**
  行単位で有効に設定する。

3 接続されていない映像機器のチェックボックスをオフ（空欄）にする

4 それぞれを選択する

- 他の設定を行なう場合は、タブで切り換えて操作を続けてください。
- 設定をパソコンに保存する場合は、“File”メニューの “Save” を選んで保存操作をしてください。
- “File” メニューの “Send to keyboard” を選んだ場合は、本機にシステム設定した内容がアップロードされます。

D Enabling（設定内容の停止または起動）



1 [Enabling]タブをクリックする

2 有効にしたい機能をチェックする

無効にしたい機能はチェックを外して空欄にしてください。

- Setup Matrix/Dvr/Mux
  映像機器のメニュー表示を可能にする。
- Setup Telemetry
  カメラのメニュー表示を可能にする。
- Autopan/Scan/Patrol
  ドームカメラの自動操作を可能にする。
- Joystick
  ジョイステック操作を可能にする。
- Camera Up/Down
  カメラ入力チャンネルをアップダウンする。（マトリックススイッチャー接続時のみの機能です）
- Address change
  ハードディスクデジタルレコーダーのチャンネルに対するカメラアドレスの変更を可能にする。ONの場合はカメラアドレス画面の左上にカメラアイコンが表示します。

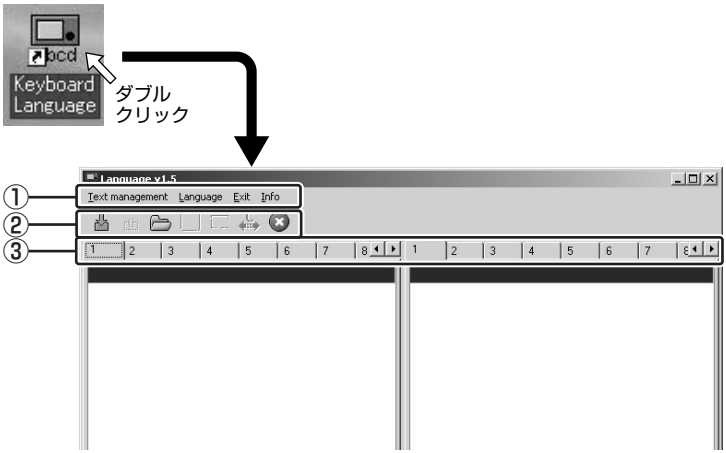
- Mon/Dvr/Mux change
  DVR-MUXのアドレスの変更を可能にする。
- Zoom/Focus/Iris
  接続したカメラのズーム、フォーカス、アイリス値の変更を可能にする。
- Aux
  接続したカメラのAux操作を可能にする。
- Wiper/Washer
  接続したカメラの特殊機能としてワイパーやウォッシャーを可能にする。
- Map Environment
  電源投入時にユーザーが作成したマップを表示する。

3 それぞれを選択する

- 他の設定を行なう場合は、タブで切り換えて操作を続けてください。
- 設定をパソコンに保存する場合は、“File”メニューの “Save” を選んで保存操作をしてください。
- “File” メニューの “Send to keyboard” を選んだ場合は、本機にシステム設定した内容がアップロードされます。

言語設定（Language）

日本語は作成できません。



① メニュー

[Text management]

Receive from keyboard：
本機の現在の言語設定を受信する

Load from file：
言語設定のファイルを呼び出す

Send to keyboard：
このソフトウェアでの言語設定を本機にアップロードする

Save on file：
現在の言語設定をファイルに保存する

Special characters：
特殊文字の入力画面を表示させる

COM Port：パソコンのポート番号を選ぶ(1～9)

[Language]

このソフトウェアのメニュー表示言語を選ぶ

[Exit]

ソフトウェアを終了する

[Info]

ソフトウェアのバージョンを表示する

② ツールバー

それぞれのアイコンをクリックすることにより各操作をショートカットで実行できます。

：本機側の設定をこのソフトウェアにダウンロードする

：このソフトウェアでの設定を本機にアップロードする

：言語設定のファイルを呼び出す

：現在の言語設定をファイルに保存する

：特殊文字の入力画面を表示させる

：同じ行に単語をコピーする（1行単位）

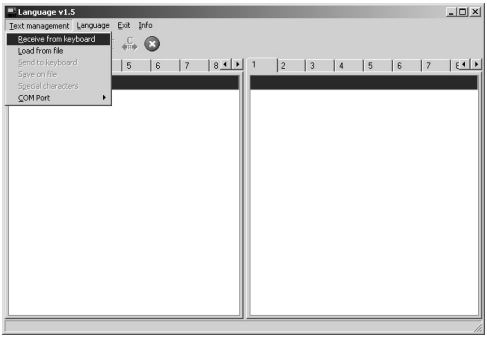
：ソフトウェアを終了する

③ タブ

タブをクリックして、言語ウィンドウ左右それぞれの言語を番号(1～12)で切り換えます。

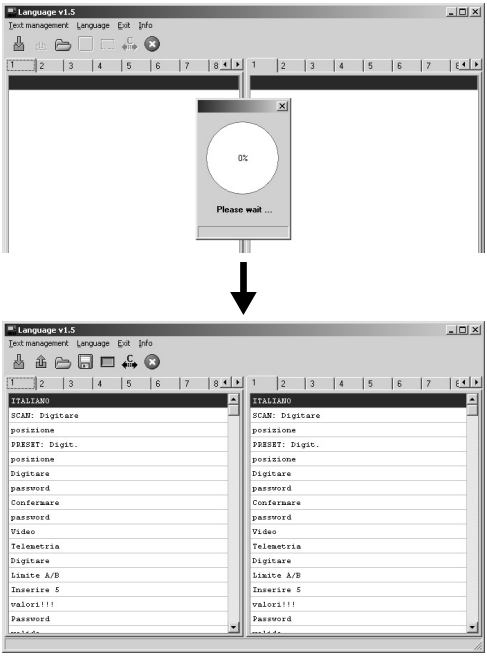
■英語の異なるタブを2種類作る

1 “Text management” メニューの “Receive from keyboard” を選ぶ



2 本機の現在の言語設定を受信する

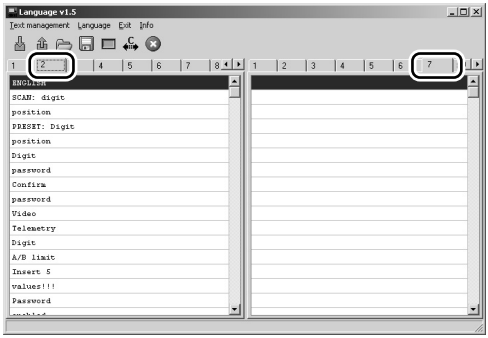
画面には受信状況が表示され、受信を終了すると言語が表示されます。



ウィンドウA　ウィンドウB

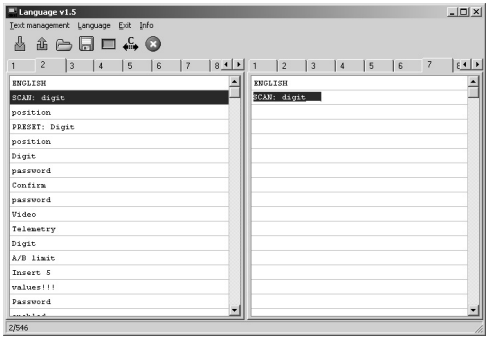
例：英語の言語を2種類作る

3 ウィンドウAのタブ2（英語）を選択、ウィンドウBのタブ7を選択する



4 ウィンドウAの “SCAN: digit” を選択して、 をクリックする

“SCAN: digit” がウィンドウBにコピーされます。



5 “SCAN: digit” をクリックして、“：digit” まで削除する

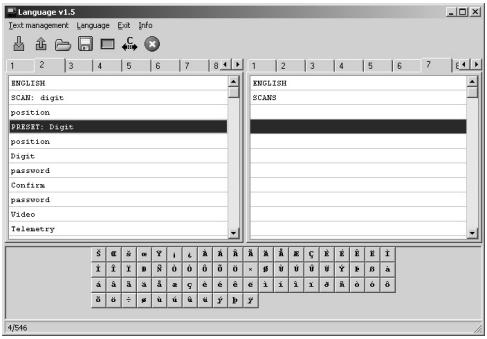
6 SCANに “S” を入力しEnterを押す

SCANSに文字が修正されました。

7 **同じ手順で他の単語も変更したり、記号化して、英語の異なるタブを作成する**

を押すと特殊文字の入力画面を表示します。

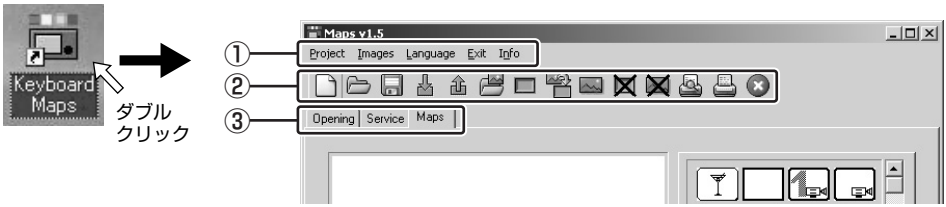
一番上の行には言語名を入力してください



8 **“Text management” メニューの “Send to keyboard” を選ぶ**

- このソフトウェアで言語設定を本機にアップロードする。
- 設定をパソコンに保存する場合は “Text management” メニューの “Save on file” を選んで保存操作をする。
- 作成した言語を選ぶには、Setupソフトウェアの “General” − “Language” でその番号をチェックしてください。(P62)

グラフィック環境設定（Maps）



① メニュー

[Project]

- New：新たにグラフィックを作成する
- Open：既存のファイルを呼び出す
- Save：現在の設定を保存する
- Save as：設定を別名で保存する
- Receive from keyboard：
  本機の現在の設定をダウンロードする
- Send to keyboard：
  このソフトウェアでの設定を本機にアップロードする
- Print preview：
  設定一覧の印刷プレビューを表示する
- Print：設定一覧を印刷する
- COM port：
  パソコンのポート番号を選ぶ(1～9)

[Images]

- Import：画像ファイルを読み込む
- Change image：
  背景画面を作成または変更する(P82)
- Keys surround：
  画面に配置したボタンの輪郭を強調する
- Import keys images：
  ボタンのイラストを読み込む
- Delete keys：
  現在の画面上のボタンを全て消す
- Delete background：
  選んでいる画面の背景を消す

[Language]

このソフトウェアのメニュー表示言語を選ぶ

[Exit]

ソフトウェアを終了する

[Info]

ソフトウェアのバージョンを表示する

② ツールバー

それぞれのアイコンをクリックすることにより各操作をショートカットで実行できます。

- ：新たにシステム設定する
- ：既存の設定を呼び出す
- ：現在の設定を保存する
- ：本機の現在設定をダウンロードする
- ：このソフトウェアでの設定を本機にアップロードする
- ：画像ファイルを読み込む
- ：画面に配置したボタンの輪郭を強調する
- ：ボタンのイラストを読み込む
- ：背景画面を作成または変更する(P82)
- ：現在の画面上のボタンを全て消す
- ：選んでいる画面の背景を消す
- ：設定一覧の印刷プレビューを表示する
- ：設定一覧を印刷する
- ：ソフトウェアを終了する

③ タブ

タブをクリックして3枚の操作画面を切り換えます。

[Opening]

電源投入時のオープニング画面の設定(P72)

[Service]

システム情報画面の SERVICE ボタンを押したときに表示される画面の設定(P72)

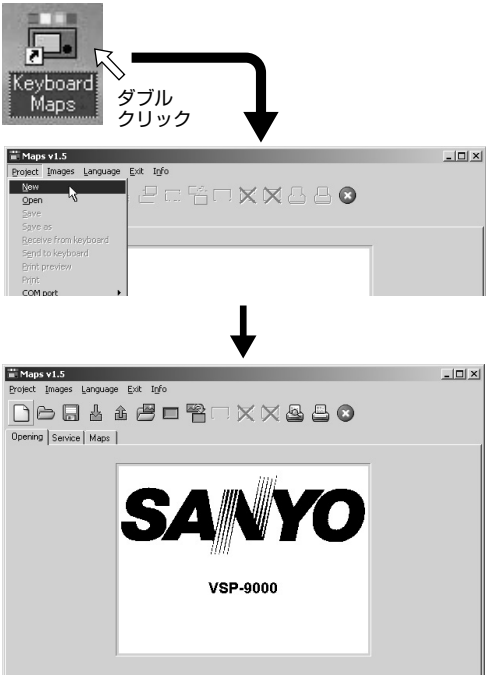
[Maps]

マップの作成(P73)

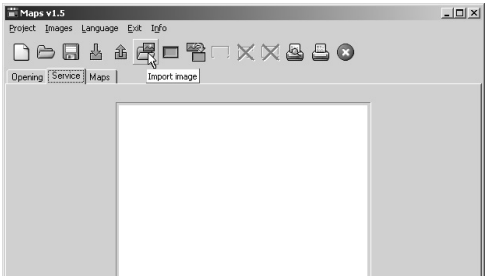
■オープニング画面で“電話番号”などを表示させる

1 Projectメニューの“New”をクリックする

Opening画面が表示します。

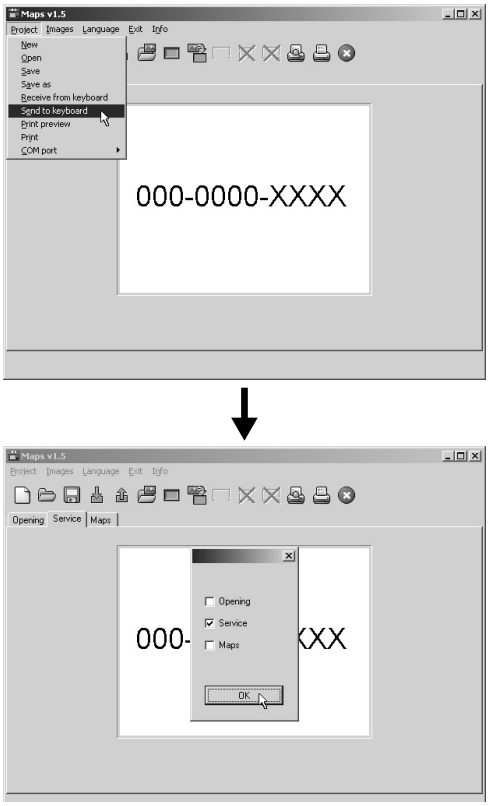


2 “Service”タブをクリックし、“ ”をクリックして、画像ファイルを選び読み込む



3 Project メニューの“Send to keyboard”をクリックする

アップロードする画面を選択するダイアログが表示されます。“Service”のチェックボックスにチェックを入れてOKボタンを押してください。貼り付けた映像がアップロードされます。



[設定をパソコンに保存する場合]

Project メニューの“Save”をクリックする

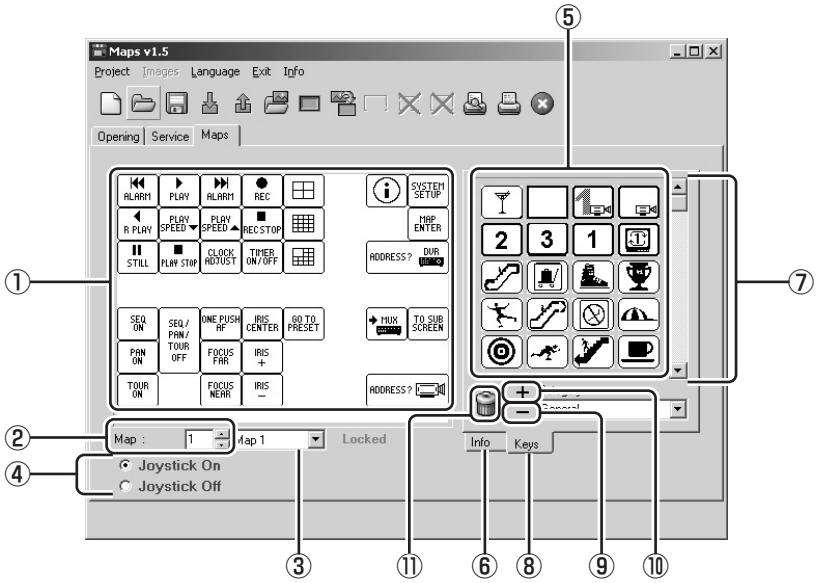
■マップ画面の説明

1 Projectメニューの “New” をクリック

Opening画面が表示する

2 “Maps” ダブをクリック

左ウィンドウにはMap1と右ウィンドウには
Generalのアイコンが表示します。



① Map表示部

② Map選択部

スピンボタンの▲または▼をクリックすると、Map表示部の画面が切り換わります。

注意：Map 1から4までは本機の基本表示となっていますので変更はできません(Locked)。ボタン機能を割り当てる場合は、Map 5から30を選択してください。

③ Map選択ボタン

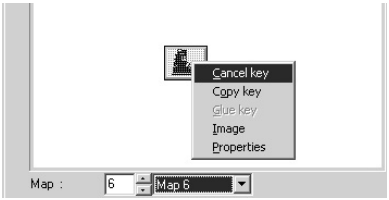
プルダウンメニューから登録するMap番号を選んでください。

④ ジョイステック機能選択

- 割り付けたMapに本機のジョイステック機能を働かせるかを選択します。ラジオボタンをクリックしてください。
- “Info” タブをクリックすると、“Joystick” の選択を表示しますので、チェックを付けるとジョイスティックのON／OFFの選択ができます。

⑤ アイコンパレット

Map表示部に選択したアイコンをドラッグ＆ドロップすると、アイコンが貼り付けられます。



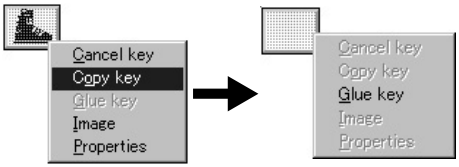
- 無地のグレーボタンを貼り付けるときは、Map表示部内の任意の場所をクリックしてください。
- 貼り付けたアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューを表示します。
- アイコンパレットにアイコンを追加するときは、アイコンパレット上でマウス右クリックでポップアップメニューを表示します。

下記の操作ができます。

Cancel key：キーを削除する

Copy key：キーをコピーする

Glue key：コピーしたキーを貼り付ける



Image：
貼り付けたキーに他の準備した画像を貼り付けます。

Properties：
貼り付けたキーに役割を設定します。
クリックすると「**割当て設定画面（P75）**」を表示しますので、ボタンの役割をさせるかを選択してください。

⑥ Infoタブ

Map表示部のボタンを選択すると、ボタンの働きと割り付け情報を表示します。

⑦ アイコンスクロールバー

カテゴリー別の全てのアイコンを見ることができます。

⑧ Keysタブ

アイコンパレットを表示します。

⑨ ーボタン

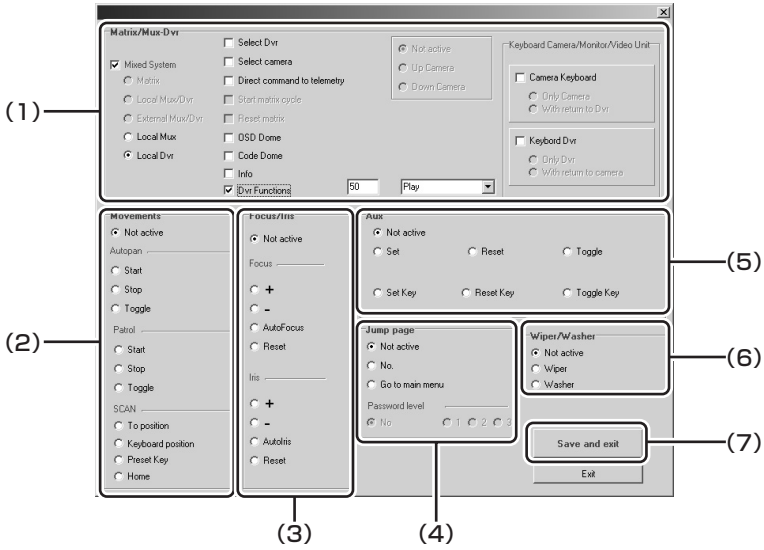
プルダウンメニューバーに表示されている、登録済みのアイコングループを削除できます。

⑩ ＋ボタン（Category：カテゴリー）

アイコングループを新しいカテゴリーとして登録できます。

⑪ ゴミ箱

（割当て設定画面）



(1) Matrix/Mux-Dvr
操作する映像機器やカメラの選択および機能の割当てを行なう。

(2) Movements
ドームカメラのオート機能の割当てを行なう。**プロトコル一覧表（Autopan/Patrol）**を参照ください。（P79、80）

(3) Fous/Iris
カメラのフォーカスやアイリスの機能を割当てる。

(4) Jump page
Mapの切り換えの機能を割当てます（この機能を実行するためのパスワードレベルを設定できます）。

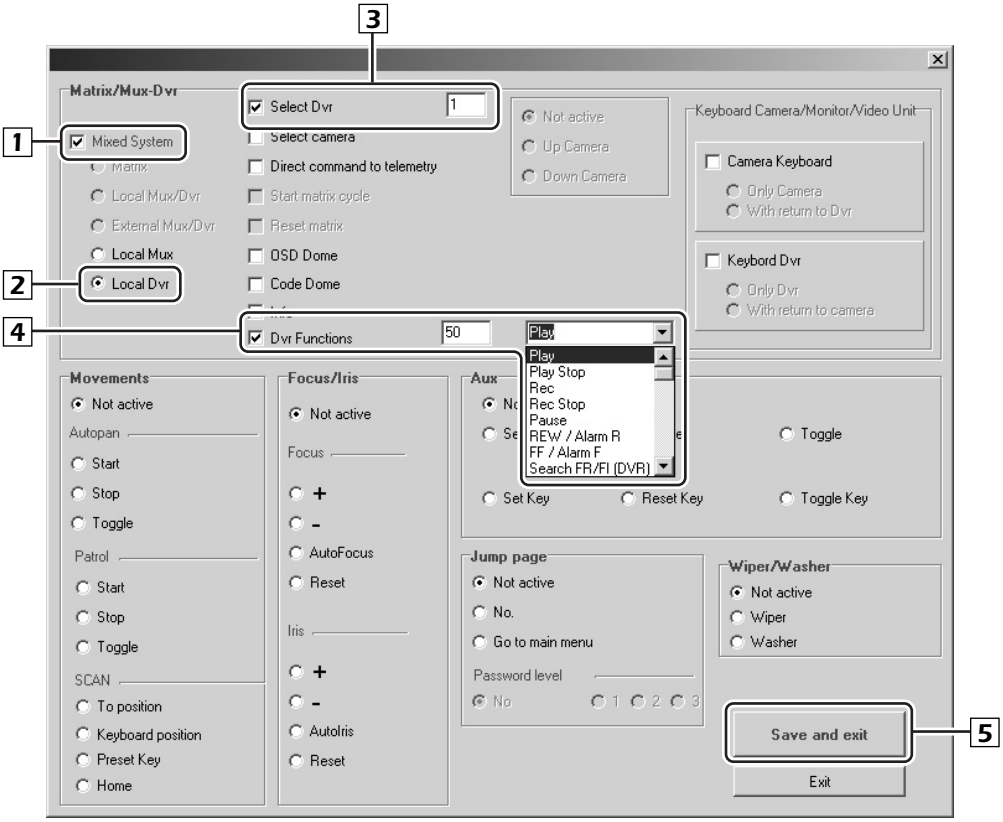
(5) Aux
カメラのそのほかの機能を割当てる。

(6) Wiper/Washer
ワイパーやウォッシャー機能を割当てる。

(7) Save and exit
割当てが終了したらクリックしてください。設定が保存されて割当て設定画面から抜けます。
保存せずに割当て画面から抜けたい場合は、“Exit”をクリックしてください。

■機器の割当て例

A アドレス1のハードディスクデジタルレコーダー（DVR）に “PLAY” を割当てる場合



1 Mixed Systemにチェックを入れる

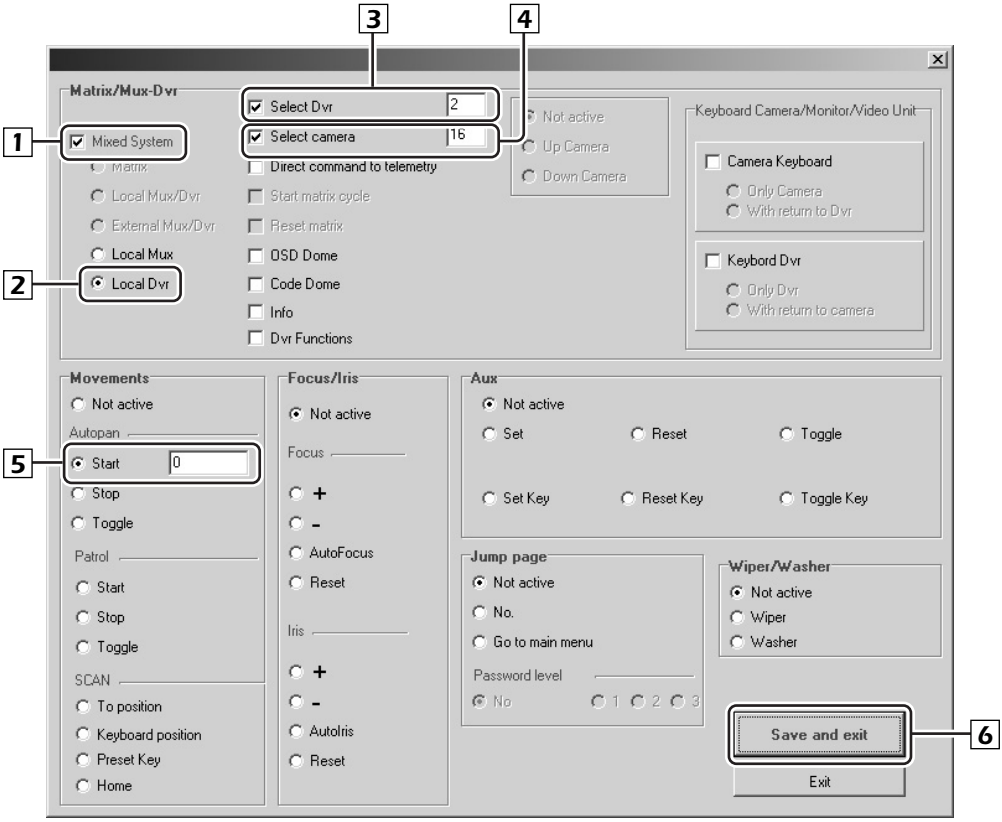
2 Local Dvrにチェックを入れる

3 Select Dvrをチェックし、テキストボックス（入力フィールド）に1を入力する

4 Dvr Functionsにチェックし、プルダウンで “Play” を選択する

5 Save and exitを押し、画面を抜ける

B アドレス2のハードディスクデジタルレコーダー（DVR）のCH16に接続されているカメラを選択し、“Autopan” を割当てる



1 Mixed Systemにチェックを入れる

2 Local Dvrにチェックを入れる

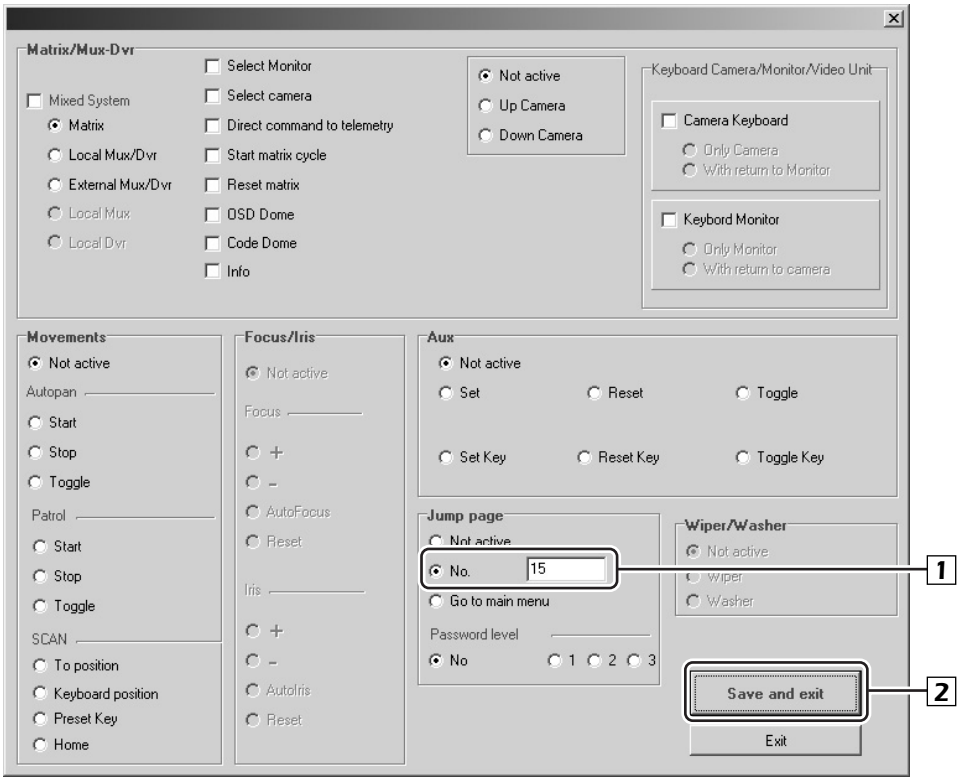
3 Select Dvrをチェックし、テキストボックス（入力フィールド）に2を入力する

4 Select cameraのチェックし、テキストボックス（入力フィールド）に16を入力する

5 MovementsのAutopanの “Start” のラジオボタンをチェックし、テキストボックス（入力フィールド）に0を入力する

6 Save and exitを押し、画面を抜ける

C Map表示部の画面をMap15に切り換える場合



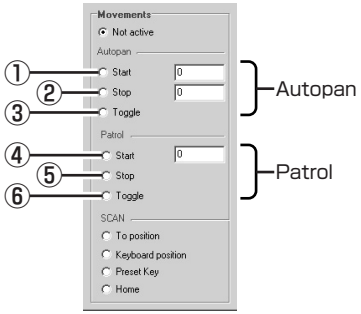
1 画面右下にあるJump pageの “No.” をチェックし、テキストボックスに15を入力する

2 Save and exitを押し、画面を抜ける

■プロトコル一覧表（Autopan）

プロトコル	Start ①		Stop ②		Toggle ③	
	数値	機能	数値	機能	数値	機能
----------	1..32	START MULTISEQUENCE (*)	1..32	START SALVO (*)	1..32	START SEQUENCE(*)
ELBEX	0..2	0 START AUTOPAN 1 START AUTOPAN LEFT 2 START AUTOPAN RIGHT				
ELMO	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
ENEO	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
ERNITEC	0	START AUTOPAN				
FASTRAX	1..8	START AUTOPAN	1..8			
JVC	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
MACRO	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN	0	TOGGLE AUTOPAN
PANASONIC	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
PELCO						
SAMSUNG	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
SANYO SSP	0	START AUTOPAN	0			
SANYO HSSP	0	START AUTOPAN	0			
SANTEC	1..8	START AUTOPAN	1..8			
SENSORMATIC	0	START AUTOPAN				
STAR	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
VCL	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN		
VIDEOTEC	0	START AUTOPAN	0	STOP AUTOPAN	0	TOGGLE AUTOPAN

(*) only with VKR Eneo matrix on video line



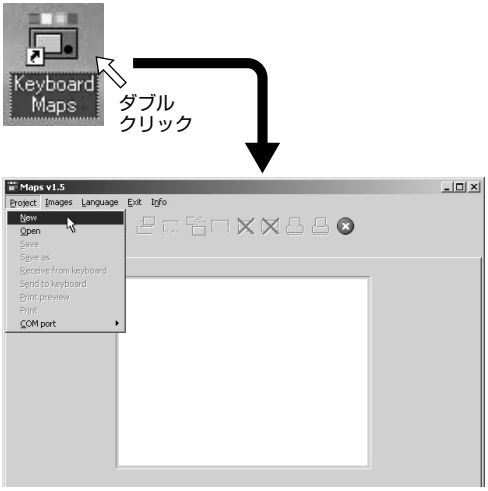
■プロトコル一覧表（Patrol）

プロトコル	Start ④		Stop ⑤		Toggle ⑥	
	数値	機能	数値	機能	数値	機能
----------	1..32	START TOUR (*)	0	STOP TOUR (*)	0	RESET TOUR(*)
ELBEX						
ELMO	0..3	START SEQUENCE 1..4 (0..3)				
ENEO	0	START PATROL	0	STOP PATROL		
ERNITEC	0	START PATROL				
FASTRAX	1..8 9..12	START TOUR 1..8 START PATTERN 1..4 (9..12)				
JVC	0..2	START PATROL 1..3 (0..2)	0	STOP PATROL		
MACRO	0..1	START PATROL STANDAR (0) START PATROL S.A. (1)	0..1	STOP PATROL STANDAR (0) STOP PATROL S.A. (1)	0..1	TOGGLE PATROL STANDAR (0) TOGGLE PATROL S.A. (1)
PANASONIC	0	START PATROL	0	STOP PATROL		
PELCO	0	START PATTERN				
SAMSUNG	0..3	0 START PATROL 1 START PATTERN 1 2 START PATTERN 2 3 START PATTERN 3	0..3	0 STOP PATROL 1 STOP PATTERN 1 2 STOP PATTERN 2 3 STOP PATTERN 3		
SANYO SSP	0..1	0 START TOUR 1 START SEQUENCE				
SANYO HSSP	0..1	0 START TOUR 1 START SEQUENCE				
SANTEC	1..8 9..12	START TOUR 1..8 START PATTERN 1..4 (9..12)				
SENSORMATIC	1..4	START PATTERN 1..3 4 START APPLE PEEL FUNCTION				
STAR	0..5	START GROUP 1..6 (0..5)	0	STOP GROUP		
VCL	1..5	START PATROL 1..4 5 START LAST PATROL	0	0 START TOUR 1 START SEQUENCE		
VIDEOTEC	0..1	START PATROL STANDAR (0) START PATROL S.A. (1)	0..1	STOP PATROL STANDAR (0) STOP PATROL S.A. (1)	0..1	TOGGLE PATROL STANDAR (0) TOGGLE PATROL S.A. (1)

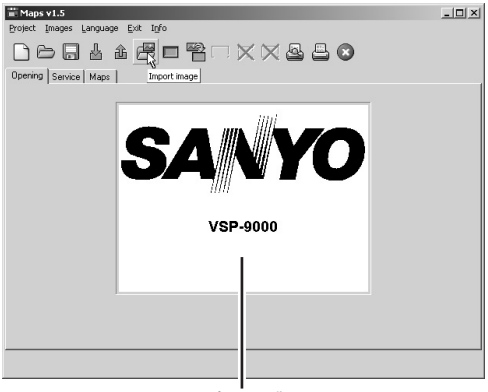
(*) only with VKR Eneo matrix on video line

■オープニング画面を “SANYO” に変更する

1 Projectメニューの “New” をクリック
Opening画面が表示します。

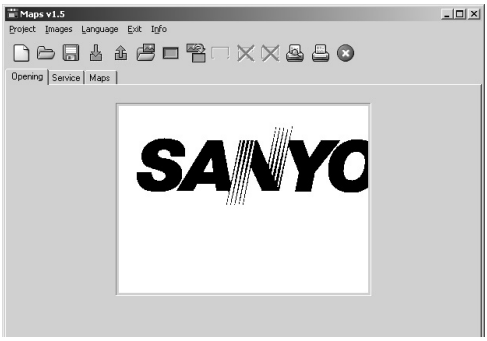


2 “ ” のアイコンをクリックし、画像ファイルを選び読み込む

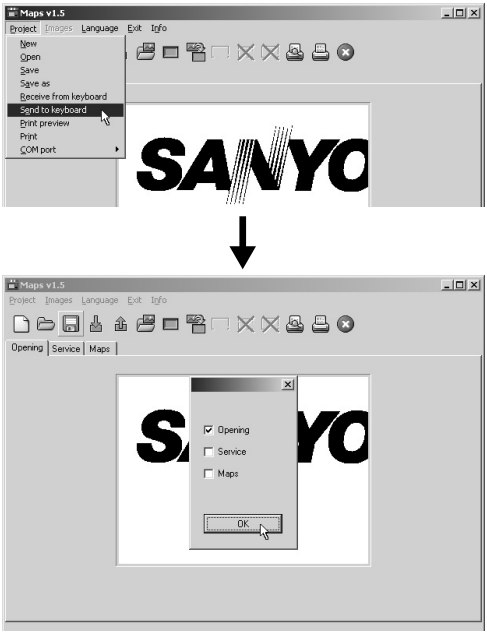


オープニング画面

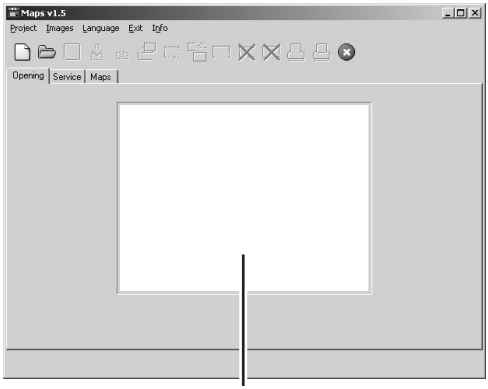
3 オープニング画面に選択した“SANYO”マークが貼り付けられる



4 Project メニューの “Send to keyboard” をクリックする
アップロードする画面を選択するダイアログが表示されます。“Opening” のチェックボックスにチェックを入れてOKボタンを押してください。貼り付けた映像がアップロードされます。



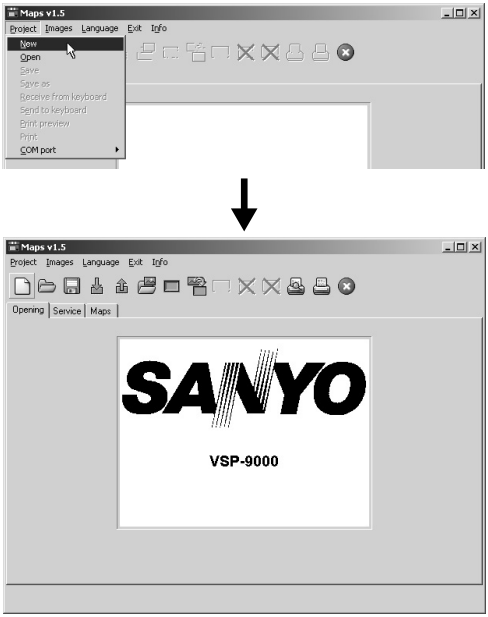
■オープニング画面に描画ツールを使って地図などを作成し、表示させる



オープニング画面

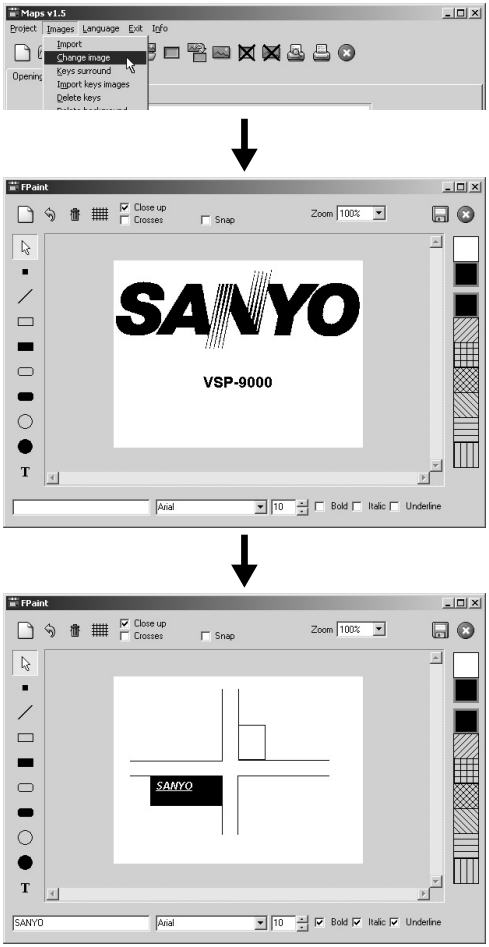
1 Projectメニューの “New” をクリックする

Opening画面が表示します。



2 Imagesメニューの “Change image” を選択する

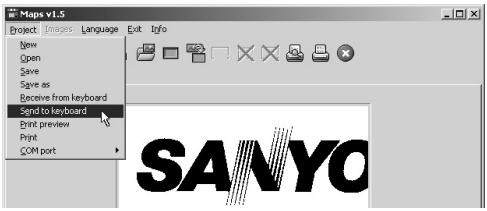
ペイント画面（FPaint）を表示しますので、描画ツールを使用して地図などを作成してください。

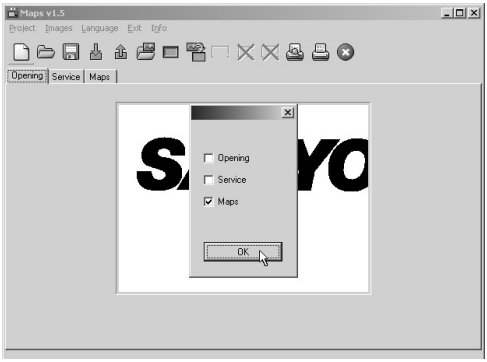


3 をクリックして保存する

4 Project メニューの “Send to keyboard” をクリックする

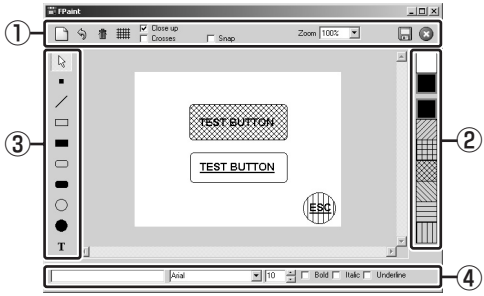
アップロードする画面を選択するダイアログが表示されます。“Maps” のチェックボックスにチェックを入れてOKボタンを押してください。貼り付けた映像がアップロードされます。





【設定をパソコンに保存する場合】

Project メニューの “Save” をクリックする



① 一般ツール

：描画をすべて取り消す

：直前の操作を取り消す(UNDO)

：カーソルで選択したアイテムを消す

：位置の目安にマス目/十字マークを表示する
好みのパターンをチェックしてください。
Close up：マス目（アイテムの上に表示）
Crosses：十字マークを表示
Snap：マス目（アイテムの下に表示）

Zoom：表示倍率を選ぶ

：画像を保存して “FPaint” を終了する

：画像を保存せずに “FPaint” を終了する

② 色・背景ツール

：白色を選ぶ（背景パターンの上に描画する場合など）

：黒色を選ぶ

：
背景パターンを選ぶ（ 、 、 で描画した際の背景パターンになります）

③ 描画ツール

：アイテムを選択する（カーソル）

：自由な線を描く

：直線を描く

：長方形（線のみ）を描く

：長方形を描く

：角丸の長方形（線のみ）を描く

：角丸の長方形を描く

：円（線のみ）を描く

：円（黒）を描く

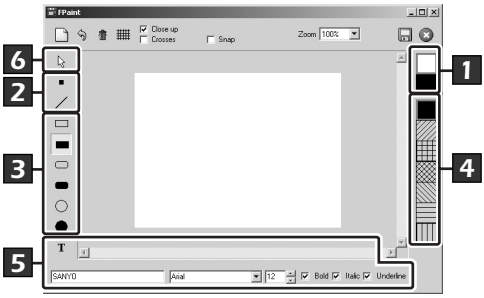
T ：文字を入力する場所を指定する
（文字はあらかじめ文字入力エリアで入力しておきます）

④ 文字入力エリア

文字、書体、ポイント、修飾(Bold, Italic, Underline)を設定します。

T カーソルで指定したエリアに設定した文字が配置されます。

■基本的な描画



1 制作する色を選ぶ

白い線を描く場合は“□”をクリックし、黒い線を描く場合は、“■”をクリックする。

2 線を描く

自由な線を描く場合は“ ▪ ”をクリックし、直線を描く場合は、“ ／ ”をクリックする。

3 図形を描く

▭、▬などをクリックする。

4 図形内に模様を入れる

“▨”、“▦”をクリックし、“ ▬ ”などをクリックする。

5 文字を描く

文字を入力し、フォント、ポイントなどを選択、“ T ”をクリックする。

6 図形や線の移動・削除

- 移動：“ ↖ ”をクリックし、図形を選択して移動させる
- 削除：“ ↖ ”をクリックし、図形を選択してゴミ箱へ

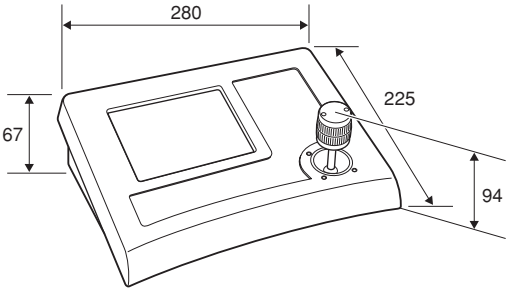
仕様

通信方式	RS485
キーボード	バックライト液晶ディスプレイ、320×240タッチスクリーン
ジョイスティック	3軸ジョイスティック（パン・チルト・ズーム）
コントロール端子	RJ-11端子：VIDEO×1、TELEMETRY×2
パソコン用RS-232C端子	D-SUB（9ピン）：1端子
ディップスイッチ	●通常モード／パソコンモード：1ビットディップスイッチ ●終端：3ビットディップスイッチ（映像／カメラA/B）
通信速度	2400、4800、9600、19200 bps
最大接続機器数	総数：256台 ●コントローラー：5台 ●フレームスイッチャー、ハードディスクデジタルレコーダー：合計100台 ●ドームカメラ、CCDカメラ：TELEMETRY A 127台 TELEMETRY B 127台
使用条件	温度：5℃～40℃ 湿度：80%以下
保存条件	温度：−20℃～60℃ 湿度：80%以下
電源 （ACアダプター）	入力電圧：100−240 VAC　50／60Hz
	出力電圧：12 VDC
消費電流	1A
質量	900 g

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

■外形寸法図

（単位：mm）



付録

■通信一覧表

1－VIDEO（映像回線）

```
Type              DVR/MUX
Protocol     SANYO DVR/MU
Baudrate            19200
```

タイプ(Type)	プロトコル(Protocol)	通信速度(Baudrate)
DVR/MUX	SANYO DVR/MU	2400, 4800, 9600, 19200
----------	----------	----------
4/2 VIDEOTEC	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400
8/2 VIDEOTEC	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400
8/4 VIDEOTEC	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400
16/4 VIDEOTEC	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	VIDEOTEC	300, 1200, 2400, 9600
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400
32/8 VIDEOTEC	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	VIDEOTEC	9600
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400
128/16 VIDE.	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MACRO NO P.	1200, 9600, 19200, 38400

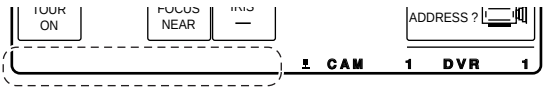
2−TELEMETRY A（カメラ回線）

コネクター(Connector)	プロトコル(Protocol)	通信速度(Baudrate)
Video A-CONNECTOR Video A-PROTOCOL SANYO SSP A-Baudrate ----- 本プロトコル以外を選択すると自動的にコネクターは“Telemetry”の表示になります。	SANYO SSP	--------
	SANYO HSSP	--------
Telemetry A-CONNECTOR Telemetry A-PROTOCOL SANYO SSP A-Baudrate 19200	SANYO SSP	2400, 4800, 9600, 19200
	SANYO HSSP	2400, 4800, 9600, 19200
	SENSORMAT.	4800
	VCL	9600
	VIDEOTEC	1200, 9600
	----------	----------
	ERNITEC	1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400
	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MARK M.	9600
	PELCO	2400, 4800, 9600, 19200

2−TELEMETRY B（カメラ回線）

コネクター(Connector)	プロトコル(Protocol)	通信速度(Baudrate)
Telemetry B-CONNECTOR Telemetry B-PROTOCOL PELCO B-Baudrate 19200	----------	----------
	ERNITEC	1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400
	MACRO	1200, 9600, 19200, 38400
	MARK M.	9600
	PELCO	2400, 4800, 9600, 19200
	SANYO SSP	2400, 4800, 9600, 19200
	SANYO HSSP	2400, 4800, 9600, 19200
	SENSORMAT.	4800
	VCL	9600
	VIDEOTEC	1200, 9600

■メッセージ一覧表



メッセージ表示部

ALARM: Esc to exit（Escで戻る）	PATROL: Sent 'Walk' Stop（WALK終了）
AUX: Select function（機能選択）	PATROL: Sent Recording 'Walk' nr.（Walk録画のコマンド）
AUX: Function not available（機能はありません）	PRESET: Select function（機能選択）
AUX: Function not enabled（利用できない機能）	PRESET: Sent Delete preset position（プリセットの位置を解除）
AUX: Sent Set（セットします）	PRESET: Esc to exit（Escで戻る）
AUX: Sent Reset（リセットします）	PRESET: Sent Preset command（プリセットコマンド）
AUX: Sent Toggle（トグルします）	PRESET: Sent Delete Preset（プリセットの解除）
AUTOFLIP: Function not available（利用できない機能）	PRESET MARK M.: Esc to exit（Escで戻る）
AUTOFLIP: Function not enabled（機能はありません）	PRESET MARK M.: Select function（機能選択）
AUTOFLIP: Sent enabled Autoflip（オートフリップ使用可能）	SCAN: Function not enabled（利用できない機能）
AUTOFLIP: Sent Autoflip toggle（オートフリップをトグルします）	SCAN: Esc to exit（Escで戻る）
AUTOFLIP: Sent Autoflip set（オートフリップ設定）	SCAN: Sent Scan command（スキャンコマンド）
AUTOFLIP: Sent Autoflip reset（オートフリップをリセット）	SCAN: Sent Home（ホーム）
AUTOFLIP: Select function（機能選択）	SCAN: Sent Home (Scan at posit. nr. 1)（ホーム（1番の位置をスキャン））
AUTOPAN: Select function（機能選択）	SCAN: Sent "Back"（戻る）
AUTOPAN: Sent Autopan Start（オートパンを開始）	SEQUENCE: Sent sequence（SEQUENCEコマンド）
AUTOPAN: Sent Autopan Stop（オートパンを停止）	SETUP: Select function（機能選択）
AUTOPAN: Sent Autopan Toggle（オートパンをトグル）	SETUP: Sent Line Lock increment（ラインロック位相+）
AUTOPAN: Function not enabled（利用できない機能）	SETUP: Sent Line Lock decrement（ラインロック位相-）
AUTOPAN: Functon not available（機能はありません）	SETUP: Sent Enabled alarm mode（アラームモードがありません）
CAMERA: Esc to exit（Escで戻る）	SETUP: Sent Disabled alarm mode（アラームモードが利用できません）
CAMERA: Recall camera nr.（カメラ番号の取消）	SETUP: Sent Home position storage（ホームポジションの設定）
CAMERA: Camera not enabled!（カメラを利用できません）	SETUP: Sent Home position reset（ホームポジションの解除）
CAMERA: Sent command（コマンド）	SETUP: Sent Toggle Mono/Color（モノ／カラーのトグル）
DOME: Sent 'camera setup'（カメラ設定）	SETUP: Sent Auto Mono/Color（モノ／カラーのオート）
DOME: Sent 'dome setup modification'（ドーム設定の修正）	SETUP: Sent V-phase+（垂直同期+）
DOME: Sent 'dome setup exit'（ドーム設定の解除）	SETUP: Sent V-phase-（垂直同期-）
DOME: Sent 'Enter Menu'（入力メニュー）	SETUP: Esc to exit（Escで戻る）
DOME: Function selection（機能選択）	SETUP: Sent receiver Reset（レシーバーをリセット）
DOME: Sent 'Move Up'（上移動）	TELEMETRY LINE "A": BUSY/ERROR（テレメトリーライン"A"：不調）
DOME: Sent 'Move Down'（下移動）	TELEMETRY LINE "B": BUSY/ERROR（テレメトリーライン"B"：不調）
DOME: Sent 'Move Left'（左移動）	LINE "VIDEO": BUSY/ERROR（ビデオライン　不調）
DOME: Sent 'Move Right'（右移動）	VIDEO: Function not enabled（利用できない機能）
FOCUS: Function not enabled（利用できない機能）	VIDEO: Sent camera increase（カメラ増設）
FOCUS: Select function（機能選択）	VIDEO: Sent camera decrease（カメラ減）
FOCUS: Sent Focus Near（フォーカスを近に合わせる）	VIDEO: Function not available（機能はありません）
FOCUS: Sent Focus Far（フォーカスを遠に合わせる）	VIDEO: Sent matrix sequence start（マトリックス連鎖開始）
FOCUS: Sent AutoFocus（オートフォーカス）	VIDEO: Monitor not enabled!（モニターが利用できません）
FOCUS: Sent disabled AutoFocus（オートフォーカスを利用しない）	VIDEO: Recall monitor nr.（モニター番号の取消）
IRIS: Function not enabled（利用できない機能）	VIDEO: Sent 'Up Arrow'（上矢印）
IRIS: Select function（機能選択）	VIDEO: Sent 'Down Arrow'（下矢印）
IRIS: Sent Iris Open（アイリスを開けます）	VIDEO: Sent 'SEQ'（SEQコマンド）
IRIS: Sent Iris Close（アイリスを閉めます）	VIDEO: Sent 'Matrix setup modification'（マトリックス設定の修正）
IRIS: Sent AutoIris（オートアイリス）	VIDEO: Select function（機能選択）
IRIS: Sent disabled AutoIris（オートアイリスを利用しない）	VIDEO: Sent number（番号）
PATROL: Sent Start S.A.（S.Aスタート）	VIDEO: Sent 'M/A'（手動/自動）
PATROL: Sent Toggle S.A.（S.Aトグル）	VIDEO: Sent 'STP'（ストップ）
PATROL: Function not enabled（利用できない機能）	VIDEO: Sent 'CRL'（コントロール）
PATROL: Select function（機能選択）	VIDEO: Sent 'ENT'（実行）
PATROL: Sent Start（開始）	VIDEO: Unit not enabled（ユニットは利用できません）
PATROL: Sent Stop（停止）	VIDEO: Recall unit nr.（ユニット番号の呼び出し）
PATROL: Sent Toggle（トグル）	VIDEO: Dvr not enabled（Dvrの利用ができません）
PATROL: Sent enabled Pattern（パターンを利用する）	VIDEO: Mux not enabled（Muxの利用ができません）
PATROL: Sent Pattern Definition（パターン定義）	VIDEO: Recall Dvr nr.（Dvr番号の呼び出し）
PATROL: Sent Pat. Definition End（パターン定義の終了）	VIDEO: Recall Mux nr.（Mux番号の呼び出し）
PATROL: Sent Apple peel（Apple peelコマンド）	VIDEO UNIT: Sent command（コマンド）
PATROL: Sent standard Setup（基本設定）	WIPER/WASHER: Functions not available（利用できない機能）
PATROL: Sent default time（停止時間）	WIPER/WASHER: Function not enabled（機能はありません）
PATROL: Sent Start/End（開始/終了）	WIPER/WASHER: Select function（機能選択）
PATROL: Sent position time（ポジションの休止時間の設定）	WIPER/WASHER: Sent Wiper（ワイパー）
PATROL: Sent Start 1（スタート1）	WIPER/WASHER: Sent Washer（ウォッシャー）
PATROL: Sent Start 2（スタート2）	MATRIX TIMEOUT ALARM（マトリックスタイムアウトアラーム）
PATROL: Sent Start 3（スタート3）	MATRIX ALARM（マトリックスアラーム）
PATROL: Sent Start 4（スタート4）	MONITOR: Esc to exit（Escで戻る）
PATROL: Sent position（位置）	ZOOM: Function not enabled（機能はありません）
PATROL: Esc to exit（Escで戻る）	JOYSTICK: Function not enabled（機能はありません）
PATROL: Sent "SEQUENCE"（SEQUENCEコマンド）	DVR/MUX: Function not enabled（機能はありません）
PATROL: Sent "TOUR"（TOURコマンド）	DVR: Esc to exit（Escで戻る）
PATROL: Sent 'One Pass' Start（One Passコマンド）	MUX: Esc to exit（Escで戻る）
PATROL: Sent 'Walk' Start nr.（WALK開始番号）	Esc to exit（Escで戻る）

■特殊コードー覧表

特殊コードを入力することで機能を呼び出すことができます。。

ERNITEC SATURN..... 89
MARK MERCER 90
PELCO..... 92
SENSORMATIC..... 94

■ ERNITEC SATURN

コード	機能
AUTOPAN	
301	一番目のリミット・スイッチの現在位置を保存します。
302	二番目のリミット・スイッチの現在位置を保存します。
XXX	XXX = 0～255：オートパン速度 (0=最小、255=最大) 注意：Saturn型では利用できません。
PATROL	
1000	巡回順序を削除します。
1XXX	XXX = 1～128：巡回順序にプリセットポジション “XXX” を書き込みます。
2000 2XXX	巡回順序を有効にします。 X = 001～128：巡回順序からプリセットポジション “XXX” を削除します。
3XXX	X = 000～255：所定位置に到達した際の滞留時間(秒単位) 例：**“1000”** 先に定義された順序を削除します。 **“1001”** 順序にプリセットポジション “1” を書き込みます。 **“1005”** 順序にプリセットポジション “5” を書き込みます。 **“1006”** 順序にプリセットポジション “6” を書き込みます。 **“2005”** プリセットポジション “5” を削除します。
OTHER FUNCTIONS	
4XXY	設定停止時間後、「リターンポジション」に自動的に動くようにドームカメラを設定できます。 XX = 01～99：「リターンポジション」(No.100からNo.128の位置は選択できません) Y = 0～9：リターン時間 0：10秒、1：20秒、 2：30秒、 3：40秒、 4：1分、 5：2分、 6：5分、 7：10分、 8：20分、 9：40分
4000	「リターンポジション」への移動を無効にします。 例： **“4216”**：停止5分後(Y=6)に位置21(XX=21)へ移動します。
400	テキストの表示/非表示(切り替え)
500	逆光補正ON/OFF(切り替え)
9999	ドームカメラ内部メモリーを初期化します。

■ MARK MERCER

コード	機能
IRIS MANUAL	
11	絞りを開けます。
12	絞りを閉じます。
ON SCREEN DISPLAY	
21	画面表示 ON
22	画面表示 OFF
23	モニター上半分に画面表示
24	モニター下半分に画面表示
INFRARED RESPONSE CURVES	
31	初期設定曲線(可視光)
32	950nm曲線
33	850nm曲線
COLOUR/B&W CAMERA	
40	カラーから白黒、白黒からカラーへの自動切り替え。
41	白黒カメラ
42	カラーカメラ
43	カメラ・インテグレーション・レベルを落とします(シャッター速度を落とす)。
44	カメラ・インテグレーション・レベルを上げます(シャッター速度を上げる)。
45	ゼロルクスON(赤外線フィルターOFF)
46	ゼロルクスOFF(赤外線フィルターON)
	レベルを切り替える
47	明るく
48	初期設定値
49	暗く
PRIVACY ZONE	
51	全区域ON
52	全区域OFF
53	区域定義カーソルを切り替えます(ON/OFF)。
54	カーソルの状態によってマスキング(ON/OFF)を切り替えます。 **カーソルON**：このコードにより、カーソル上に小さなマスキングを掛けることができます。コードを再度送るとマスキングの種類が変わります。 **カーソルOFF**：このコードにより、画面全体にマスクを掛ける事ができます。コードを再度送るとマスキングを解除します。
DYNAMIC CONTROL OF ZONE TITLING	
61	表題を切り替えます(ON/OFF)。
62	区域を消去します。
63	区域を初期化します。
DIGITAL ZOOM	
6	デジタルズームを切り替えます(ON/OFF)。
1XX	**XX = 01～99**：デジタルズームの値(この機能がドームカメラで利用できる場合)

コード	機能
TOGGLE AUTO PARK (ON/OFF)	
2XX	所定の停止間隔後、自動的にプリセットポジションNo.1に動くようにドームカメラを設定できます。 XX = 01～99(*)：自動停止前の待機時間(分) (*) 待機時間XX=00の場合には機能を無効にします。 例：“205” 5分(XX=05)待機後に自動停止 “200” 自動停止OFF(XX=00)
TOGGLE AUTO PATROL (ON/OFF)	
1XXY	所定停止時間後、指定巡回順序を開始するようにドームカメラ設定可能です。 XX = 01～99(*)：自動巡回前の待機時間(分) Y = 0～5：巡回番号 (*) 待機時間XX=00の場合には機能を無効にします。 例：“1153” No.3(Y=3)の巡回順序で15分後(XX=15)に自動巡回します。 “1003” 自動巡回OFF(XX=00)
OTHERS	
0	全位置を巡回
1	自動Uターンを切り替えます(ON/OFF)。
2	Aux 1 ON
3	Aux 1 OFF
7	搭載アラーム：ON
8	搭載アラーム：OFF
10	Uターン

■ PELCO

コード	機能
0	パン0の位置
SPEED CURVES	
11	第1速度曲線(速度値：1, 5, 10, 20, 30, 45, 63).
12	第2速度曲線(速度値：1,10, 20, 30, 40, 50, 63).
13	第3速度曲線(速度値：10, 15, 20, 25, 30, 45, 63).
14	第4速度曲線(初期設定)(速度値：29, 37, 45, 50, 55. 59, 63).
15	第5速度曲線(速度値：10, 15, 20, 30, 40, 50, 63).
16	第6速度曲線(ユーザーがカスタマイズできますが、初期設定値があります： 10, 15, 20, 30, 55, 100, 255). (*)
8XXX	X = 000～255：速度値 (*)
900X	X = 1～7：速度番号。値を割り当てられます。
910X	X = 1～7：番号Xの一定速度でのドームカメラ動作テスト。 テストを停止するにはジョイスティックを動かしてください。 例：“8007”： 7(X=007)に等しい速度値 “9001”： 7の速度値が速度No.1(X=1)に割り当てられます。 …速度No.2、3、4、5、6等に速度値を書き込みます。 “8138”：138(X=138)の速度値 “9007”：138の速度値が速度No.7(X=7)に割り当てられます。 次に速度No.7をテストしたい場合： “9107”：138(X=7)の一定速度でドームカメラが動きます。 “16”： 今後はジョイスティックを動かす毎に、ユーザーが第6速度曲線 (X=16)に割り当てた速度でドームカメラが動きます。
(*) Pelco Dプロトコールでは最高速度時に63の数値を受け入れます。より高い速度が設定されている場合には、正しい操作を保証できません。	
ZONE	
20	区域のSCANを開始します。
21	区域のSCANを終了します。
10X	X = 1～8：区域の開始を設定します。
20X	X = 1～8：区域の終了を設定します。
LENSES	
40	オートフォーカスON
41	オートフォーカスOFF
42	自動的にオートフォーカスON
AUTOIRIS	
50	自動絞りON
51	自動絞りOFF
52	自動的に自動絞りON
ON SCREEN INFORMATION	
60	自動利得制御装置 ON
61	自動利得制御装置 OFF
62	自動利得制御装置 自動

コード	機能
ALARMS	
X	アラーム認識(Xは1～8)
MISC	
99	画面を清掃します。
999	カメラ遠隔操作を初期化します(パン/チルト)
9999	カメラ遠隔操作を初期化します(初期設定値)
70	逆光補正ON
71	逆光補正OFF
80	ホワイトバランスON
81	ホワイトバランスOFF
90	「装置位相遅延モード」を有効にします。
3X	X = 1～8：ズーム速度
13X	X = 1～8：フォーカス速度
1000(*)	シャッター速度
1001(*)	ラインロック・レベル
1002(*)	ホワイトバランスR-B調節
1003(*)	ホワイトバランスM-G調節
1004(*)	利得
1005(*)	自動絞りレベル
1006(*)	自動絞り頂点
(*) コード書き込み後、0から4000の間の数値を導入する必要があります。	

■ SENSORMATIC

コード	機能
RELAYS	
0	全リレーOFF
1	リレー1 ON
2	リレー2 ON
3	リレー3 ON
4	リレー4 ON
12	リレー1と2 ON
13	リレー1と3 ON
14	リレー1と4 ON
23	リレー2と3 ON
24	リレー2と4 ON
34	リレー3と4 ON
123	リレー1、2および3 ON
124	リレー1、2および4 ON
134	リレー1、3および4 ON
234	リレー2、3および4 ON
1234	リレー1、2、3および4 ON 例：**“13”**：リレー1と3だけを有効にします(リレー2と4は無効です)。 **“134”**：リレー1、3および4だけを有効にします(リレー2は無効です)。
PATTERN	
51	収集パターン1を開始します。
52	収集パターン1を開始します。
53	収集パターン1を開始します。
55	新しいパターンを確認して、以前に定義した物と置き換えます。
56	パターン収集の終了。
61	パターン1を開始します。
62	パターン2を開始します。
63	パターン3を開始します。
71	パターン1を削除します。
72	パターン2を削除します。
73	パターン3を削除します。 例：パターン2の定義： **“72”**：古いパターン2を削除します(Walk Patrol nr.の録画コマンドと関連しています)。 **“52”**：パターン2の収集を開始します。表示限度内でドームカメラは移動します。 **“56”**：収集を終了します。 **“55”**：古いパターンを新しい記録に置き換えます。 **“62”**：パターン2を開始します。
MISC.	
9999	遠隔操作カメラの初期化

修理相談窓口

三洋コンシューママーケティング株式会社
受付時間　月曜日～金曜日　9:00～18:30
土曜日・日曜日・祝日　9:00～17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください(修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります)。

◆東コールセンター　東京　☎（03）5302-3401
◆西コールセンター　大阪　☎（06）4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは、下記の電話をご利用いただけます。

◆東コールセンターへの転送電話番号
- ●北海道地区　札幌　☎（011）833-7888
- ●東北地区　仙台　☎（022）382-2213
- ●長野地区　長野　☎（0263）26-1772
- ●新潟地区　新潟　☎（025）285-2451
- ●福島地区　福島　☎（024）945-6811

◆西コールセンターへの転送電話番号
- ●北陸地区　金沢　☎（076）237-6650
- ●東海地区　名古屋　☎（052）979-3456
- ●中国地区　広島　☎（082）293-9333
- ●四国地区　高松　☎（087）844-8321
- ●九州地区　福岡　☎（092）922-9311

◆沖縄地区　沖縄　☎（098）944-5018
受付時間　月曜日～土曜日(日曜日、祝日、および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　)　－

三洋電機システムソリューションズ株式会社

システム事業ビジネスユニット　システム東部営業部　CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目22番5号　☎ 東京（03）5803-3545

経営企画ユニット　システム事業推進部　CCTV推進課
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6133

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー DSシステム ビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6277

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

1AC6P1P2951--
L8CSC/WA (1105KR)c VTECH